ADDZEST

DVD/ワイド7インチAVセンターユニット

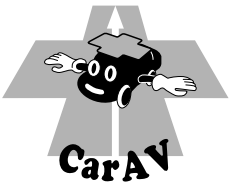
VRX935VD

取扱説明書

このたびは、アゼスト商品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。

- 安全に正しくご利用いただくため、ご使用前にこの「**取扱説明書**」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 保証書（別添）はお買い求めの販売店で記入いたしますので、内容をよくご確認のうえ、この取扱説明書とともに大切に保管してください。
- この取扱説明書には、本機で操作するCD/MD/DVDチェンジャー、TVチューナーの操作説明も含まれています。CD/MD/DVDチェンジャー、TVチューナーの取扱説明書には、操作説明は記載されておりません。また、本機は eNET マークのついた外部機器のみ操作することができます。

正しい取付
正しい操作で
安全運転



目　次

はじめに

主な特長 7
取扱上のご注意 8
安全に正しくお使いいただくために 8
液晶パネル部について 8
液晶画面について 8
本体のお手入れについて 9
DCP部の取り扱いについて 9
DVDプレーヤー部について 9
エラー表示について 9
本体の取り扱いについて 9
安全運転への配慮 9
ワイド画面について 9
ディスクについて 10
ディスク挿入時のご注意 10
テレビ放送の受信について 10
DVDビデオシステムについて 11
DVDビデオの特長 11
本機で再生できるディスク 12
MP3の再生について 12
リージョン番号について 12
TV方式について 12
商標等について 12
システムチェックについて 13

本機の操作

■各部の名称とはたらき

本体各部の名称とはたらき(液晶パネルクローズ状態) 14
本体各部の名称とはたらき(液晶パネルオープン状態) 16
本体各部の名称とはたらき(CeNETナビゲーション接続時) 18
液晶パネル部のディスプレイ表示 19
液晶パネルオープン状態における操作の概要 20
リモコンのつかいかた 24
リモコンのつかいかた 26
リモコン電池の入れかた 26

■基本の操作

DCPの取り外しかた 27
DCPの取り付けかた 27
電源を入れる 28
音量を調整する 28
消音(ミュート)する 28
インフォメーションパネルのディスプレイ表示を切り換える ... 28
液晶パネルを立ち上げる 29
液晶パネルの角度等を調整する 29
液晶パネルを水平状態にする(エアコン操作モード) 30
液晶パネルを収納する 30

画面表示をOFFする 30
オーディオ・テレビ画面にする
(前回終了時ナビゲーションモードの場合) ... 30
モードを選ぶ 31
時刻を合わせる 31
ディスプレイの背景画面を設定する 32
音質を簡単に設定する(ビートEQ機能) 33
ビートEQ量を調整する 34
ノンフェダー出力の音量を調整する 34
バランス/フェダーを調整する 35
音質を調整する(バス/ミッド/トレブル) 35
ラウドネス効果をON/OFFする 37
タイトルリストから演奏する 37
画面サイズを切り換える 38
画面モードについて 39

■設定を変更する(アジャストモード)

環境設定の画面を選ぶ 40
画面の明るさ・色あい・色の濃さを設定する(MONI ADJ) . 42
オートディマーを設定する(AUTO DIMMER) 42
ディスプレイ表示の明るさを調整する(DIMMER LEVEL) .. 42
チューナーエリアを設定する(TUNER AREA) 43
背景画面表示の速さを設定する(MOTION SENS) 43
操作時のビープ音を設定する(BEEP) 44
ボタン照明を設定する(KEY ILLUMI) 44
インフォメーションパネルのボタン照明を設定する
(UPPER ILLUMI) ... 44
外部接続機器を設定する(CONNECT) 45
外部接続機器の音量レベルを設定する
(VISUAL AUX SENS) 45
オートパネルを設定する(AUTO PANEL) 46
TVダイバーシティを設定する(TV DIVER) 46
テレビエリアを設定する(TV AREA) 47
電話の割り込みを設定する(TEL SP) 48

■ラジオを聴く

ラジオモードを選ぶ 49
メニュー画面を表示する 49
受信バンドを選ぶ 49
自動選局(シーク)と手動選局(マニュアル)を切り換える 49
自動選局する(シーク選局) 50
手動選局する(マニュアル選局) 50
キーパッドで選局する 50
プリセット選局する 51
プリセットメモリーする 51
自動メモリーさせる(オートストア機能) 51
聴きたい放送局を探す(プリセットスキャン) 52
特定の放送局をすぐに選局する(ISR機能) 52

次ページに続く

目　次

■DVDプレーヤの操作

• DVDビデオシステムの設定を変更する

セットアップメニューを表示する 53
画面サイズを変更する 53
アングルマーク表示を設定する 54
ディスクメニューの言語を設定する 54
音声言語を設定する 54
字幕言語を設定する 54
パスワードを設定する 55
カントリーコードを設定する 55
パレンタルレベルを設定する 56
オーディオ信号出力モードを設定する 56

• ＤＶＤプレーヤの基本操作

ディスクを入れる 57
ディスクを取り出す 57
すでに入っているディスクを見る/聴く 58
再生を一時停止する 58
ディスクの最初から見る/聴く（トップ機能） 58
メニュー画面を表示する 58
キーパッドを表示する 59
サブキーパッドで選曲する 59
再生状態を表示する 61
早送り/早戻しする 61

• ＤＶＤビデオを見る

DVDビデオを見るには 62
DVDビデオメニューを表示する 62
キーパッドの表示位置を変える 63
再生を停止する 63
スロー再生する 63
チャプターのスキップ(頭出し) 63
チャプター/タイトル番号で頭出しする 64
見たいシーンを探す（スキャン再生） 65
繰り返して再生する（リピート再生） 65
タイトルメニューを使う 65
音声言語を切り換える 66
字幕言語を切り換える 67
アングルを切り換える 67

• ビデオCDを見る

ディスクを再生する 68
ビデオCDメニューを選ぶ（PBC機能のあるビデオCD） 68
再生を停止する 68
スロー再生する 69
トラックの頭出しをする 69
トラック番号で頭出しする 69
いろいろな再生（スキャン/リピート/ランダム再生） 70

音声出力を切り換える 70
PBC機能をON/OFFする 71

• 音楽CDを聴く

トラックの頭出しをする 72
トラック番号で頭出しする 72
いろいろな演奏(スキャン/リピート/ランダム演奏) 73
CDテキストのタイトルを表示する 73

• MP3を聴く

MP3について 74
トラックの頭出しをする 75
画面に表示されたファイルを選択する 75
フォルダーとファイルを選択して演奏する
（ダイレクト選曲モード） 76
ID3-TAGタイトルを表示する 76
いろいろな演奏(スキャン/リピート/ランダム演奏) 77

■TVを見る

テレビモードを選ぶ 78
メニュー画面を表示する 78
受信バンドを選ぶ 78
自動選局(シーク)と手動選局(マニュアル)を切り換える 79
自動選局する(シーク選局) 79
手動選局する(マニュアル選局) 79
キーパッドで選局する 79
プリセット選局する 80
プリセットメモリーする 80
自動メモリーさせる(オートストア機能) 81
見たい放送局を探す(プリセットスキャン) 81
副音声を楽しむ 81
ステレオ放送をモノラルにする 81
VTRを見る 81

■タイトルをつける

タイトルを入力する 82
タイトルをイージーインプットする 83
タイトルを削除する 83

次ページに続く

目　次

外部機器の操作

■CD/MDチェンジャー/MDデッキを操作する

チェンジャーモードを選ぶ 84
演奏するディスクを選ぶ(CD/MDチェンジャー) 84
タイトルを表示する(CDチェンジャー) 85
タイトルを表示する(MDデッキ/MDチェンジャー) 85
キーパッドで選曲する 85
曲を選ぶ 86
早送り/早戻しする 86
演奏を止める(一時停止) 86
いろいろな演奏(スキャン/リピート/ランダム演奏) 87

■DVDチェンジャーを操作する

再生するディスクを選ぶ 88
ディスクを繰り返し再生する(ディスクリピート再生) 88

■5.1chサラウンドデコーダーを操作する

スピーカーシステムについて 89
デコーダーの設定を変更する 89
デコーダーの操作をする 92
各モード共通の操作 92
DSFモードの設定 93
P.EQモードの設定 93
ドルビープロロジックⅡモードの設定 94

■その他の外部機器を操作する

DVDビデオを見る 95
DVDビデオモードを選ぶ 95
外部機器の映像を見る 95
ビデオを見る 95
モニターロック(2-ZONE/3-ZONE)の設定 96
後方確認カメラの映像を見る 99
携帯用オーディオを聴く 99
アクセサリーモードを選ぶ 99
AUX入力ユニット接続のしかた 99
MDデッキを操作する 99

その他

システムアップについて 100
CeNETケーブルについて 101
CeNET接続ナビゲーションシステムの適合について 101
故障かな？と思われたら 102
エラー表示について 104
仕　様 105
アフターサービスについて 106

主な特長

■キーパッド(KEY PAD)コントロール機能

- タッチパネルの優れた操作性を進化させた"ハニカムキーパッド"を採用、素早い操作入力が可能です。

■7型ワイドカラー液晶パネル

- 7型TFTアクティブマトリックス駆動方式カラー液晶パネルの採用で、迫力ある映像が楽しめます。

■フルローディングメカニズム

- 液晶パネル部をコンパクトに収納し、快適な操作性のフルローディングメカニズムを採用、車内のスペースをムダにしません。
- ボタンひとつで液晶パネル部を自動で引き出したり、収納できます。

■快適な操作性

- 液晶パネル部の角度は、見る人の位置に合わせて調整できます。
- ディスプレイに触れるだけで各種機能のコントロールができるタッチキーパネル方式です。

■ディスプレイ

- ディスプレイの背景画面を、お好みの動画や色を組み合わせることによって多彩なディスプレイ効果を得ることができます。

■エアコン操作モード内蔵

- エアコン操作時等液晶パネルを水平状態に保持できます(約10秒間)。

■DVDプレーヤー部

- DVD/CD(CD-R/CD-RW)/ビデオCD/MP3の再生対応
- 演奏中の曲を繰り返し演奏するリピート機能
- 全曲の最初の10秒間ずつを演奏するスキャン機能
- 1枚のディスクの曲を順不同に演奏するランダム機能

■5.1chサラウンドデコーダーコントロール(別販品接続時)

- DVDチェンジャー接続時、DTS、ドルビーデジタル等の5.1ch再生がお楽しみいただけます。
- ドルビープロロジックⅡ対応でステレオソースでも5.1ch再生を実現
- シアターサラウンドを実現するデジタルサウンドフィールド(DSF)およびパラメトリックイコライザー(P.EQ)等、音場再生や音場補正ができます。

■DVD/CD/MDチェンジャーコントロール(別販品接続時)

- リピート機能/ディスクリピート機能/スキャン機能/ディスクスキャン機能/ランダム機能/ディスクランダム機能

■ラジオチューナー部

- 聴きたい放送局を、どのモードからでもワンタッチで選局するISR機能
- FM、AM各12局のプリセットが簡単なオートストア機能
- メモリー局を順に受信するプリセットスキャン機能
- チューナーエリアを選択するだけで、受信可能な周波数に対して自動的に放送局名を表示することができるエリアセレクト機能

■タイトル入力機能

- ラジオ、TVの放送局やCDにタイトルをつけ、受信時やCD演奏時に表示させるタイトル機能
- MDのディスク名または曲名を表示させるタイトル機能(別販品接続時)

■TVチューナーコントロール(付属のTVチューナー接続時)

- プリセットが簡単なオートストア機能で、TV1：6局、TV2：6局、合計12局をメモリー(エリアセレクト有)
- メモリーした放送局を7秒間ずつ受信するプリセットスキャン機能

■CeNET(Clarion Entertainment Network:シーイーネット)結線対応

- 外部機器との結線にCeNET方式を採用。これにより、複数の外部機器接続時の中継BOXが不要となりました。
- CeNET結線対応の別販CDチェンジャー、MDチェンジャー及びDVDチェンジャーを合計2台まで接続および操作できるチェンジャーコントロール機能。

取扱上のご注意

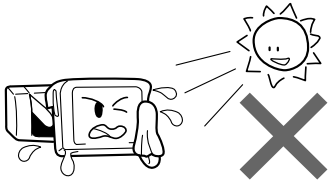
安全に正しくお使いいただくために

ご使用の前に、別冊の「安全パンフレット」をよくお読みください。

液晶パネル部について

本機は、画面に触れるだけでダイレクトに操作できる、タッチキー方式のディスプレイを採用しています。

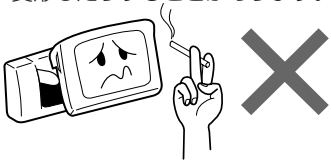
●夏期は車内の温度が高くなることがありますので車内の温度を下げてからお使いください。(ディスプレイが正常に動作する温度は0℃～60℃です)



●液晶パネル部を持ってディスプレイの角度を調整しないでください。(角度調整ボタンを使用してください。)

●ディスプレイに衝撃を加えたりすると、破損や変形など、故障の原因となります。

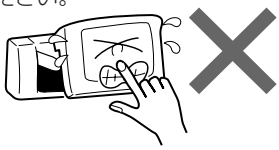
●ディスプレイ本体に、タバコの火がふれないようにしてください。キャビネットが変色したり、変形したりすることがあります。



●ディスプレイの表面は傷つきやすいので、ボールペンや爪の先など硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。

●ディスプレイを傾けたとき、本体との間にできるすき間に、ものを入れたり、つついたりしないでください。

●ディスプレイのタッチキーは、軽く触れると動作します。強い力でタッチキー画面を押さないでください。



●タッチキーパネルの周囲のケースを強く押さないでください。タッチキーの誤動作を起こす恐れがあります。

ご注意

- バッテリー交換などで本機への電源供給が止まると、メモリー内容が消えて初期設定の状態になります。
- 液晶パネル部の引き出し／収納は、エンジン停止時や寒いときなどに止まることがありますが、故障ではありません。何度か、液晶パネル開閉ボタンを押してください。

液晶画面について

●液晶パネル部の表面は傷つきやすいので、硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。

●液晶パネル部に水滴などをつけた状態で放置しないでください。変色、シミの原因となります。また、水分が内部に侵入すると故障の原因となります。水滴などがついてしまった場合は、すぐ脱脂綿や柔らかい布などでふき取ってください。

●非常に寒いとき、画面の動きが遅くなったり画面が暗くなったりすることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。

●液晶パネルの中には、小さな黒点や輝点が出ることがありますが、液晶特有の現象で、故障ではありません。

本体のお手入れについて

●本体をお手入れするときには、やわらかい乾いた布で軽くふいてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤をやわらかい布につけて軽くふきとり、乾いた布で仕上げてください。

ベンジンやシンナー、自動車用クリーナーなどは、変質したり、塗料がはげる原因となりますので、使わないでください。また、ゴムやビニール製品を長期間接触させておくと、シミのつくことがあります。

●液晶表示部のお手入れ
ホコリがつきやすいので、ときどき、やわらかい布でふいてください。

DCP部の取り扱いについて

●DCP部は精密部品ですので、DCPを落としたりして、衝撃を与えないでください。また、絶対に水をつけないでください。

●DCP部が汚れたときには、乾いたやわらかい布でふき取ってください。

DVDプレーヤー部について

●車内が極度に冷えた状態のとき、ヒーターを入れてすぐに本機を使用するとディスクや、光学部品が曇って、正常に動作しないことがあります。
ディスクが曇っているときは、やわらかい布でふいてください。また、ディスクや光学部品が曇っているときは、1時間ほど放置しておくと、自然に曇りがとれ、正常に動作します。

●本機の機構は精密なため、万一異常が発生したときでも、絶対にケースを開けて分解したり、回転部分に注油することは、やめてください。

●ディスクを演奏中、振動の激しい悪路を走行すると、音飛びを起こすことがあります。

●ディスクをイジェクトしたまま走行しないでください。走行中の振動により、ディスクが落下する恐れがあります。

エラー表示について

本機は、システム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。ディスプレイにエラーが表示されたときは、「**エラー表示について**」(104ページ)の項目を参照して障害を取り除いてください。障害を取り除けば、通常の動作になります。

本体の取り扱いについて

●システムの動作中に、ケーブルの抜き差しは絶対におやめください。故障の原因となります。必ず車両アクセサリー電源を切ってから行ってください。

●バッテリー交換などで本機への電源供給が止まると、お客様が登録したメモリー内容が消えて、初期設定状態になります。その場合には、もう一度設定し直してください。

安全運転への配慮

安全運転への配慮から、テレビの映像が表示されるのは、停車中(パーキングブレーキを引いているとき)だけです。テレビをご覧になるときは、必ず、車を停車させてお楽しみください。
走行中は図のような画面が表示され、音声のみを聴くことができます。背景画面は、「**ディスプレイの背景画面を設定する**」(32ページ)で設定したパターンを表示します。

ワイド画面について

ワイドテレビは、各種画面モード切り換え機能を備えています。テレビ番組等ソフトの映像比率と異なるモードを選択されますと、オリジナルの映像とは見え方に差が出ます。この点にご留意の上、画面モードをお選びください。

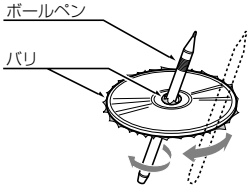
取扱上のご注意

ディスクについて

●ハート型や八角形など、特殊形状のディスクは使用しないでください。
●CD-RまたはCD-RWで記録されたディスクは、使用できない場合があります。
●CD-Rを作成するソフトによっては、CDテキストが表示できない場合があります。
●「EXTRA CD」は再生できない場合があります。

■ 取り扱い上のご注意

●ディスク面にラベルを貼ったり、鉛筆やペンで文字などを記入しないでください。
●ディスクにセロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした痕があるものは使用しないでください。そのままDVDプレーヤーに入れると、ディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。
●ディスク面には、傷や指紋をつけないように扱ってください。
●新しいディスクには、周囲に「バリ」が残っていることがあります。このようなディスクを使用すると、動作しなかったり、音飛びの原因となります。バリのあるディスクは、ボールペンなどでバリを取り除いてからお使いください。



■ 保管時のご注意

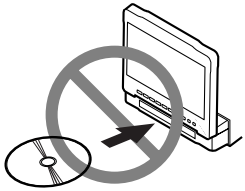
次のような場所には保管しないでください。
●直射日光のあたる場所
●湿気やホコリの多い場所
●暖房の熱が直接当たる場所

■ お手入れ

●汚れたときは、やわらかい布で、ディスクの内側から外側に向かって、よくふいてください。
●従来のレコードクリーナー液やアルコールなどは、使用しないでください。
●CD専用クリーナーを使用した場合は、よく乾燥させてからお使いください。

ディスク挿入時のご注意

安全のため、ディスクの挿入/取出は車が停車しているときに行ってください。
また、ディスク保護のため、ディスクの挿入/取出は液晶パネルを収納して行ってください。



テレビ放送の受信について

●テレビ放送を受信する場合、家庭用のテレビアンテナは最適な向きに固定できますが、車は移動するため、建物や山などの障害物に影響されて、電波の強さが変わり、受信状態が悪くなることがあります。
●放送エリアから離れると、電波が弱くなり、受信状態が悪くなります。また、UHF放送局や地方局は、放送電波の出力が小さいため、数kmの移動で受信状態が悪くなることがあります。
●電車の架線や高圧線、信号機などの外部要因により、画像が乱れたり雑音が入る場合があります。

DVDビデオシステムについて

DVDビデオは、透明感のある画質、鮮やかな色合いを再現できるハイクオリティデジタルビデオです。12cmのディスク 1枚で、映画なら1本分、音楽なら4時間を再生することができます。また5.1chサラウンドデコーダー(DVH920)等を接続してシステムアップすると、DTSあるいはドルビーデジタル5.1chサラウンドで、劇場並の迫力と臨場感を再現することができます。

DVDビデオの特長

本機は、DVDビデオの高画質・高音質を再現できることはもちろん、次のような特長を持っています。

- 以下に説明する機能は、DVDビデオディスクにより、収録されている言語、字幕、アングルなどが異なります。詳しくは、DVDビデオディスクの説明書をご覧ください。
- ディスクによっては、本書で説明している機能とは異なる場合があります。

●マルチ音声機能

DVDビデオディスクは、1本の映画の中に最大8つの言語を収録できますので、お好みの言語で映画を見ることができます。

記録されている音声の数：8

●マルチアングル機能

DVDビデオディスクに複数のアングル(角度)で撮影された映画が収録されていれば、お好みのアングルで映画を見ることができます。

記録されているアングルの数：9

●サブピクチャー(字幕)機能

DVDビデオディスクは、1本の映画のなかに字幕スーパーなら最大32カ国語まで収録できますので、お好みの字幕で映画を見ることができます。

記録されている字幕の数：8

●マルチストーリー機能

DVDビデオディスクは、1本の映画のなかにいくつかのストーリーが収録されている場合には、お好みのストーリーを楽しむことができます。操作方法はディスクによって異なりますが、再生中に、ストーリー選択の指示に従って操作してください。

●ドルビーデジタルについて

ドルビーデジタル(AC-3)は最大5.1チャンネルの独立したマルチチャンネルオーディオを提供します。このシステムは、映画館にサラウンドシステムとして装備されているドルビーデジタルと同一システムです。

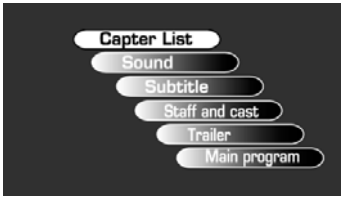
●DTSについて

DTS(Digital Theater System)はデジタルシアターシステムズ社の開発した音声圧縮技術です。低圧縮のため、データ量が多く高品質再生が可能です。

●DVDビデオメニューについて

DVDビデオ再生時にディスクに記録されているメニュー画面を呼び出すことができます。
本機では、このメニュー画面に従ってお好みのシーンまたは案内情報等を見ることができます。

（メニュー画面表示例）



DVDビデオシステムについて

本機で再生できるディスク

本機が再生できるディスクは、次の通りです。

●CD Extraディスク

CD Extraディスクとは1セッション目がオーディオセッション、2セッション目がデータセッションの計2セッションが記録されているディスクです。個人作成によるデータセッションが2セッション以上記録されているディスクは、再生できません。

●再生できないディスク

DVD-R、DVD-RAM、フォトCDなどは本機では再生できません。またCD-R/CD-RWで記録されたディスクは、ご使用になれない場合があります。

MP3の再生について

本機は、MP3の音楽データが記録されたCD-R/CD-RWディスクを再生することができます。詳しくは「MP 3 を聴く」の項をご覧ください。

リージョン番号について

DVDディスクは、発売地域ごとにディスクとプレーヤーにリージョン番号（地域番号）が割り当てられています。

日本で再生できる番号は、「ALL」と「2」です。（または「2」を含むもの）

ディスクのリージョン番号は、ディスクのジャケットに表記されている下に示すマークを確認してください。

NTSC　NTSC　NTSC

TV方式について

本機は、日本でテレビ放送に使われているNTSC方式のDVDビデオディスクに対応しています。SECAM方式やPAL方式には対応していません。

商標等について

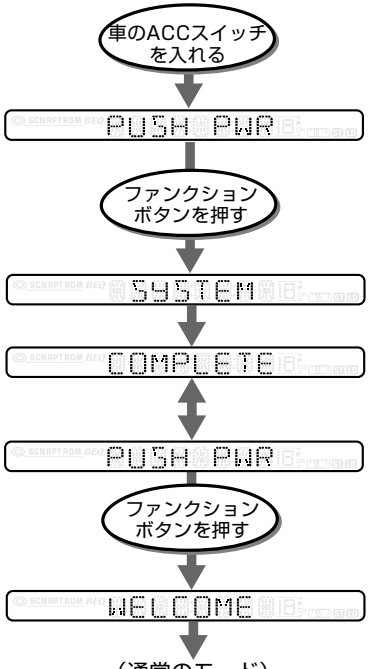
- 本機には、マクロビジョンコーポレーション及びその他の権利者が所有している米国特許の方法、クレームその他の知的財産権で保護されている著作権保護のための技術が搭載されています。この著作権保護のための技術の使用に関しては、マクロビジョンコーポレーションの許可が必要ですが、家庭及びその他の限定された視聴に限っては許可を受けています。またリバースエンジニアリングや分解は禁止されています。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
  Dolby、ドルビー、Pro Logic及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- DTSは米国Digital Theater Systems社の登録商標です。

システムチェックについて

本機に採用されているCeNET方式はシステムチェック機能を採用しています。オペレーションパネルのシステムチェック画面は次のようなときに表示されますので、電源ボタンを2回押して通常画面に戻してください。

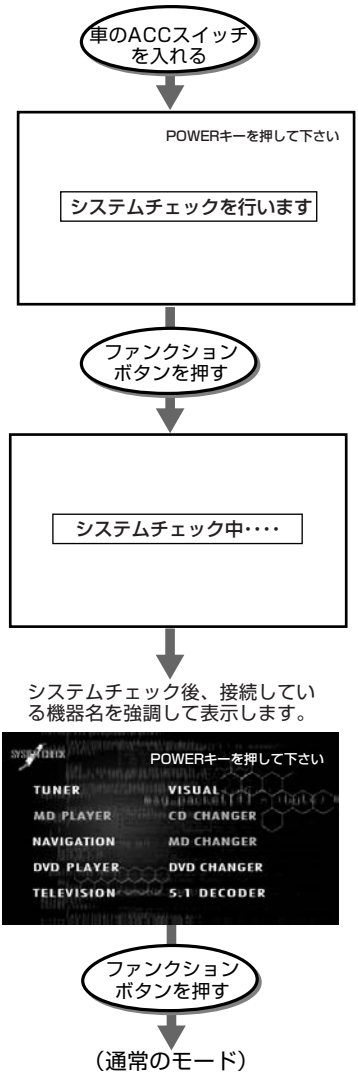
- 本機の取付け直後に電源を入れたとき
- 外部機器を接続または取り外したとき
- バッテリー交換等で電源が切れたとき
- リセットボタンを押したとき
- ナビゲーションのメニューから(別販DVD-ROMナビゲーションを接続している場合)「機能」→「情報表示」→「接続チェック」を押したとき

●液晶パネルクローズ状態のとき



（通常のモード）

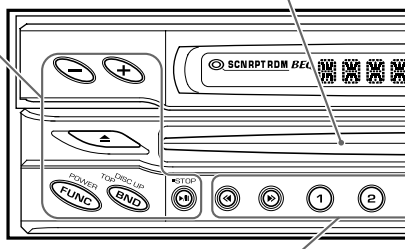
●液晶パネルオープン状態のとき



（通常のモード）

各部の名称とはたらき

本体各部の名称とはたらき(液晶パネルクローズ状態)



ボリュームボタン
- +または−を押して、音量を調節します。

ディスクイジェクトボタン
- すでにディスクが入っている時に押すと、ディスクがイジェクトされます。

ファンクションボタン
- 電源を入れ、押し続ける(約1秒間)と電源を切ります。
- ラジオ等の演奏モードを切り換えます。

バンドボタン
- ラジオ/TVモード時は、バンドを切り換えます。また、押し続け(約1秒間)て自動選局か手動選局に切り換えます。
- DVDプレーヤーモード時はディスクの最初の曲または映像に戻ります。(トップ機能)
- MDデッキモード時はディスクの最初の曲に戻ります
- DVD/CD/MDチェンジャーモード時は、演奏ディスクを切り換えます。(ディスクアップ機能)
- ビジュアルモード時はビジュアル1(VISUAL1)と2を切り換えます。

プレイ/ポーズボタン
- DVDプレーヤーモード、MDデッキモードやDVD/CD/MDチェンジャーモード時は、演奏を一時停止します。

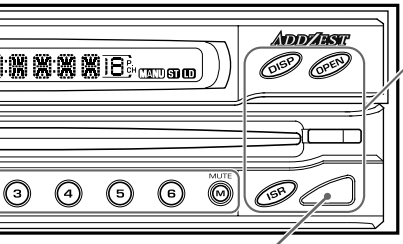
サーチボタン
- ラジオ/TVモード時は選局に使います。
- CD/ビデオCD/MP3/MDデッキモード時やCD/MDチェンジャーモード時にはトラック選択に使います。
- DVDビデオモード時にチャプター選択に使います。また、押し続けると早送り/早戻しを行います。

1 ～ 6 ダイレクトボタン
- ラジオ/TVモード時には、放送局をメモリーして直接呼出します。
- DVD/CD/MDチェンジャーモード時にはディスクを選択します。

ミュートボタン
- ミュート(消音)機能をON/OFFします。

商品イラストについて

本書における商品イラストは、簡素化を図るため、操作説明に直接関係のない表示文字を一部省略しています。



リモコン信号受光部
- リモコン信号を受信します。

DISP ディスプレイボタン
- インフォメーションディスプレイ部の等の表示内容を切り換えます。
- パネルオープン時には、背景画面設定メニューの表示や画面サイズの切り換え等を行います。

OPEN オープンボタン
- 液晶パネルが収納されている時に押すと自動的に出てきます。液晶パネル部が出ているときに押すと収納されます。
- 液晶パネルが出ているときに約2秒間押し続けると、液晶パネル部が水平状態になります。もう一度押すと元の位置に戻ります。ボタンを押さない場合は約10秒後に元の位置に戻ります。

リリースレバー
- DCPを外します。

ISR ISRボタン
- 現在のモードにかかわらず、よくお聴きになるラジオ局をすぐに呼出します。(ISR機能)

■インフォメーションディスプレイ部

◎ ：ディスクスキャン/ディスクリピート/ディスクランダム時に点灯
SCN ：スキャン演奏時に点灯
RPT ：リピート演奏時に点灯
RDM ：ランダム演奏時に点灯
BEQ：ビートEQ時に点灯

プリセットチャネル/ディスクNo.インジケータ

ラジオモード時は受信バンド、ラジオ周波数等、演奏モードに対応した情報を表示

MANU：手動選局インジケータ
ST ：ステレオインジケータ
LD ：ラウドネスインジケータ

各部の名称とはたらき

本体各部の名称とはたらき(液晶パネルオープン状態)

DVD TITLE
MENU メニューボタン
- DVDビデオ/DVDチェンジャーモード時は、DVDメニューを表示します。また、押し続けるとDVDタイトル画面を表示します。
- MP-3モード時は、MP-3ファイルを表示します。

LIST リストボタン
- ラジオ/TVモード時にプリセットチャンネルリストを表示します。
- DVD/CD/MDチェンジャーモード時に収納ディスク名リストを表示します。

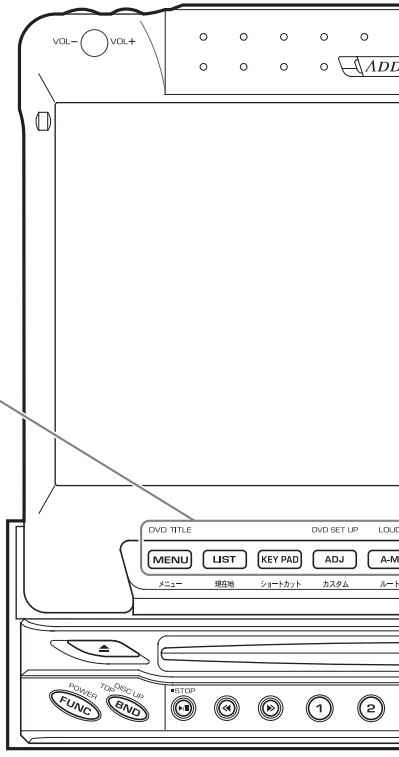
KEY PAD キーパッドボタン
- 演奏モードに対応したキーパッドを表示します。そのキーパッドに触れて選曲等の操作ができます。

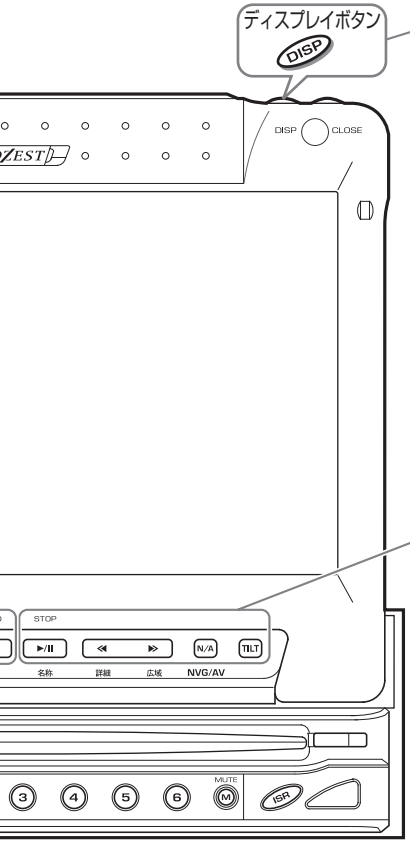
CDチェンジャー時のキーパッド表示例

DVD SET UP
ADJ アジャストボタン
- 設定を変更(アジャストモード)するときにメニューを呼び出します。
- DVDプレーヤーモード時に押し続ける(約1秒間)と、DVDセットアップメニューを表示します。

※このセットアップは、DVDチェンジャーのセットアップ変更も同時に行います。

LOUD
A-M オーディオモードボタン
- 音質やバランス/フェダー等の調整(オーディオモード)をするときに使います。
- 押し続けると低音を強調します。(ラウドネス機能)





DISP ディスプレイボタン

- 押し続ける(約1秒間)と、ディスプレイの背景画面設定メニューを表示します。
- TV/ビジュアル/DVDプレーヤーモード時にそのモードに対応した再生情報を表示します。
- TV/ビジュアル/DVDプレーヤーモード時にパーキングブレーキを引いて停車しているときに押し続ける(約1秒間)と、画面サイズを切り換えます。

TILT 液晶パネル調整ボタン

- 液晶パネルの角度を5段階に調整します。
- 液晶パネルがオープンしているときに押し続けると、前後に3段階スライド調整します。

N/A NAVI/AV切換ボタン

- ナビゲーションとオーディオビジュアル画面を切り換えます。
- このボタンを押し続ける(約1秒間)と、画面表示をオフします。

◀◀ ▶▶ サーチボタン

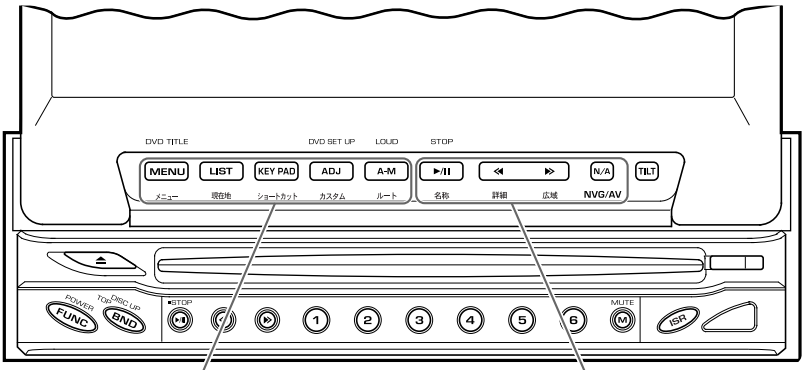
- ラジオ/TVモード時は選局に使います。
- CD/ビデオCD/MP3/MDモード時やCD/MDチェンジャーモード時にはトラック選択に使います。
- DVDビデオモード時はチャプター選択に使います。また、押し続けると早送り/早戻しを行います。

STOP ▶/II プレイポーズボタン

- DVDプレーヤーモード、MDデッキモードやDVD/CD/MDチェンジャーモード時は、演奏を一時停止します。

各部の名称とはたらき

本体各部の名称とはたらき(CeNETナビゲーション接続時)



MENU メニューボタン
メニュー
- ナビゲーションモード時は、メインメニューを表示します。

LIST 現在地ボタン
現在地
- ナビゲーションモード時は、メニュー画面表示中に押すと地図画面を表示します。また、スクロール中の地図画面で押すと、地図上の現在地を表示します。

KEY PAD ショートカットボタン
ショートカット
- 目的地の設定や解除など、状況に応じたメニューを開けます。

ADJ カスタムボタン
カスタム
- ナビゲーションモード時は「VICS情報呼び出し」など、よく使う機能のうちの1つを、このボタンで呼び出すことができます。

A-M ルートボタン
ルート
- ナビゲーションモード時は、ルート誘導中、渋滞でコースを迂回したときや、中継点設定していない場所に寄り道したときに、ルートを再計算できます。また、複数のルートからお好みのルートを選べます。

▶/II 名称ボタン
名称
- ナビゲーションモード時は、ランドマーク、道路など名称を切り換えます。

◀◀ 詳細ボタン
詳細
- ナビゲーションモード時に、地図画面を拡大します。

▶▶ 広域ボタン
広域
- ナビゲーションモード時に、地図画面を縮小します。

N/A NAVI/AV切換ボタン
NVG/AV
- ナビゲーションモード(NAVI)とオーディオビジュアル(AV)モードを切り換えます。

液晶パネル部のディスプレイ表示

- ラジオモード時　　: **FM1 80.0MHz Pch 1**(受信バンド/周波数/プリセットNo.)
- DVDチェンジャーモード時: **D2 T02 C002 01:08:20**
  (ディスクNo./タイトルNo./チャプターNo./演奏時間)
- DVDビデオモード時 : **T01 C003 00:08:20**(タイトルNo./チャプターNo./演奏時間)
- ビデオCDモード時　**: T01 00:01:18**(トラックNo./演奏時間)
- MP-3モード時　　: **F001 T001 00:04:07**(フォルダーNo./トラックNo./演奏時間)
- CDモード時　　: **TRACK 02　04 : 07**(トラックNo./演奏時間)
- CD/MDチェンジャーモード時: **D02 T02 00 : 45**(ディスクNo./トラックNo./演奏時間)
- TVモード時　　: **TV1　1CH　Pch 1**(受信バンド/チャンネル/プリセットNo.)
- ビジュアルモード時　: **VISUAL 1** (バンド)

モーション/スプライト
(MOTION/SPRITE)
パターン表示部

時計表示

モード名

- **MAIN**　: メイン/サブインジケータ(TVモード時)
- **MANU**　: 手動選局インジケータ
- **ST**　　: ステレオインジケータ
- **LD**　　: ラウドネスインジケータ
  ※5.1chサラウンドデコーダー(DVH920)を接続したときは、デジタル入力信号のプログラムフォーマット(**"3/2+LFE"** 等)を表示します。
- **BEQ**　: ビートEQインジケータ
  ※5.1chサラウンドデコーダー(DVH920)を接続したときは、デジタル入力信号のシグナルフォーマット(**"Dolby D"** 等)を表示します。

- ラジオ/TVモード
  : **PROGRAM ▸ TOKYO FM** (放送局名)
- CDチェンジャーモード時
  : **USER TITLE ▸SHINE** (ユーザータイトル)
- CDチェンジャーのCDテキスト時
  : **DISC TITLE ▸ SHINE** (ディスクタイトル)
  : **TRACK TITLE ▸Time has come** (トラックタイトル)
  : **ARTIST ▸Time has come** (アーティスト)
- MDチェンジャーモード
  : **DISC TITLE ▸ SHINE** (ディスクタイトル)
  : **TRACK TITLE ▸Time has come** (トラックタイトル)

各部の名称とはたらき

液晶パネルオープン状態における操作の概要

（ラジオモード時のメイン画面表示）

ファンクションボタンを押して演奏モードを切り換えます。

FUNC

画面に触れると、演奏モードに対応するメニュー画面を表示します。

「**FUNCTION**」キーに触れて、サブメニューを表示する

「**DVD PLAYER**」キーに触れて、DVDプレーヤーモードを選ぶ

RTN

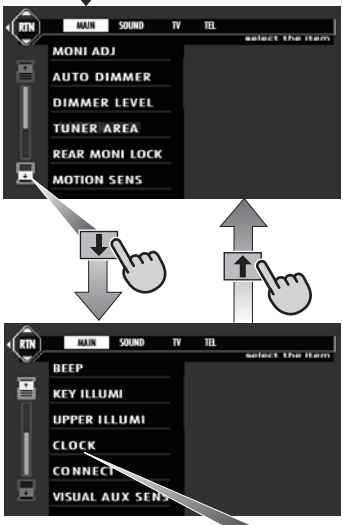
（DVDモード画面になります）

（次ページに続く）

アジャストボタンを押す

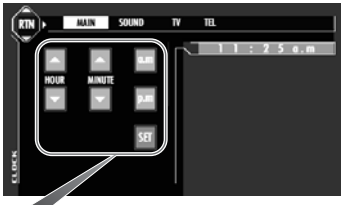
ADJ

（アジャストモード画面）



CLOCK

（時刻設定画面）



▲ ▼ a.m p.m SET

RTN

※CeNET結線対応のナビゲーション接続時には、時刻変更はできません。

（メイン画面に戻ります）

ファンクションボタンを押してDVDプレーヤーモードにする

FUNC

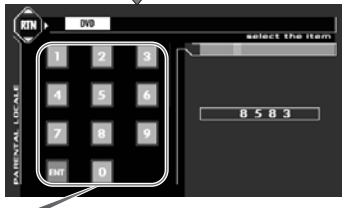
アジャストボタンを押し続ける(約1秒間)

ADJ

（DVDセットアップ画面）

PARENTAL LOCALE

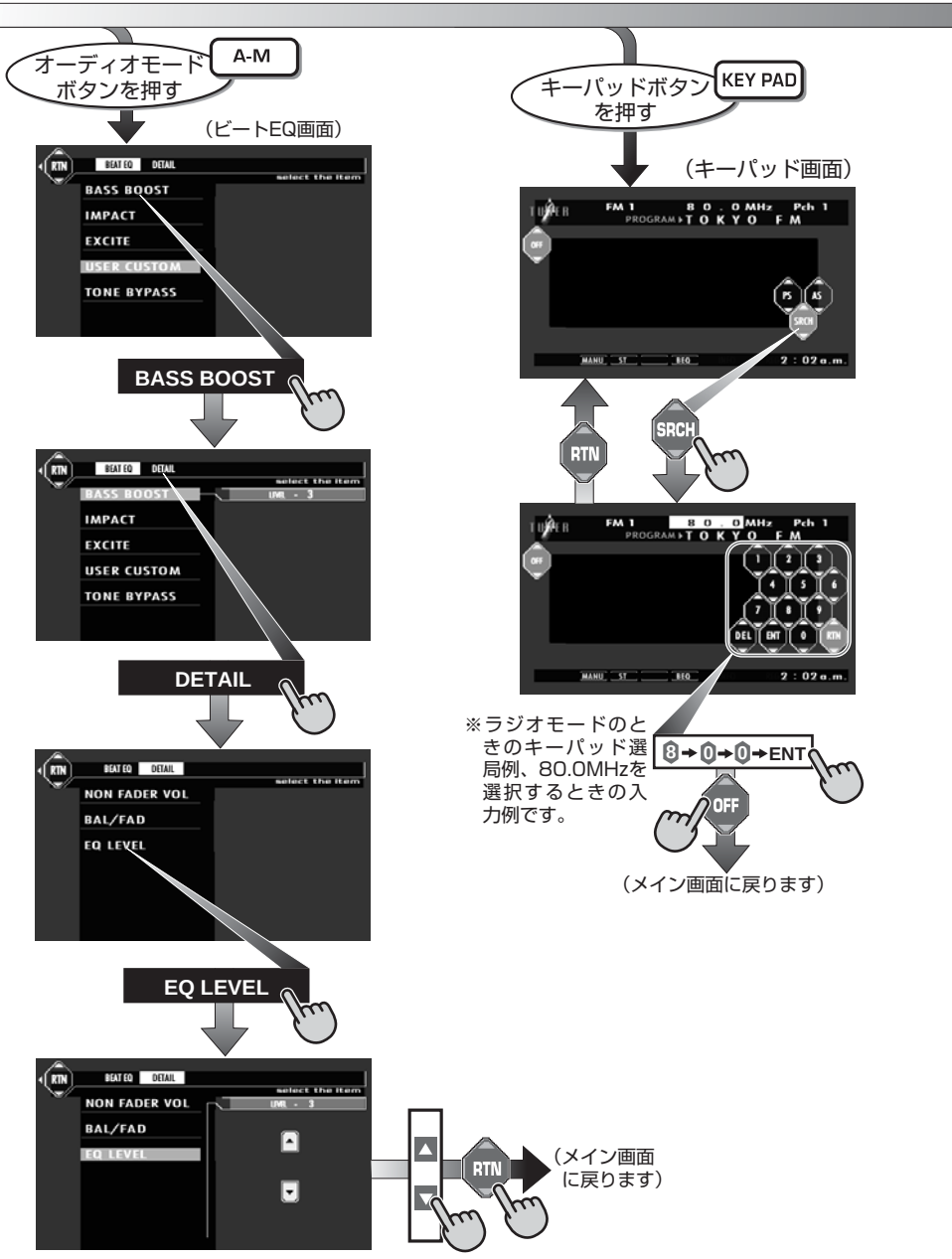
（カントリーコード入力画面）



7 4 8 0 ENT RTN

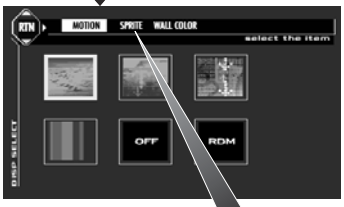
（メイン画面に戻ります）

各部の名称とはたらき


オーディオモードボタンを押す
A-M
（ビートEQ画面）
BEAT EQ
DETAIL
select the item
BASS BOOST
IMPACT
EXCITE
USER CUSTOM
TONE BYPASS
BASS BOOST
LVL - 3
DETAIL
NON FADER VOL
BAL/FAD
EQ LEVEL
EQ LEVEL
LVL - 3
RTN
（メイン画面に戻ります）
キーパッドボタンを押す
KEY PAD
（キーパッド画面）
FM 1
PROGRAM
TOKYO FM
PS
AS
SRCH
MANU
ST
REG
2 : 02 a.m.
SRCH
RTN
DEL
ENT
※ラジオモードのときのキーパッド選局例、80.0MHzを選択するときの入力例です。
8→0→0→ENT
OFF
（メイン画面に戻ります）

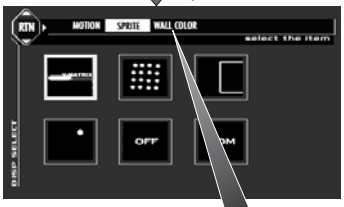
ディスプレイボタンを
押し続ける(約1秒間)
DISP

(モーション選択画面)



SPRITE

(スプライト選択画面)



WALL COLOR

(ウォールカラー選択画面)

カラーパターンに触れる

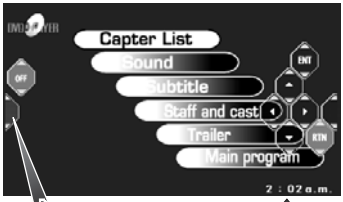
RTN

(メイン画面に戻ります)

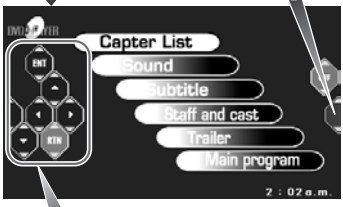
メニューボタン
を押す
MENU

キーパッドボタン
を押す
KEY PAD

(DVDビデオメニュー表示例)



(キーパッドが見にくいときに表示位置を切替えることができます。)



▲, ▼, ◀, ▶, ENT

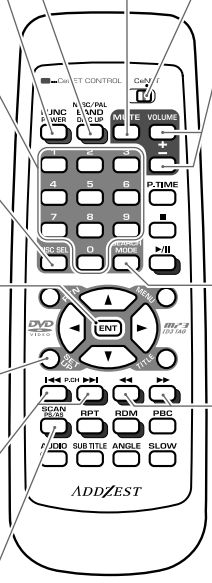
OFF

(メイン画面に戻ります)

各部の名称とはたらき

リモコンのつかいかた

●各モード共通/ラジオ/TVモード時の操作



[BAND]ボタン
- 受信バンドを切り換えます。

[FUNC]ボタン
- 電源をON/OFFします。
- ラジオ、DVD等のモードを切り換えます。

[0-9]ボタン
- キーパッド操作画面においてラジオの受信周波数またはＴＶの受信チャンネルを設定します。

[DISC SEL]ボタン
- プリセットチャンネルセレクト画面を表示します。

[ENT]ボタン
- キーパッド操作画面において入力した数字を確定します。

[SET UP]ボタン
- 本機の各種設定画面を表示します。

[I◀◀], [▶▶I]ボタン
- ラジオモード/ＴＶモード時にプリセットチャンネルをアップ/ダウンします。

[SCAN]ボタン
- ラジオ/TVモード時に押すと、プリセットスキャンします。
- ラジオ/TVモード時に押し続けると、オートストアします。

[MUTE]ボタン
- 消音します。

[CeNET]スイッチ
- **本機の場合は、CeNET側に設定して操作してください。**

[VOLUME]ボタン
- 音量を調節します。

[SEARCH MODE]ボタン
- キーパッド操作画面を表示します。

[◀◀], [▶▶]ボタン
- ラジオモード時の受信周波数またはＴＶモード時の受信チャンネルをアップ/ダウンします。

●DVDプレーヤーモード時の操作

[BAND]ボタン
- DVDビデオ時はチャプターの最初に戻ります。
- CD/MP-3/ビデオCD(PBC機能オフ時)時はトラックの最初に戻ります。

[0-9]ボタン
- キーパッド操作画面においてDVDビデオのチャプターNo.等を設定します。

[RTN]ボタン
- メニュー画面のときに画面表示を切り換えます。

[SET UP]ボタン
- 押し続ける(約1秒間)とDVDビデオ再生のための設定メニューを表示します。

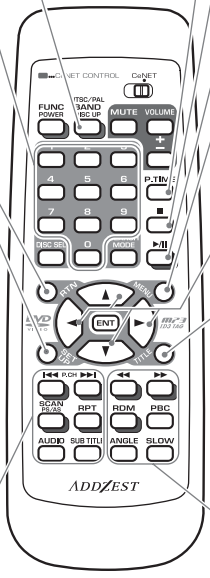
[⏮], [⏭]ボタン
- DVDビデオ時にチャプターNo.をアップ/ダウンします。
- CD/MP-3/ビデオCD(PBC機能オフ時)時にトラックNo.をアップ/ダウンします。

[SCAN]ボタン
- DVDビデオ時にチャプタースキャン、CD/ビデオCD(PBC機能オフ時)時にトラックスキャンします。MP-3時に押すとトラックスキャン、押し続けるとフォルダースキャンします。

[RPT]ボタン
- DVDビデオ時にチャプターリピート、CD/ビデオCD(PBC機能オフ時)時にトラックリピートします。MP-3時に押すとトラックリピート、押し続けるとフォルダーリピートします。

[AUDIO]ボタン
- DVDビデオ/ビデオCD時にオーディオ機能を切り換えます。

[SUB TITLE]ボタン
- DVDビデオ時にサブタイトルを表示します。



[P.TIME]ボタン
- DVDビデオ/ビデオCD時はプレイタイム表示をオン/オフします。
- 押し続ける(約1秒間)とプレイタイム表示を切り換えます。

[■]ボタン
- DVDビデオ/ビデオCD時は、ビデオ再生を停止します。

[▶/II]ボタン
- 一時停止します。

[MENU]ボタン
- ビデオディスクに記録されているメニューを表示します。

[▲], [▼], [◀], [▶]ボタン
- DVDビデオ/MP-3 再生時に、メニュー等の表示項目を選択します。

[TITLE]ボタン
- DVDビデオディスクのタイトル画面を表示します。ディスクによっては表示されない場合があります。

[◀◀], [▶▶]ボタン
- 押し続けると早送り/早戻しします。

[RDM]ボタン
- CD/ビデオCD(PBC機能オフ時)時にトラックランダムします。MP-3時に押すとトラックランダム、押し続けるとフォルダーランダムします。

[PBC]ボタン
- ビデオCD時にPBC機能をオン/オフします。
- 約5秒以上押し続けると、DVDビデオプレーヤーの設定内容が工場出荷状態に戻ります。

[ANGLE]ボタン
- DVDビデオ時にアングル機能をオン/オフします。

[SLOW]ボタン
- DVDビデオ/ビデオCD時にスロー再生します。

各部の名称とはたらき

リモコンのつかいかた

●CD/MD/DVDチェンジャーモード時の操作

[BAND]ボタン
- ディスクを切替えます。

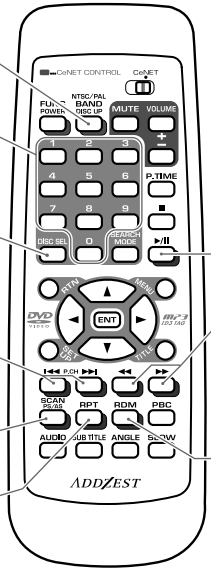
[0-9]ボタン
- キーパッド画面においてトラックNo.を設定します

[DISC SEL]ボタン
- ディスクセレクト画面を表示します。

[I◀◀], [▶▶I]ボタン
- 演奏トラックをアップ/ダウンします。

[SCAN]ボタン
- 押すとトラックスキャン、押し続ける(約1秒間)とディスクスキャンします。

[RPT]ボタン
- 押すとトラックリピート、押し続ける(約1秒間)とディスクリピートします。



●DVDチェンジャーモード時
[BAND]ボタン
- ディスクを切り換えます。

※その他のボタン操作はDVDプレーヤーモード時と同じです。

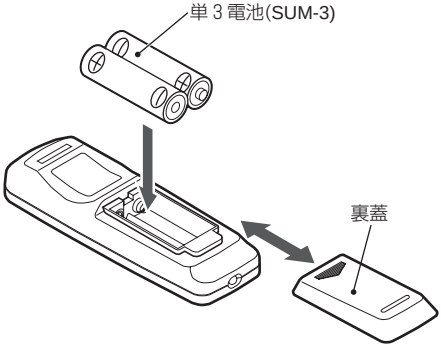
[▶/II]ボタン
- 一時停止します。

[◀◀], [▶▶]ボタン
- 押し続ける(約1秒間)と早送り/早戻しします。

[RDM]ボタン
- 押すとトランダム、押し続ける(約1秒間)とディスクランダムします。

リモコン電池の入れかた

① リモコンを裏返して、矢印の方向に押しながら、ふたを引き出します。
② 付属の電池(SUM-3)を図のような向きにして入れます。
③ 「カチッ」と音がするまで、ふたを押し込みます。



⚠注 意

使用を誤ると、電池の破裂や液漏れにより、ケガや火災、周囲を汚染する原因となりますので、以下の注意事項をお守りください。
- 指定電池以外は使用しない。
- 電池を交換するときは、極性の向きを間違えないように正しく入れる。
- 電池を加熱したり、火や水の中に入れない。また、分解しない。
- 使用済みの電池は、定められた場所に廃棄する。

基本の操作

DCPの取り外しかた

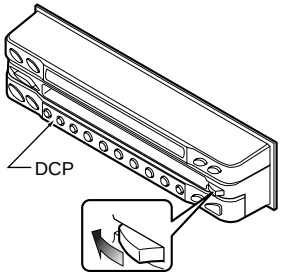
DCP(Detachable control panel)について…

このコントロールパネルは盗難防止用に取り外すことができます。
車から離れるときは、DCPをお持ちになることをおすすめします。

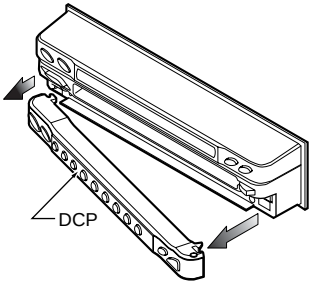
1 ファンクションボタン(FUNC)を押し続けて(約1秒間)電源をOFFにする

2 リリースレバー(　　)を左方向にスライドさせてロックを解除する

→手を離すとオペレーションパネル(DCP)の右側が手前に浮き上がります。



3 DCPを取外します

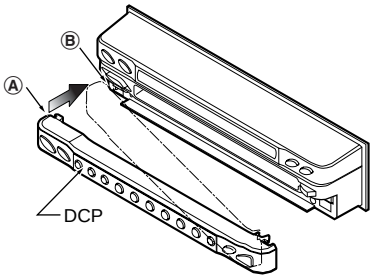


ご注意

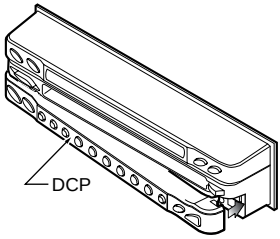
「オートパネルを設定する」(46ページ)で「**ON**」または「**CLOSE**」に変更した場合には、DCPを取り外したときに警告音がなり、パネルが自動的に収納されます。

DCPの取り付けかた

1 DCPの左側のⒶ部が本体のフックⒷに引っかかるようにDCPを差し込む



2 DCPの右側をロックするまで本機に押し込む



3 ファンクションボタン(FUNC)を押して、電源をONにする

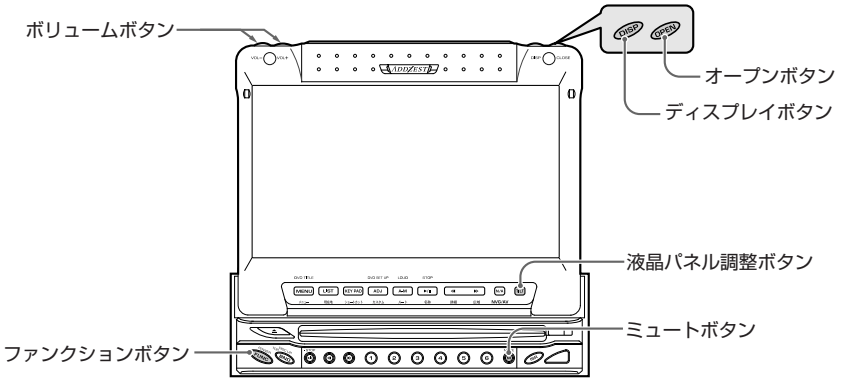
⚠注 意

- DCPは衝撃には強くありません。取り外した後は、落としたり強い衝撃を与えないようにご注意ください。
- リリースレバーをスライドさせてロックが解除のままになっていると、車の振動でDCPが落ちる場合があります。DCPの故障の原因となりますので、DCPを取外して保管してください。

ご注意

- DCPが汚れている場合、乾いた柔らかい布で拭いてください。
- 「オートパネルを設定する」(46ページ)で「**ON**」に変更した場合、DCPを取り外すときにパネルがオープンになっているときは、DCPを取り付けた時に警告音がなり、パネルが元の位置まで立ち上がります。

基本の操作



電源を入れる

1 ファンクションボタン(FUNC)を押す

→前回の操作終了時のモードになります。

ご注意

- バッテリーあがり防止のため、本機の操作は、できるだけエンジンをかけた状態で行ってください。
- システムチェック画面が表示されたときは、ファンクションボタンを数回押してください。詳しくは13ページをご覧ください。

■電源を切るには…

ファンクションボタンを押し続け(約1秒間)てください。

音量を調整する

1 ボリュームボタンを押す

小さくなります ⊖ ⊕ 大きくなります

→ディスプレイに音量レベルを表示します。音量調整範囲は0～33です。

⚠注 意

運転中は、車外の音が聞こえる程度の音量にしてください。

消音(ミュート)する

1 ミュートボタン(Ⓜ)を押す

→ディスプレイに「**MUTE**」を表示します。

■通常の音量に戻すには…

もう一度ミュートボタンを押してください。

インフォメーションパネルのディスプレイ表示を切り換える

インフォメーションパネルのディスプレイは液晶パネルが収納されているときに表示します。

1 ディスプレイボタン(DISP)を押す

→ディスプレイボタンを押すたびに、次のよう切換ります。

●メイン表示

↓

●時計表示

↓

メイン表示

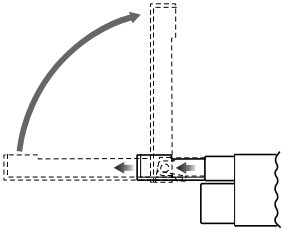
液晶パネルを立ち上げる

⚠警 告

液晶パネル作動時は、液晶パネルと、本体や車側インパネに手や指をはさまないようにご注意ください。

1 オープンボタン(OPEN)を押す

→液晶パネルが自動的に出て立ち上がり、前回OFFしたモードを表示します。



- 液晶パネルの開閉動作中はファンクションボタンに設けられたインジケータが点滅します。

ご注意

- 途中で止まったときには、いったんオープンボタンを押して収納し、もう1度ボタンを押して立ち上げてください。

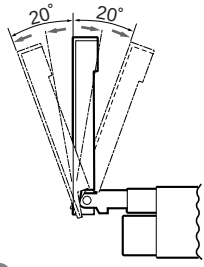
液晶パネルの角度等を調整する

本機の取付角度または車内に差し込む光線に合わせて、液晶パネル面の角度あるいは取付面からの液晶パネルの突き出し量を調整できます。

■角度を調整するには

1 液晶パネル調整ボタン(TILT)を押す

→ボタンを押すたびに、液晶パネルが前方または後方に最大約20°傾きます。調整した角度はメモリーされます。



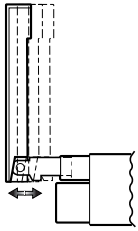
ご注意

- 液晶パネルを手で持って可動させないでください。

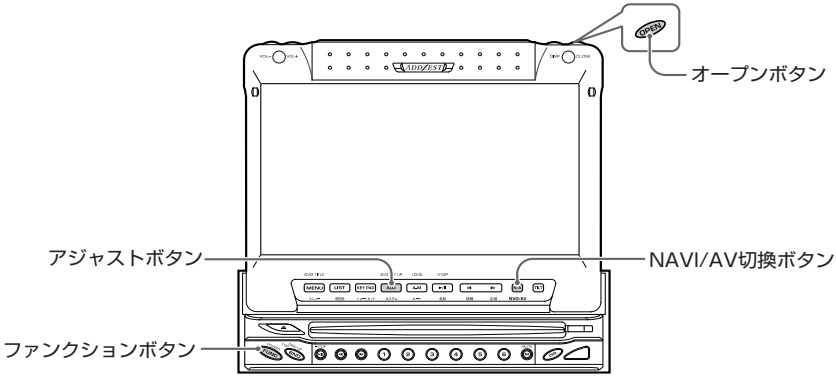
■スライド位置を調整するには

1 液晶パネル調整ボタン(TILT)を押し続け、ピッとなったら指を離す

→液晶パネルが前方または後方にスライドします。調整したスライド位置はメモリーされます。



基本の操作



液晶パネルを水平状態にする(エアコン操作モード)

液晶パネルがエアコン操作の障害となる取付のときに、一時的に液晶パネルを水平状態にしてエアコン操作をすることができます。

1 液晶パネル立ち上げ状態のときに、オープンボタン(OPEN)を押し続け、ピッとなったら指を離す

→液晶パネルが水平状態になります。

- 水平状態のときに、もう一度オープンボタンを押すと元の位置に戻ります。
- 水平状態で約10秒間ボタン操作がない場合、警告音が鳴り液晶パネルは元の位置に戻ります。

液晶パネルを収納する

1 オープンボタン(OPEN)を押す

→液晶パネルが自動的に収納されます。

ご注意

- 長時間使用しないときや車から離れるときは、必ず液晶パネルを本体に収納してください。

画面表示をOFFする

1 NAVI/AV切換ボタン(N/A)を押し続ける(約1秒間)

■画面表示をONするには

いずれかのボタンを押すか、画面に触れてください。

オーディオ・テレビ画面にする(前回終了時ナビゲーションモードの場合)

1 NAVI/AV切換ボタン(N/A)を押す

→ナビゲーション接続時に、ナビゲーションモードとオーディオ・テレビモードに切り換わります。

モードを選ぶ

1 ファンクションボタン(FUNC)を押す

→ファンクションボタンを押すたびに、モードが切り換わります。

ラジオ → (MD) → DVDプレーヤー → (CDチェンジャー) → (MDチェンジャー) → (DVDチェンジャー) → TV → ビジュアル → ラジオ

■メニュー画面を表示するには…

画面に触れてください。

→選択したモードに対応したメニュー画面を表示します。

■タッチキーでモードを選ぶには…

「**FUNCTION**」キーに触れてサブメニューを表示し、サブメニューの各モードキーに触れてください。（接続機器のみ表示します。）

■サブメニューのモード表示が6以上の場合には…

「**FUNCTION**」キーにもう一度触れてください。

→表示されなかった接続機器のモードキーを表示します。

TUNER	：ラジオモード
DVD PLAYER	：DVDプレーヤーモード
MD PLAYER	：MDモード
CD A/C	：CDチェンジャーモード
MD A/C	：MDチェンジャーモード
DVD A/C	：DVDチェンジャーモード
TELEVISION	：TVモード
VISUAL	：ビジュアルモード(VTR等)

■メイン画面に戻すには…

「**RTN**」キーに触れてください。

時刻を合わせる

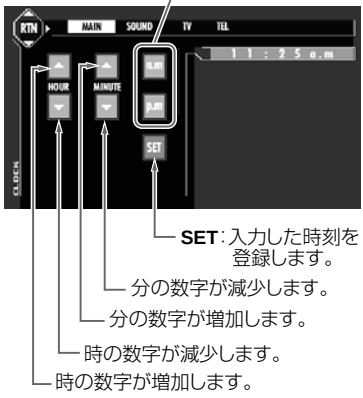
※CeNET結線対応のナビゲーション接続時は、時刻データがナビゲーションから供給されるため、時刻を合わせる必要がありません。

1 アジャストボタン(ADJ)を押す

→アジャストモードメニューが表示されます。

2 メニュー画面の「⬇」キーに触れてメニュー表示を切り換え、「**CLOCK**」キーに触れる

→時刻設定画面が表示されます。

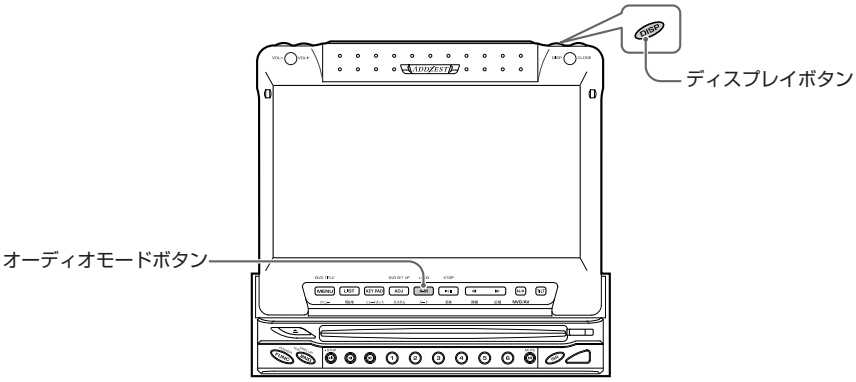


3 調整キーに触れて時刻を設定する

4 「**SET**」キーに触れて、設定時刻を登録する

5 「**RTN**」キーに触れて、メイン画面に戻る

基本の操作



ディスプレイの背景画面を設定する

ディスプレイの背景画面について…
本機は、ウォールカラー(**WALL COLOR**:8種類)、モーション(**MOTION**:5種類)、スプライト(**SPRITE** :5種類)を組合わせることで、いろいろなディスプレイ表示をお楽しみいただけます。

1 ディスプレイボタン(DISP)を押し続ける(約1秒間)

→モーション(**MOTION**)パターン画面を表示します。

2 次の方法でお好みのパターンを選択する

ご注意

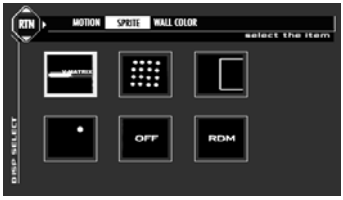
画面表示はカラー画像を白黒化しているため、実際の画面と異なる部分があります。ご使用の際は実際の画面表示をご覧のうえ、選択してください。

●モーション(MOTION)パターンを選ぶには

2-1 モーションパターン画面において、お好みのパターンに触れる

●スプライト(SPRITE)パターンを選ぶには

2-1 画面上部の「**SPRITE**」キーに触れて、スプライトパターン画面を表示する



2-2 お好みのパターンに触れて選ぶ

●ウォールカラー(WALL COLOR)パターンを選ぶには

2-1 画面上部の「**WALL COLOR**」キーに触れて、ウォールカラーパターン画面を表示する

次ページに続く

2-2 お好みのパターンに触れて選ぶ

3 元のモードに戻るには、「**RTN**」キーに触れる

または、ディスプレイボタン(DISP)を押す

音質を簡単に設定する(ビートEQ機能)

ビートEQ機能について…

本機は、3種類の音質効果をメモリーしてあります。お好みの音質を設定してください。

※初期設定は「**USER CUSTOM**」です。

1 オーディオモードボタン(A-M)を押して、オーディオモードメニューを表示する

2 設定したい音質設定キーに触れる

BASS BOOST	：低音を重視したサウンド
IMPACT	：低音と高音を強調したサウンド
EXCITE	：低音と高音を更に強調したサウンド
USER CUSTOM	：好みの音質に設定して登録したサウンド
TONE BYPASS	：原音のままのサウンド（ビートEQオフ）

ご注意

- ビートEQ機能を設定すると、バス、ミッド、トレブルの音質調整ができなくなります。
- 別販の5.1chサラウンドデコーダー(DVH920)を接続したときはビートEQ機能は使用できません。「5.1chサラウンドデコーダーの操作」(89～93ページ)で調整してください。

3 元のモードに戻るには、画面上の「**RTN**」キーに触れる

または、オーディオモードボタン(A-M)を押す

■ ユーザーカスタムついて(USER CUSTOM)…

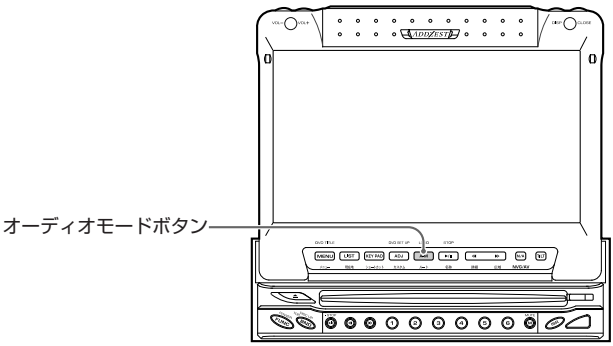
ユーザーカスタムは、音質をきめ細かく設定してお聴きになりたいときにご使用ください。

「音質を調整する(バス/ミッド/トレブル)」(35ページ)の手順で、お好みの音質に調整してください。

■トーンバイパスについて(TONE BYPASS)…

トーンバイパスは、バス/ミッド/トレブルの機能を無効にします。原音のまま、お聴きになりたいときにご使用ください。

基本の操作



ビートEQ量を調整する

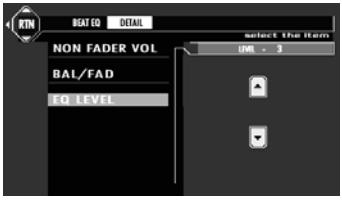
この機能は、ビートＥＱ機能を**BASS BOOST**(バスブースト)、**IMPACT**(インパクト)または**EXCITE**(エキサイト)に設定しているときに調整できます。

1 オーディオモードボタン(A-M)を押して、オーディオモードメニューを表示する

2 「**BASS BOOST**」、「**IMPACT**」または「**EXCITE**」キーに触れる

→選択したEQモードにおける現在の設定レベルを表示します。

3 レベル表示(“**LEVEL-3**”等)キーに触れて、レベル調整画面を表示する



• 画面上部の「**DETAIL**」キーに触れて画面表示切り換えた後、「**EQ LEVEL**」キーに触れても調整画面を表示することができます。

4 調整画面の「▲」キーまたは「▼」キーに触れて、ビートEQ量を調整する

• 調整範囲は、−3〜+3です。

5 元のモードに戻るには、「**RTN**」キーに数回触れる

または、オーディオモードボタン(A-M)を押す

ノンフェダー出力の音量を調整する

※初期設定は「**0**」です。

1 オーディオモードボタン(A-M)を押して、オーディオモードメニューを表示する

2 画面上部の「**DETAIL**」キーに触れて、画面を切り換える

3 「**NON FADER VOL**」キーに触れて、レベル調整画面を表示する

4 調整画面の「▲」キーまたは「▼」キーに触れて、レベルを調整する

• 調整範囲は、−6〜+6です。

5 元のモードに戻るには、「**RTN**」キーに数回触れる

または、オーディオモードボタン(A-M)を押す

バランス/フェダーを調整する

1 オーディオモードボタン(A-M)を押して、オーディオモード画面を表示する

2 画面上部の「**DETAIL**」キーに触れて、画面を切り換える

3 「**BAL/FAD**」キーに触れる

→バランス/フェダー調整画面になります

4 調整画面の「▶」、「◀」キーまたは「▲」、「▼」キーに触れて、バランスまたはフェダーを調整する

▲：フロントスピーカーからの音を強調します。
▼：リアピーカーからの音を強調します。
◀：左側ピーカーからの音を強調します。
▶：右側ピーカーからの音を強調します。

5 元のモードに戻るには、画面上の「**RTN**」キーに触れる

または、オーディオモードボタン(A-M)を押す

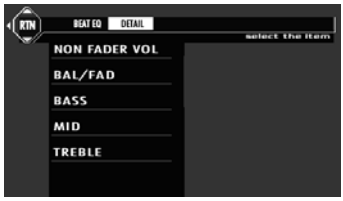
音質を調整する(バス/ミッド/トレブル)

この機能は、ビートEQ機能がユーザーカスタム(**USER CUSTOM**)のときに設定できます。

1 オーディオモードボタン(A-M)を押して、オーディオモードメニューを表示する

2 画面の「**USER CUSTOM**」キーに触れて、調整画面を表示する

3 画面上部の「**DETAIL**」キーに触れて、画面を切り換える



4 **BASS**(低音域)、**MID**(中音域)、**TREBLE**(高音域)の調整をします

●*BASS(低音域)を調整する*

• 次ページ記載の特性図表を参考にしてお好みの音質に調整してください。

4-1 「**BASS**」キーに触れる

4-2 「**GAIN**」、「**FREQ**」または「**Q**」キーに触れて調整項目を選び、「▲」キーまたは「▼」キーに触れて調整する

GAIN : ゲイン調整します。調整範囲は−6〜+8(初期設定は"**0**")です。数字が大きいほどより強調されます。

FREQ: 周波数の設定をします。設定値は50Hz、80Hz、120Hz(初期設定は"**50Hz**")です。

Q : Qカーブの設定をします。設定値は1、1.25、1.5、2(初期設定は"**1**")です。

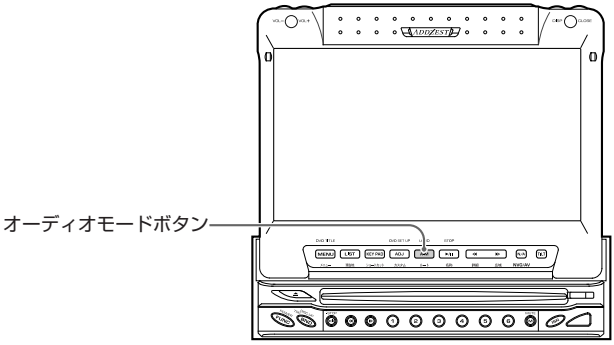
●*MID(中音域)を調整する*

4-1 「**MID**」キーに触れる

4-2 「**GAIN**」、「**FREQ**」または「**Q**」キーに触れて調整項目を選び、「▲」キーまたは「▼」キーに触れて調整する

GAIN : ゲイン調整します。調整範囲は−6〜+6(初期設定は"**0**")です。

次ページに続く



FREQ: 周波数の設定をします。設定値は700Hz、1kHz、2kHz(初期設定は"**1kHz**")です。

Q :Qカーブの設定をします。設定値は1.5、2(初期設定は"**2**")です。

●*TREBLE(高音域)を調整する*

4-1 「**TREBLE**」キーに触れる

4-2 「**GAIN**」または「**FREQ**」キーに触れて調整項目を選び、「▲」キーまたは「▼」キーに触れて調整する

GAIN : ゲイン調整します。調整範囲は−6〜+6(初期設定は"**0**")です。

FREQ: 周波数の設定をします。設定値は8kHz、12kHz(初期設定は"**12kHz**")です。

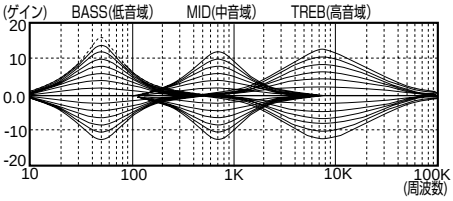
Q :Qカーブは"**0.8**"に設定されています。

5 元のモードに戻るには、画面上の「**RTN**」キーに触れる

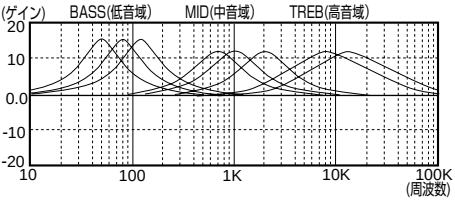
または、オーディオモードボタン(A-M)を押す

※次の特性図表を参考にバス、ミッドおよびトレブルを調整し、お好みの音質に調整してください。

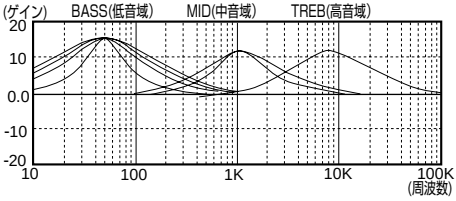
●ゲイン調整時の特性



●周波数変更時の特性



●Qカーブ変更時の特性



※Qカーブ(Q)は数値を大きくすると鋭く、小さく設定すると緩やかなカーブになります。

ラウドネス効果をON/OFFする

小音量でお聴きになるときには…

小音量でお聴きになるときには、低音を強調するラウドネスの自然な音質をおすすめします。

1 オーディオモードボタン(A-M)を押し続ける(約1秒間)

→ONになると、「**LD**」を表示してラウドネスの効いた音になります。

- 「**TONE BYPASS**」(ビートEQオフ)を選択した場合には、ONできません。
- ビートEQ機能で設定した音質はラウドネス効果にプラスして強調されます。
- 別販の5.1chサラウンドデコーダー(DVH920)を接続したときは、ラウドネス効果はONできません。「**5.1chサラウンドデコーダーの操作**」(89〜93ページ)で調整してください。

■ *OFFにするには…*

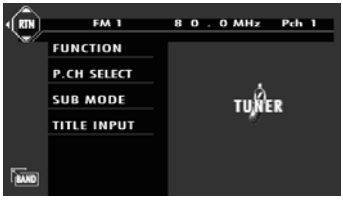
もう1度、オーディオモードボタンを押し続け(約1秒間)てください。

タイトルリストから演奏する

タイトルリスト演奏について…

ラジオ/TVモードあるいはDVD/CD/MDチェンジャーモード時にタイトルリストを表示させてお好みの放送局あるいはディスクを演奏することができます。

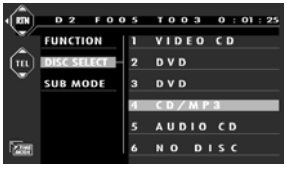
1 画面に触れてメニュー画面を表示する



2 メニュー画面の「**P.CH SELECT**」キーに触れて、タイトルリストを表示する

■*DVD/CD/MDチェンジャーモードのときは…*

メニュー画面の「**DISC SELECT**」キーに触れて、タイトルリスト画面を表示してください。



■*12枚CDチェンジャーモードの7〜12のディスクを選ぶには…*

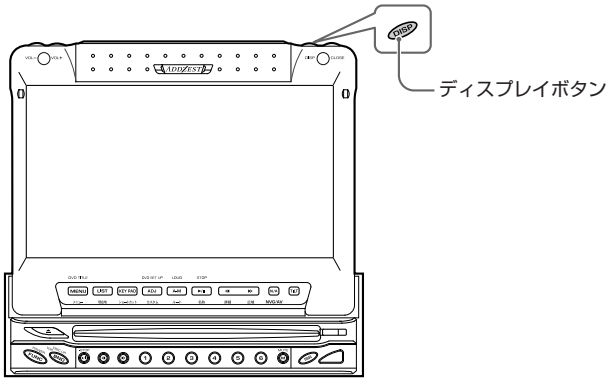
メニュー画面の「**DISC SELECT**」キーにもう一度触れてください。

3 聴きたい放送局等のダイレクトキーに触れる

■*メイン画面に戻るには…*

「**RTN**」キーに触れてください。

基本の操作

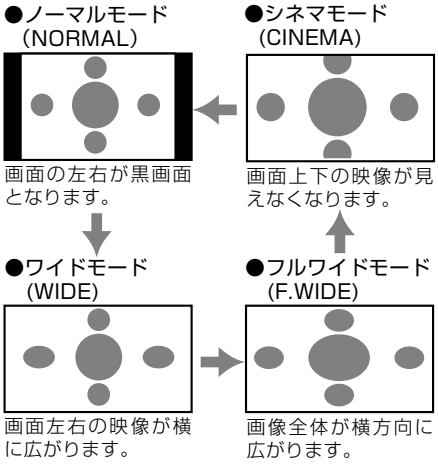


画面サイズを切り換える

この機能はTV/VTR/ビジュアル/DVDビデオモードのときに、パーキングブレーキを引いて停車中のみ操作できます。

1 ディスプレイボタン(DISP)を押し続ける(約1秒間)

→ディスプレイボタンを押すたびに、次のように画面サイズが切り換わります。



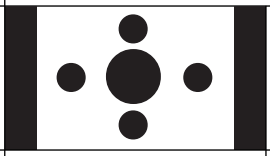
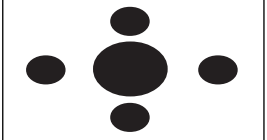
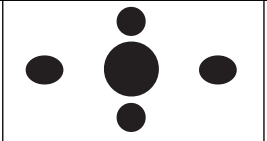
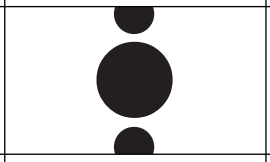
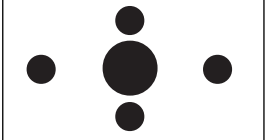
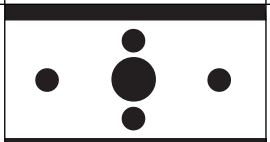
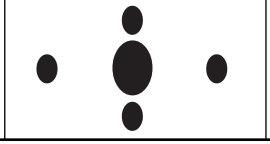
- タッチキー等のメニュー表示はフルワイドモードになります。

参考

ワイド画面でない通常の4：3の映像をワイドモードあるいはフルワイドモードを利用して、ワイドテレビの画面いっぱいに表示してご覧になると、周辺画像が一部見えなくなったり変形して見えます。製作者の意図を尊重したオリジナルな映像は、ノーマルモードでご覧になれます。

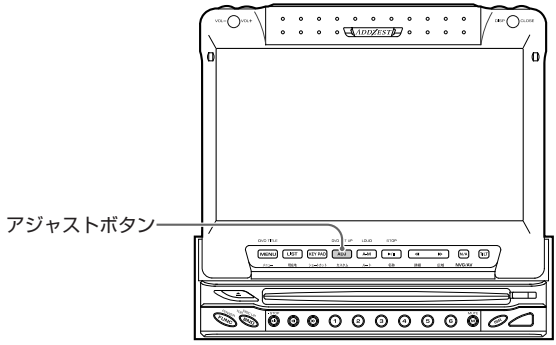
画面モードについて

本機のワイドモニターで再生した場合の画面モードは、次のようになります。お使いのDVDソフトのサイズに合わせて、モードを選択してください。

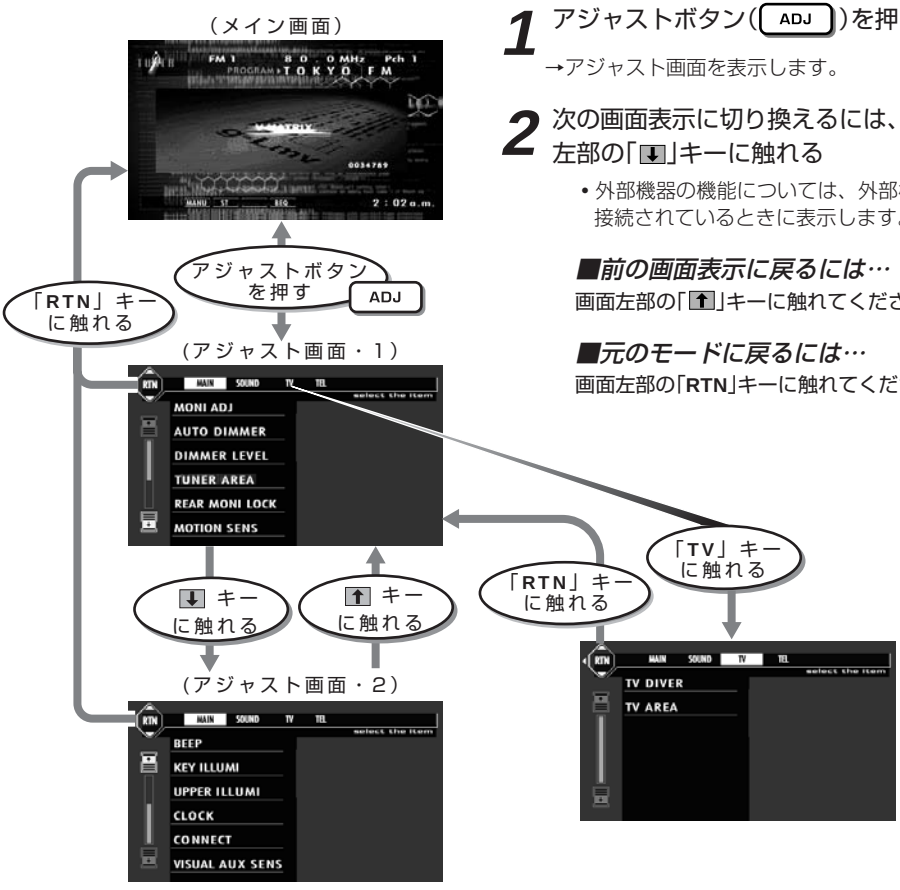
映像サイズの横：縦比	画面モード	映像の見え方	
4：3 スタンダード	ノーマル		画像の変形はなく、映像が切れることもありませんが、左右が黒画面になります。
	フルワイド		画像全体が、画面いっぱい横に広がります。 映像が切れることはありません。
	ワイド		画像の左右が、画面いっぱい横に広がります。 映像が切れることはありません。
	シネマ		画像全体が大きくなり、上下の映像が見えなくなります。
16：9 ビスタサイズ	フルワイド		画像の変形はなく、映像が切れることもなく、画面にぴったり収まります。
2.35：1 シネマスコープ サイズ	フルワイド		画像の変形はなく、映像が切れることもありませんが、上下が黒画面になります。
	シネマ		画像全体が、縦に広がります。 映像が切れることはありません。

※映像サイズの横：縦比は、各DVDビデオソフトで異なります。通常は、パッケージに記載されていますのでご確認ください。

設定を変更する(アジャストモード)



環境設定の画面を選ぶ



1 アジャストボタン(ADJ)を押す

→アジャスト画面を表示します。

2 次の画面表示に切り換えるには、画面左部の「⬇」キーに触れる

- 外部機器の機能については、外部機器が接続されているときに表示します。

■前の画面表示に戻るには…

画面左部の「⬆」キーに触れてください。

■元のモードに戻るには…

画面左部の「RTN」キーに触れてください。

■設定項目一覧

アジャスト画面では、次の機能について設定することができます。

■ アジャストボタンを押すとメニューを表示する項目

●画面の明るさ・色あい･カラー(色の濃さ)を設定する(**MONI ADJ**)
TV/VTR/VISUAL/DVDビデオモードにおいて映像表示中(停車中)にのみ設定できます。上記以外の時は画面の明るさのみ設定ができます。

●オートディマーを設定する(**AUTO DIMMER**)
ディスプレイ照明を外部の明るさに連動して自動的に調整します。

●ディスプレイ表示の明るさを調整する(**DIMMER LEVEL**)
車のイルミネーション点灯時/非点灯時にそれぞれ独立して明るさの設定を行います。夜間などで車内が暗いときに、ディスプレイの眩しさを防ぐため、車のイルミネーション電源に連動してディスプレイ照明が減光されます。

●チューナーエリアを設定する(**TUNER AREA**)
チューナーエリア(ラジオを受信する地域)を選択すると、選局した周波数に対する放送局名を自動的に表示することができます。

●リアモニターのロックを設定する(**REAR MONI LOCK**)
この機能の操作については、「2-ZONEリアモニターロック」(98ページをご覧ください。

●背景画面表示の速さを設定する(**MOTION SENS**)

●操作時のビープ音を設定する(**BEEP**)

●ボタン照明を設定する(**KEY ILLUMI**)
グリーンあるいはレッドに切り換えます。

●インフォメーションパネルのボタン照明を設定する(**UPPER ILLUMI**)
常時ONあるいは5秒間点灯に切り換えます。

●時計表示設定(**CLOCK**)
この機能の操作については、31ページをご覧ください。

●映像入力を設定をする(**CONNECT**)
RGBナビゲーション(CeNET結線以外のアゼストナビゲーション)あるいはコンポジットナビゲーション(他社製のナビゲーション)を接続する場合に選択します。

●外部接続機器の音量レベルを設定する(**VISUAL AUX SENS**)
VISUAL1あるいは2の端子へ接続した外部機器の音量出力レベルを設定します。

●オートパネルを設定する(**AUTO PANEL**)
DCPの取り外しや取り付け時に、自動的に液晶パネルを立ち上げたり、収納したりします。

■「SOUND」キーに触れると表示される項目

5.1chサラウンドデコーダー(DVH920)を接続しているときに、デコーダーの設定を変更するメニューを表示します。(詳しくは89～93ページをご覧ください。)

■「TV」キーに触れると表示される項目

●TVダイバーシティを設定する(**TV DIVER**)
TV放送受信時に、受信状態の良いアンテナに自動的に切り換えます。

●テレビエリアを設定する(**TV AREA**)
テレビエリア(テレビを受信する地域)を選択すると、選局したチャンネルに対する放送局名を自動的に表示することができます。

■「TEL」キーに触れると表示される項目

別販のコミュニケーションユニットを接続しているときに表示します

●電話の割り込み設定をする(**TEL SPEAKER**)
本機と別販のコミュニケーションユニットを接続することにより、電話の着信時に、車内のスピーカーから着信音および通話音声を聞くことができます。また、本機では通話音声を出すスピーカーを左または右に切り換えることができます。

設定を変更する(アジャストモード)

画面の明るさ・色あい・色の濃さを設定する(MONI ADJ)

TV/VTR/VISUAL/DVDビデオモードにおいて停車してパーキングブレーキを引いたときにのみ設定できます。その他の時はBRIGHT(明るさ)のみ設定できます。
※初期設定は<**中間**>です。

1 アジャストボタン(ADJ)を押して、アジャスト画面を表示する

2 「**MONI ADJ**」キーに触れる

3 調整キー(「**BRIGHT**」、「**HUE**」、「**COLOR**」)に触れる

- 走行中は明るさ調整画面(**BRIGHT**)を表示します。

4 「**ー**」キーまたは「**＋**」キーに触れて調整する

調整項目	ー (R)	＋ (G)
BRIGHT(明るさ)	暗くなる	明るくなる
HUE(色あい)	赤みがかる	緑がかる
COLOR(カラー)	薄くなる	濃くなる

※続けて色合い、カラーを設定する場合は「**HUE**」、「**COLOR**」キーに触れます。

5 メイン画面に戻るには、「**RTN**」キーに2回触れる

→アジャストメニュー画面に戻ります。もう一度「**RTN**」キーに触れるとメイン画面に戻ります。

オートディマーを設定する(AUTO DIMMER)

オートディマーについて…
ディスプレイ照明を外部の明るさに連動して自動的に調整します。
※初期設定は<**ON**>です。

1 アジャストボタン(ADJ)を押して、アジャスト画面を表示する

2 「**AUTO DIMMER**」キーに触れる

3 設定キー(「**ON**」、「**OFF**」)に触れる

4 メイン画面に戻るには、「**RTN**」キーに触れる

ディスプレイ表示の明るさを調整する(DIMMER LEVEL)

ディマー機能について…
夜間などで車内が暗いときに、ディスプレイの眩しさを防ぐため、車のイルミネーション電源に連動してディスプレイ照明を減光することができます。
この機能はオートディマー設定がOFFのときに使用できます。
※初期設定は、
ライト消灯時：一番明るい設定
ライト点灯時：中間の明るさ

1 アジャストボタン(ADJ)を押して、アジャスト画面を表示する

2 「**DIMMER LEVEL**」キーに触れる

次ページに続く

3 調整キー(「**ー**」、「**＋**」)に触れる

4 メイン画面に戻るには、「**RTN**」キーに2回触れる

チューナーエリアを設定する (TUNER AREA)

チューナーエリアについて…

チューナーエリア(ラジオを受信する地域)を選択すると、選局した周波数に対する放送局名を自動的に表示することができます。

※初期設定は「**広域 関東**」です。

1 アジャストボタン(ADJ)を押して、アジャスト画面を表示する

2 「**TUNER AREA**」キーに触れる

3 エリアキー(「北海道」等)に触れる

→チューナーエリアが設定されます。

- 次の画面表示に切り換えるときは、「⬇」キーを、戻るときは「⬆」キーを押してください。
- 受信エリアは次の通りです。

USER TITLE(タイトル入力された放送局名)		
北海道	東北	広域 関東
広域 東海	北陸	近畿
中国	四国	九州
沖縄		

- オリジナルの放送局名を表示する場合は、「USER TITLE」(タイトル入力された放送局名)にしてください。また、オリジナルの放送局名をつけるときは、「**タイトルをつける(タイトル入力)**」(82ページ)をご覧ください。

4 メイン画面に戻るには、「**RTN**」キーに2回触れる

■イージーインプット機能について…

チューナーエリアを選択してから、「**MEMO**」キーに触れ続ける(約2秒間)と、選択したチューナーエリアの放送局名と一致するチャンネルがプリセットメモリーされていればユーザーメモリーへ登録されます。

「タイトルをイージーインプットする」(83ページ)をご覧ください。

背景画面表示の速さを設定する (MOTION SENS)

モーション(**MOTION**)/スプライト(**SPRITE**)パターンを表示する速さを設定することができます。

※初期設定は<**HIGH**>です。

1 アジャストボタン(ADJ)を押して、アジャスト画面を表示する

2 「**MOTION SENS**」キーに触れる

3 設定キー(「**HIGH**」、「**MID**」、「**LOW**」)に触れる

4 メイン画面に戻るには、「**RTN**」キーに触れる

設定を変更する(アジャストモード)

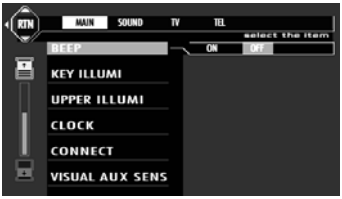
操作時のビープ音を設定する(BEEP)

※初期設定は<**ON**>です。

1 アジャストボタン(ADJ)を押して、アジャスト画面を表示する

2 画面左部の「⬇」キーに触れて、アジャスト画面を切り換える

3 「**BEEP**」キーに触れる



4 設定キー(「**ON**」、「**OFF**」)に触れる

5 メイン画面に戻るには、「**RTN**」キーに触れる

※ビープ音の設定をOFFにしても、以下の場合には警告音が鳴ります。

- オペレーションパネルがエアコン操作モードから元の位置に戻るとき
- オートパネル機能を"**ON**"または"**CLOSE**"に設定しDCPを取り外したとき

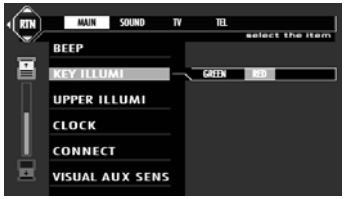
ボタン照明を設定する(KEY ILLUMI)

※初期設定は、<**GREEN**>(グリーン)です。
MDプレーヤー(MSZ715)が接続されている場合には、MDプレーヤーのイルミネーションも同時に変更します。

1 アジャストボタン(ADJ)を押して、アジャスト画面を表示する

2 画面左部の「⬇」キーに触れて、アジャスト画面を切り換える

3 「**KEY ILLUMI**」キーに触れる



4 設定キー(「**GREEN**」、「**RED**」)に触れる

5 メイン画面に戻るには、「**RTN**」キーに触れる

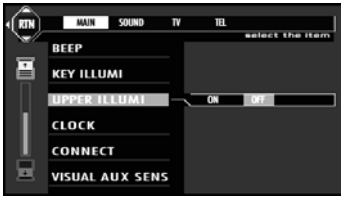
インフォメーションパネルのボタン照明を設定する(UPPER ILLUMI)

※初期設定は、<**ON**>です。

1 アジャストボタン(ADJ)を押して、アジャスト画面を表示する

2 画面左部の「⬇」キーに触れて、アジャスト画面を切り換える

3 「**UPPER ILLUMI**」キーに触れる



4 設定キー(「**ON**」、「**OFF**」)に触れる

- **ON** ：液晶パネルオープン時、常時ONする設定
- **OFF**：液晶パネルオープン時、5秒間ONした後OFFする設定

5 メイン画面に戻るには、「**RTN**」キーに触れる

外部接続機器を設定する (CONNECT)

※初期設定は<**未接続**>です。
CeNET結線対応のナビゲーション接続時は、設定する必要がありません。

1 アジャストボタン(ADJ)を押して、アジャスト画面を表示する

2 画面左部の「⬇」キーに触れて、アジャスト画面を切り換える

3 「**CONNECT**」キーに触れる

4 設定キー(「**未接続**」、「**RGB接続**」,「**コンポジット接続**」、「**その他接続**」)に触れる

- CeNET結線対応のナビゲーション接続時は、設定する必要がありません。

●未接続：
ナビゲーションが接続されていないとき。

●RGB接続：
CeNET結線対応以外のアゼストナビゲーションを接続したとき。
- 本機でナビゲーションの操作はできません。また、経路誘導等の音声案内は本機から出力できません。
ナビゲーションの操作は、ナビゲーション用のリモコンで行ってください。その場合、リモコン信号を受信するための専用リモコンセンサーが必要となります。
- ナビゲーションの映像出力はメインユニット背面のナビゲーション(RGB)用端子に接続してください。
- ナビゲーション用別販スピーカー(SPB-602)を使用してください。

●コンポジット接続：
他社製ナビゲーションをVISUAL2端子に接続したとき

●その他接続：
ナビゲーション以外の外部機器をVISUAL2端子へ接続したとき。

5 メイン画面に戻るには、「**RTN**」キーに触れる

外部接続機器の音量レベルを設定する (VISUAL AUX SENS)

外部機器の音量レベル設定について…
VISUAL1あるいは2の端子へ接続した外部機器の音量出力レベルを設定します。
※初期設定は、<**HIGH**>です。

1 アジャストボタン(ADJ)を押して、アジャスト画面を表示する

2 画面左部の「⬇」キーに触れて、アジャスト画面を切り換える

3 「**VISUAL AUX SENS**」キーに触れる

4 設定キー(「**HIGH**」、「**MID**」、「**LOW**」)に触れる

5 メイン画面に戻るには、「**RTN**」キーに触れる

設定を変更する(アジャストモード)

オートパネルを設定する (AUTO PANEL)

オートパネル機能について…

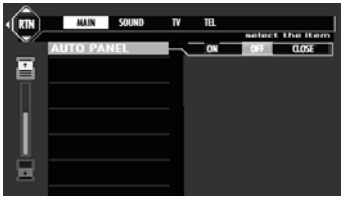
DCPの取り外しや取り付け時に、自動的に液晶パネルを立ち上げたり、収納したり設定します。

※初期設定は<**OFF**>です。

1 アジャストボタン(ADJ)を押して、アジャスト画面を表示する

2 画面左部の「⬇」キーに触れて、アジャスト画面を切り換える

3 「**AUTO PANEL**」キーに触れる



4 設定キー(「**ON**」、「**OFF**」、「**CLOSE**」)に触れる

ON :DCPを取り外したときに液晶パネルが収納し、DCPを取り付けたときに液晶パネルが立ち上がります。

OFF :オートパネル機能オフ

CLOSE :DCPを取り外したときに液晶パネルが収納されます。

5 メイン画面に戻るには、「**RTN**」キーに触れる

TVダイバーシティを設定する (TV DIVER)

TVダイバーシティについて…

TV放送受信時に、受信状態の良いアンテナに自動的に切り換えます。

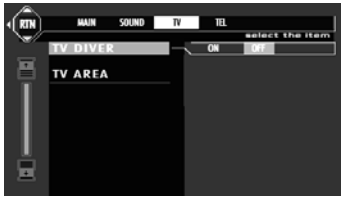
※初期設定は<**ON**>です。

- アンテナの接続については、取付説明書をご覧のうえ接続してください。接続を間違えるとノイズの原因となります。

1 アジャストボタン(ADJ)を押して、アジャスト画面を表示する

2 画面上部の「**TV**」キーに触れて、アジャスト画面を切り換える

3 「**TV DIVER**」キーに触れる



4 設定キー(「**ON**」、「**OFF**」)に触れる

5 メイン画面に戻るには、「**RTN**」キーに触れる

テレビエリアを設定する(TV AREA)

テレビエリアについて…

テレビエリア(テレビを受信する地域)を選択すると、選局したチャンネルに対する放送局名を自動的に表示することができます。
※初期設定は<**関東**>です。

1 アジャストボタン(ADJ)を押して、アジャスト画面を表示する

2 画面上部の「**TV**」キーに触れて、アジャスト画面を切り換える

3 「**TV AREA**」キーに触れる

4 受信エリアキー(「札幌」等)に触れる

→TVエリアが設定されます。

- 次の画面表示に切り換えるときは、「⬇」キーを、戻るときは「⬆」キーを触れてください。
- 受信エリアについては右欄をご覧ください。
- オリジナルの放送局名を表示する場合は、「USER TITLE」(タイトル入力された放送局名)にしてください。また、オリジナルの放送局名をつけるときは、「タイトルをつける(タイトル入力)」(82ページ)をご覧ください。

5 メイン画面に戻るには、「**RTN**」キーに2回触れる

■イージーインプット機能について…

テレビエリアを選択してから、「**MEMO**」キーに触れ続ける(約2秒間)、選択したテレビエリアの放送局名と一致するチャンネルがプリセットメモリされていればユーザーメモリに登録されます。
「タイトルをイージーインプットする」(83ページ)をご覧ください。

■表示名一覧

USER TITLE(タイトル入力された放送局名)		
札幌	東北A(＊)	仙台
東北B(＊)	福島	信越
関東	静岡	東海・中部
北陸	近畿	山陰
岡山	山陽	四国A(＊)
四国B(＊)	九州A(＊)	九州B(＊)
九州C(＊)	鹿児島	沖縄

＊A,BまたはA,B,Cと区分けしているエリア表示については、以下の放送局名を参考に設定してください。

- 東北A

1ch(青森放送)	3ch(NHK)
4ch(NHK)	5ch(NHK教育)
6ch(IBC岩手)	8ch(NHK教育)
33ch(めんこいテレビ)	34ch(青森朝日)
35ch(テレビ岩手)	38ch(青森テレビ)

- 東北B

2ch(NHK教育)	4ch(NHK教育)
8ch(NHK)	9ch(NHK)
10ch(山形放送)	11ch(秋田放送)
31ch(秋田朝日放送)	36ch(TVユー山形)
37ch(秋田テレビ)	38ch(山形テレビ)

- 四国A

1ch(四国放送)	3ch(NHK)
19ch(テレビ瀬戸内)	29ch(山陽放送)
31ch(岡山放送)	33ch(瀬戸内海放送)
37ch(NHK)	38ch(NHK教育)
39ch(NHK教育)	41ch(西日本放送)

- 四国B

2ch(NNH)	4ch(NHK)
6ch(NHH)	8ch(高知放送)
10ch(南海放送)	25ch(愛媛朝日放送)
29ch(アイテレビ)	37ch(愛媛テレビ)
38ch(テレビ高知)	

- 九州A

1ch(九州朝日)	3ch(NHK)
4ch(RKB毎日)	6ch(NHK教育)
9ch(テレビ西日本)	19ch(TXN九州)
36ch(佐賀テレビ)	37ch(福岡放送)
38ch(NHK)	40ch(NHK教育)

- 九州B

1ch(NHK教育)	2ch(NHK教育)
3ch(NHK)	5ch(長崎放送)
9ch(NHK)	11ch(熊本放送)
16ch(熊本朝日)	22ch(熊本県民)
25ch(長崎国際)	27ch(長崎文化)
34ch(テレビ熊本)	37ch(テレビ長崎)

- 九州C

3ch(NHK)	5ch(大分放送)
8ch(NHK)	10ch(宮崎放送)
12ch(NHK教育)	24ch(大分朝日)
35ch(テレビ宮崎)	36ch(テレビ大分)

設定を変更する(アジャストモード)

電話の割り込みを設定する (TEL SP)

電話割り込み機能について…

本機と別販のDVDナビゲーションと接続するコミュニケーションユニットを接続することにより、電話の着信時に、車内のスピーカーから着信音および通話音声を聞くことができます。

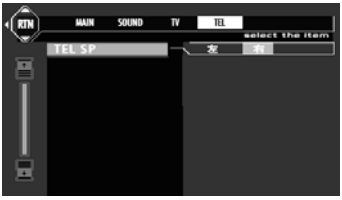
また、本機では通話音声を出すスピーカーを左または右に切り換えることができます。

※初期設定は<**左**>です。左ハンドル車でご使用の場合には、必ず<**右**>に切り換えてください。初期設定のまま使用しますと、ハウリングを起こすことがあります。

1 アジャストボタン(ADJ)を押して、アジャスト画面を表示する

2 画面上部の「**TEL**」キーに触れて、アジャスト画面を切り換える

3 「**TEL SP**」キーに触れる

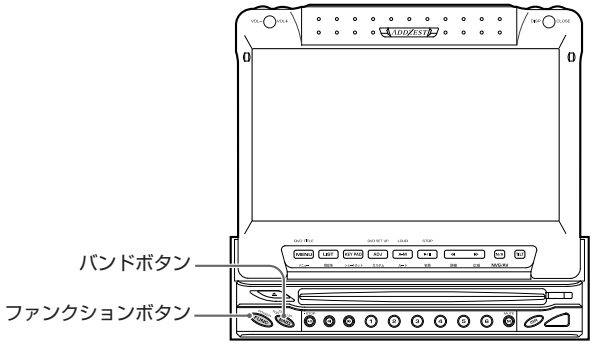


4 設定キー(「**右**」、「**左**」)に触れる

右：右側スピーカーから音がでます。
左：左側スピーカーから音がでます。

5 メイン画面に戻るには、「**RTN**」キーに触れる

ラジオを聴く



ラジオモードを選ぶ

1 ファンクションボタン(FUNC)を押す

- モード切り換えは、画面に触れてメニュー画面を表示→「**FUNCTION**」キーに触れてサブメニュー画面を表示→「**TUNER**」キーに触れて選ぶこともできます。

■エリアセレクト機能について…

選局した放送局に対して、自動的に放送局名を表示する機能です。
初期設定は、「広域関東」です。
チューナーエリアの選択については、「**チューナーエリアを設定する(TUNER AREA)**」(43ページ)をご覧ください。

メニュー画面を表示する

1 画面に触れてメニュー画面を表示する

■元のメイン画面に戻るには…

画面左上部の「**RTN**」キーに触れてください。

受信バンドを選ぶ

1 バンドボタン(BND)を押す
または、メニュー画面の「**BAND**」キーに触れて、聴きたいバンドを選ぶ

→触れるたびに、バンドが切り換わります。

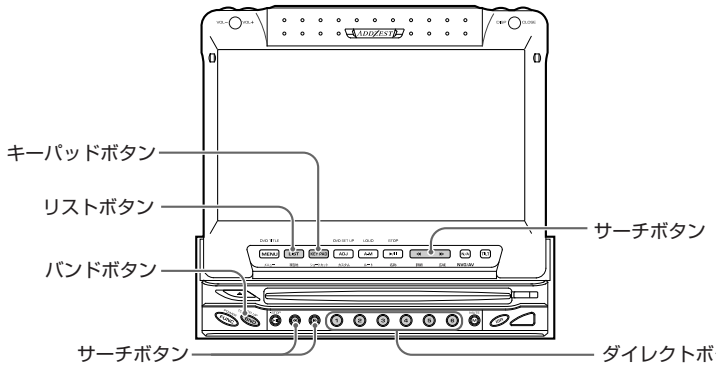
FM1→FM2→AM1→AM2

自動選局(シーク)と手動選局(マニュアル)を切り換える

1 バンドボタン(BND)を押し続けて(約1秒間)、選局モードを切り換える

手動選局(**MANU**を表示)
(マニュアル)
↕
自動選局(**MANU**の表示が消える)
(シーク)

ラジオを聴く



自動選局する(シーク選局)

1 バンドボタン(BND)を押し続けて(約1秒間)、自動選局モードにする

→「**MANU**」表示が消えていると、自動選局です。

2 サーチボタン(◀◀ ▶▶)または◀ ▶)を押す

→放送を受信できる周波数で選局が止まります。

手動選局する(マニュアル選局)

1 バンドボタン(BND)を押し続けて(約1秒間)、手動選局モードにする

→手動選局インジケータが「**MANU**」表示になると、手動選局です。

2 サーチボタン(◀◀ ▶▶)または◀ ▶)ボタンを押す

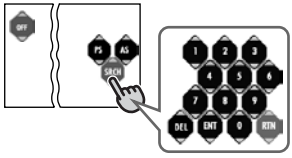
→放送を受信できる周波数に合わせてください。

- サーチボタンを押し続けている間、受信周波数を連続的にアップ/ダウンします。(クィック選局)
- サーチボタンを押すと、押すたびに受信周波数をアップ/ダウンします。(ステップ選局)

キーパッドで選局する

この機能はディスプレイにキーパッド(KEY PAD)を表示して、オートストア(AS)、プリセットスキャン(PS)および周波数を入力して選局ができます。

1 キーパッドボタン(KEY PAD)を押して、キーパッドを表示する



2 各機能を次の方法で操作する

●周波数を入力して選局するには

2-1 「**SRCH**」キーに触れる

2-2 聴きたい放送局の周波数を「**0**」～「**9**」キーに触れて入力する

- 入力を間違えたときは「**DEL**」キーに触れてください。

2-3 「**ENT**」キーに触れる

●オートストア(※)するには

2-1 「**AS**」キーに約2秒間触れ続ける

●プリセットスキャン(※)するには

2-1 「**PS**」キーに触れる

次ページに続く

※この機能の説明については、「自動メモリーさせる」、「聴きたい放送局を探す」(51ページ)をご覧ください。

■元の画面に戻るには…

キーパッドボタン(KEY PAD)を押すか、または画面左上部の「**OFF**」キーに触れてください。

プリセット選局する

プリセット選局について…

あらかじめメモリーしておき、ワンタッチで放送局を呼び出す機能です。メモリーのしかたについては、「プリセットメモリーする」(次項)をご覧ください。

●ダイレクトボタンで選局するには

1 バンドボタン(BND)を押して受信バンドを切り換える

2 ダイレクトボタン(1)～(6)を押す

→ダイレクトボタンにメモリーされている放送局を受信します。

ご注意

ダイレクトボタン(1)～(6)を押し続ける(約2秒間)と、いま聴いている放送がメモリーされます。

●ダイレクトキーで選局するには

1 メイン画面のときにリストボタン(LIST)を押して、または画面に触れてメニュー画面を表示する

2 「**P.CH SELET**」キーに触れて、チャンネルリストを表示する

3 聴きたいダイレクトキーに触れて選局する

• 受信バンドを変えるときは、画面左下の「**BAND**」キーに触れてください。

プリセットメモリーする

プリセットメモリーについて…

プリセットメモリーできるのは、FM1、FM2、AM1、AM2の各6局、計24局です。

1 バンドボタン(BND)を押して受信バンドを切り換える

2 自動選局または、手動選局でメモリーしたい放送に合わせる

◀◀ ▶▶ (または) ◀ ▶

3 ダイレクトボタン(1)～(6)を押し続ける(約2秒間)

→ビープ音が「ON」に設定されているときは、ビープ音が鳴ります。

自動メモリーさせる (オートストア機能)

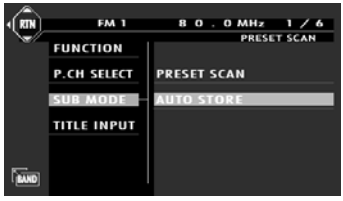
オートストア機能について…

自動受信した放送を、6局まで自動的にプリセットメモリーします。

1 メイン画面のときにリストボタン(LIST)を押して、または画面に触れてメニュー画面を表示する

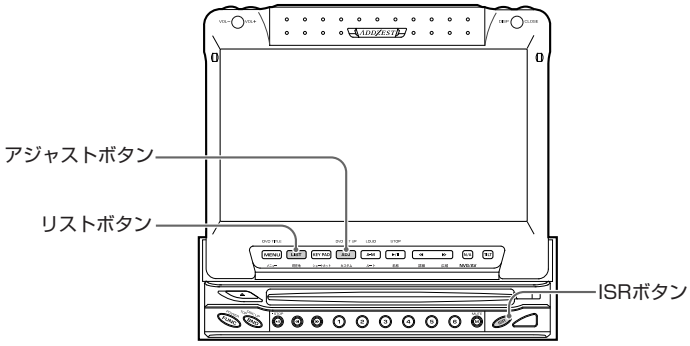
2 メニュー画面の「**SUB MODE**」キーに触れて、サブメニューを表示する

3 サブメニューの「**AUTO STORE**」キーに触れ続ける(約2秒間)



次ページに続く

ラジオを聴く



→受信した放送を、プリセットチャンネル(1～6)に登録していきます。

- 自動メモリーすると、これまでのプリセットメモリーは消去されます。
- メモリーできる放送が6局に満たなかった場合、メモリーされなかったプリセットチャンネルには、それまでのメモリーが残ります。

聴きたい放送局を探す(プリセットスキャン)

プリセットスキャンについて…

プリセットスキャンは、プリセットチャンネルにメモリーされている放送局を順に受信します。

1 メイン画面のときにリストボタン(LIST)を押して、または画面に触れてメニュー画面を表示する

2 メニュー画面の「**SUB MODE**」キーに触れて、サブメニューを表示する

3 サブメニューの「**PRESET SCAN**」キーに触れる

→プリセットメモリーされている放送局を、順に約7秒ずつ受信します。

■探している放送を受信したら…

もう一度、「**PRESET SCAN**」キーに触れてください。その時に受信中の放送になります。

特定の放送局をすぐに選局する(ISR機能)

ISR(Instant Station Recall)機能について…

どのモードからでもすぐに特定の放送局を呼び出す機能です。交通情報など、運転中に聴きたい情報などをすばやく選局できます。

※初期設定では、AM1620kHzの交通情報をメモリーしています。

1 ISRボタン(ISR)を押す

→ISRにメモリーされている放送局を選局します。

■ISRにメモリーするには…

メモリーしたい放送局を選局し、ISRボタンを押し続ける(約2秒間)

→ISRにメモリーされ、ISR機能状態になります。

■元のモードに戻るには…

もう一度、ISRボタンを押してください。

DVDプレーヤの操作

DVDビデオシステムの設定を変更する

ご注意

- DVDビデオあるいはビデオCDの再生中にセットアップ操作が行われた場合には，ディスクの最初に戻ります。
- セットアップメニューの設定はリモコンではできません。

セットアップメニューを表示する

1 アジャストボタン(ADJ)を押し続けて(約1秒間)、DVDセットアップメニューを表示する

2 「⬇」キーに触れて、次のメニューを表示する

- 前のメニューに戻るときは「⬆」キー、元のモードに戻るときには「**RTN**」キーに触れてください。

画面サイズを変更する

本機に接続しているリアモニターに合わせて画面サイズを設定します。
※初期設定は、＜**WIDE**＞です。

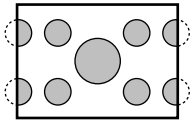
1 アジャストボタン(ADJ)を押し続けて(約1秒間)、DVDセットアップメニューを表示する

2 メニュー画面の「**TV DISPLAY**」キーに触れて、サブメニューを表示する

3 設定キー(「**N PS**」,「**N LB**」,「**WIDE**」)に触れて画面サイズを選ぶ

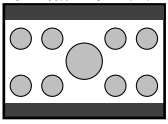
■従来タイプのリアモニター(4：3)で見るときには…

- **N PS** :左右が切れて表示されます。



画像の重要部分を画面いっぱいに表示する機能。場合によっては、パン(スクロール)しながら表示されることもあります。

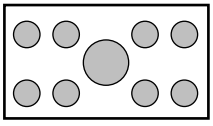
- **N LB** :上下に黒い帯が入ります。



通常のテレビでシネスコサイズやビスタサイズの映像を表示するために、上下のすき間を黒帯で埋め、映像を切らないで表示する方式です。

■ワイドタイプのリアモニター(16：9)で見るときには

- **WIDE**



4 「**RTN**」キーに触れて、元のモードに戻る

DVDプレーヤの操作 (DVDビデオシステムの設定を変更する)

アングルマーク表示を設定する

角度切り換えが可能な映像シーンにくると、マルチアングルマークを表示するように設定できます。
※初期設定は、<**OFF**>です。

1 アジャストボタン(ADJ)を押し続けて(約1秒間)、DVDセットアップメニューを表示する

2 メニュー画面の「**ANGLE**」キーに触れて、サブメニューを表示する

3 「**ON**」または「**OFF**」キーに触れる

4 「**RTN**」キーに触れて、元のモードに戻る

音声言語を設定する

DVDビデオディスクの音声言語を設定することができます。設定した言語が記録されていないディスクの場合にはディスク側の設定に基づき再生します。
※初期設定は、<**ENGLISH**>です。

1 アジャストボタン(ADJ)を押し続けて(約1秒間)、DVDセットアップメニューを表示する

2 メニュー画面の「**AUDIO LANGUAGE**」キーに触れて、サブメニューを表示する

3 言語キーに触れる

- 言語は**ENGLISH**(英語)、**FRENCH**(フランス語)、**SPANISH**(スペイン語)、**CHINESE**(中国語)及び**JAPANESE**(日本語)です。

4 「**RTN**」キーに触れて、元のモードに戻る

ディスクメニューの言語を設定する

DVDビデオディスクのメニュー言語を設定することができます。設定した言語が記録されていないディスクの場合にはディスク側の設定に基づき再生します。
※初期設定は、<**JAPANESE**>です。

1 アジャストボタン(ADJ)を押し続けて(約1秒間)、DVDセットアップメニューを表示する

2 メニュー画面の「**MENU LANGUAGE**」キーに触れて、サブメニューを表示する

3 言語キーに触れる

- 言語は**ENGLISH**(英語)、**FRENCH**(フランス語)、**SPANISH**(スペイン語)、**CHINESE**(中国語)及び**JAPANESE**(日本語)です。

4 「**RTN**」キーに触れて、元のモードに戻る

字幕言語を設定する

DVDビデオディスクの字幕(サブタイトル)言語を設定することができます。設定した言語が記録されていないディスクの場合にはディスク側の設定に基づき再生します。
※初期設定は、<**JAPANESE**>です。

1 アジャストボタン(ADJ)を押し続けて(約1秒間)、DVDセットアップメニューを表示する

2 メニュー画面の「**SUB TITLE LANG.**」キーに触れて、サブメニューを表示する

3 言語キーに触れる

- 言語は**ENGLISH**(英語)、**FRENCH**(フランス語)、**SPANISH**(スペイン語)、**CHINESE**(中国語)及び**JAPANESE**(日本語)です。

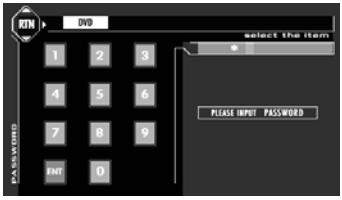
4 「**RTN**」キーに触れて、元のモードに戻る

パスワードを設定する

パレンタルレベルを設定するためにパスワードを設定します。
※初期設定は、＜**0000**＞です。

1 アジャストボタン(ADJ)を押し続けて(約1秒間)、DVDセットアップメニューを表示する

2 メニュー画面の「**PASSWORD**」キーに触れて、パスワード入力画面を表示する



3 画面の10キー(**0**～**9**)に触れて、以前に設定した4桁のパスワードを入力する

- 初めて設定するときは「**0000**」を入力します。

4 入力が正しければ、「**ENT**」キーに触れて確定する

- パスワードの入力を間違えたときは、「**ENT**」キーに触れ、もう一度3項に戻って操作し直してください。

5 画面の10キー(**0**～**9**)に触れて、新しい4桁のパスワードを入力する

6 入力が正しければ、「**ENT**」キーに触れる

- パスワードの入力を間違えたときは、「**ENT**」キーに触れ、もう一度3項に戻って操作し直してください。

7 もう一度新しいパスワードを入力し、「**ENT**」キーに触れて登録する

ご注意

視聴制限されたディスクを再生するときにパスワードの入力画面が表示されることがあります。この場合、正しいパスワードを入力しないと再生は始まりません。

カントリーコードを設定する

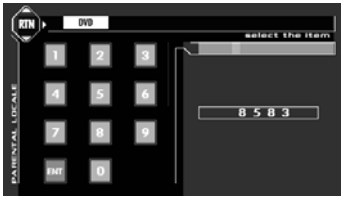
パレンタルレベルを設定するときのカントリーコード(国番号)を設定します。
※初期設定は、＜**8583**＞(米国)です。

1 アジャストボタン(ADJ)を押し続けて(約1秒間)、DVDセットアップメニューを表示する

2 「⬇」キーに触れて、次のメニューを表示する

- 前のメニューに戻るときは「⬆」キー、元のモードに戻るときには「**RTN**」キーに触れてください。

3 メニュー画面の「**PALENTAL LOCALE**」キーに触れて、カントリーコード入力画面を表示する



4 画面の10キー(0～9)に触れて、4桁のカントリーコード(日本:7480)を入力する

- カントリーコード(国番号)は、日本(**7480**)、アメリカ(**8583**)、カナダ(**6765**)です。

5 入力が正しければ、「**ENT**」キーに触れて登録する

6 「**RTN**」キーに触れて、元のモードに戻る

DVDプレーヤの操作 (DVDビデオシステムの設定を変更する)

パレンタルレベルを設定する

パレンタルロックのレベル(視聴制限)を変えられます。
子供に見せたくないシーンをカットしたり、あらかじめ用意した別のシーンに自動的に差し替える機能です。例えば過激な暴力シーンや性描写などを、無難なシーンと差し替え、最初からそのような作品であったように見ることができます。
※初期設定は、<**8**>です。

1 アジャストボタン(ADJ)を押し続けて(約1秒間)、DVDセットアップメニューを表示する

2 「▼」キーに触れて、次のメニューを表示する

3 メニュー画面の「**PALENTAL LEVEL**」キーに触れて、パレンタルレベル設定画面を表示する

4 「▲」、「▼」キーに触れてパスワード入力画面を表示する

5 画面の10キー(0～9)に触れて、4桁のパスワードを入力する

- パスワードの初期設定は、「**0000**」です。

6 「▲」、「▼」キーに触れてパレンタルレベル(**1～8、NO PARENTAL**)を設定する

- パレンタルレベル(**LEVEL8～1**、**NO PARENTAL**：規制なし)は数字が小さくなるほど、視聴制限が厳しくなります。
- パレンタルレベルとその内容は、国によって制限内容が変わります。

7 「**RTN**」キーに触れて、元のモードに戻る

オーディオ信号出力モードを設定する

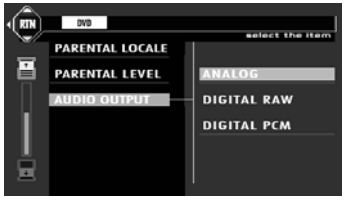
この機能は、5.1chサラウンドデコーダー(DVH920)をCeNET接続しているときには表示しません。

マルチチャンネルプロセッサー内蔵DVDデッキ(DVS815)またはマルチチャンネルプロセッサー(DVH9600)と光デジタル結線をした場合に設定を変更してください。
※初期設定は、<**ANALOG**>です。

1 アジャストボタン(ADJ)を押し続けて(約1秒間)、DVDセットアップメニューを表示する

2 「▼」キーに触れて、次のメニューを表示する

3 メニュー画面の「**AUDIO OUTPUT**」キーに触れて、サブメニューを表示する

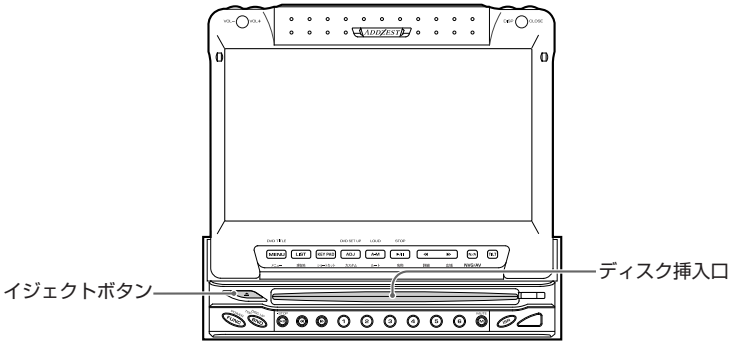


4 設定キー(「**DIGITAL RAW**」等)に触れる

- **ANALOG**
  ：RCA結線でアナログ音声出力が出るモード
- **DIGITAL RAW**
  ：光デジタル結線で5.1chのデジタル信号出力が出るモード(※)
- **DIGITAL PCM**
  ：光デジタル2chのデジタル信号出力が出るモード(※)

※96kHz PCMは、48kHzにダウンサンプリングして出力されます。

5 「**RTN**」キーに触れて、元のモードに戻る



⚠注 意

安全運転のため、車が停車しているときにディスク交換をしてください。

ご注意

ディスク保護のため、液晶パネルが収納された状態のときにディスクを交換してください。

ディスクを入れる

1 ディスク挿入口にディスクを入れる

→自動的に演奏がはじまります。

- すでにディスクが入っている場合は入れられません。無理に入れないでください。
- セロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの糊がはみ出していたり、はがした痕があるディスクは入れないでください。ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となります。

■シングルCDについて…

シングルCD(8cmCD)を再生するときは、アダプターを使用しないでください。シングルCDを挿入するときは、ディスク挿入口の中央に入れてください。

■ディスク・イン・プレイ機能について…

本機の電源が入っていない状態からでも(車側のアクセサリー電源ON時)、ディスクを入れると、自動的に電源が入り演奏をはじめます。

ディスクを取り出す

1 イジェクトボタン(⏏)を押す

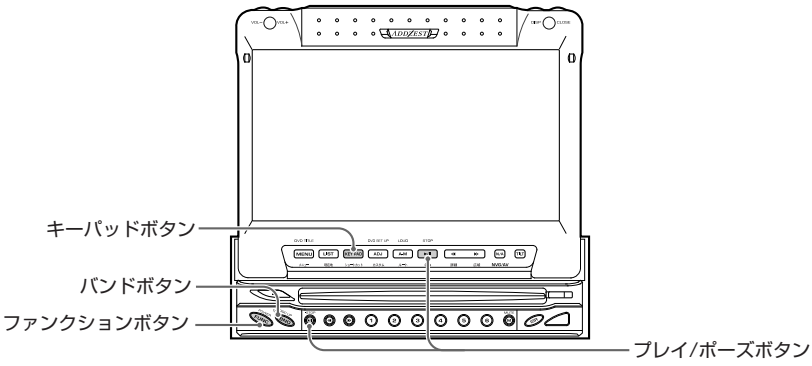
→ディスクがイジェクトされます。

- イジェクトされたディスク(12cm)をそのままにしておくと、約15秒後にディスクを引き込みます。(オートリロード)
- シングルCDは、オートリロードされませんので、必ず取り出してください。
- オートリロード前に無理にディスクを押し込むと、ディスク表面にキズのつく恐れがあります。

■バックアップ・イジェクト機能について…

アクセサリー(ACC)電源がOFFの状態または本機の電源がOFFの状態からでも、イジェクトボタンを押すことにより、ディスクを取り出すことができます。

DVDプレーヤの操作 (DVDプレーヤの基本操作)



すでに入っているディスクを見る/聴く

1 ファンクションボタン(FUNC)を押して、DVDプレーヤーモードに切り換える

→DVDプレーヤーモードになると、自動的に演奏がはじまります。ディスクが挿入されていないときは、「**NO DISC**」を表示します。

- モード切り換えは、画面に触れてメニュー画面を表示→「**FUNCTION**」キーに触れてサブメニュー画面を表示→「**DVD PLAYER**」キーに触れて選ぶこともできます。

⚠警告

本機は、車が走行中のとき、映像表示を禁止し音声のみを再生する機能を持っています。映像を見るときは、必ず安全な場所に停車してお楽しみください。

⚠注意

DVDビデオの場合は、特に大きな音で再生されることがあります。音量はビデオ映像が表示されてから、徐々にあげてください。

再生を一時停止する

1 プレイポーズボタン(⏯ または ►/II)を押す

→ディスプレイに「**PAUSE**」を表示します。

■再生状態に戻すには…

もう一度プレイ/ポーズボタンを押してください。

ディスクの最初から見る/聴く(トップ機能)

再生しているディスクの最初のチャプター(トラック)から再生をはじめます。

1 バンドボタン(BND)を押す

→ディスクの最初に戻り、再生します。

メニュー画面を表示する

1 画面に触れる

→メニュー画面を表示します。

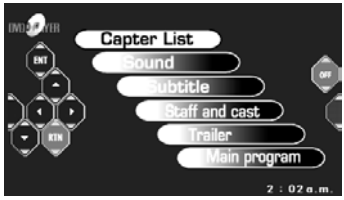
■メイン画面に戻るときは…

「**RTN**」キーに触れてください。

キーパッドを表示する

この機能はディスプレイにキーパッド(KEY PAD)を表示して、ディスクメニューの選択等をすることができます。

1 キーパッドボタン(KEY PAD)を押す



→キーパッドボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

● *DVDビデオモード時*

十字キーパッド(◀, ▶, ▲, ▼)
↓
10キーパッド(0 - 9)
↓
サブキーパッド
(「**T.RPT**」キー等で選曲)
↓
キーパッドオフ

- DVD ビデオモードにおけるキーパッドは、モードが使用中である時、常に十字キーパッドから始まります。

● *ビデオCDモード時*

10キーパッド(0 - 9)
↓
十字キーパッド(◀, ▶, ▲, ▼)
↓
サブキーパッド
(「**T.RPT**」キー等で選曲)
↓
キーパッドオフ

- ビデオＣＤモードにおけるキーパッドは、モードが使用中である時、常に10キーパッドから始まります。
- DVD ビデオ／ビデオＣＤディスクで表示されるディスクメニューパターンに従って、十字キーパッドあるいは10キーパッドを使用してください。
- 車が走行中のときには、サブキーパッドのみが表示され、その他のキーパッド は表示されません。

サブキーパッドで選曲する

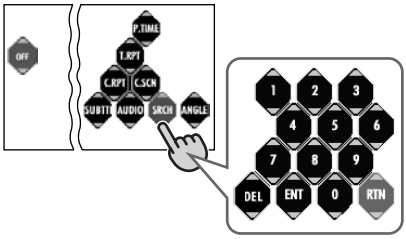
この機能はディスプレイにキーパッドの一つであるサブキーパッドを表示して、リピートプレイ等の指示あるいはディスクのタイトルNo.のダイレクト入力等をすることができます。

1 「キーパッドを表示する」の操作手順でサブキーパッドを表示する

2 各機能を次の方法で操作する

●タイトルNo.等を入力してダイレクトに選択するには

2-1 キーパッドの「**SRCH**」キーに触れて、サブキーパッド表示を切り換える



2-2 希望するタイトルNo.等に対応する「**0**」～「**9**」キーに触れる

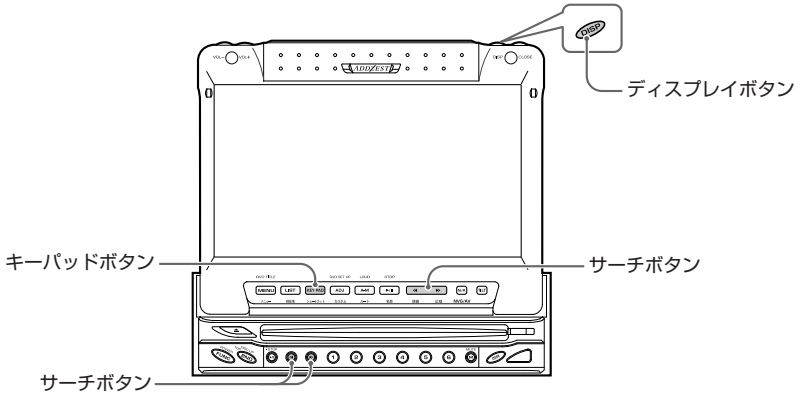
- 入力したNo.をキャンセルするときは、「**DEL**」キーに触れてください。
- DVD ビデオモードのとき、タイトルNo.で選択できます。
- ビデオＣＤモードでPBC機能がOFFのとき、トラックNo.で選択できます。
- ＣＤモードのときトラックNo.で選択できます。
- MP3モードのときファイル(トラック)No.で選択できます。

2-3 「**ENT**」キーに触れる

→指定されたタイトルNo.が選択され、再生が始まります。

次ページに続く

DVDプレーヤの操作 (DVDプレーヤの基本操作)



●その他のキーの機能

2-1 DVDビデオのときは

- プレイタイム表示をON/OFF表示するには、「**P.TIME**」キーに触れます。
- プレイタイム表示を切り換えるには、「**P.TIME**」キーに触れ続けます(約1秒間)。
- タイトルリピートをするには、「**T.RPT**」キーに触れます。
- チャプターリピートをするには、「**C.RPT**」キーに触れます。
- チャプタースキャンをするには、「**C.SCN**」キーに触れます。
- サブタイトル表示を切り換えるには、「**SUBTTL**」キーに触れます。
- オーディオ言語を切り換えるには、「**AUDIO**」キーに触れます。
- アングルマーク表示を切り換えるには、「**ANGLE**」キーに触れます。

2-2 ビデオCDのときは

- プレイタイム表示をON/OFF表示するには、「**P.TIME**」キーに触れます。
- プレイタイム表示を切り換えるには、「**P.TIME**」キーに触れ続けます(約1秒間)。
- トラックリピートをするには、「**T.RPT**」キーに触れます。
- トラックスキャンをするには、「**T.SCN**」キーに触れます。
- ランダムスキャンをするには、「**T.RDM**」キーに触れます。
- PBC機能をON/OFFするには、「**PBC**」キーに触れます。
- オーディオ言語を切り換えるには、「**AUDIO**」キーに触れます。

2-3 CDのときは

- プレイタイム表示を切り換えるには、「**P.TIME**」キーに触れ続けます(約1秒間)。
- トラックリピートをするには、「**T.RPT**」キーに触れます。
- トラックスキャンをするには、「**T.SCN**」キーに触れます。
- ランダムスキャンをするには、「**T.RDM**」キーに触れます。

2-4 MP-3のときは

- プレイタイム表示を切り換えるには、「**P.TIME**」キーに触れ続けます(約1秒間)。
- フォルダーリピートをするには、「**F.RPT**」キーに触れます。
- フォルダースキャンをするには、「**F.SCN**」キーに触れます。
- フォルダーランダムをするには、「**F.RDM**」キーに触れます。

- ファイル(トラック)リピートをするには、「**T.RPT**」キーに触れます。
- ファイル(トラック)スキャンをするには、「**T.SCN**」キーに触れます。
- ファイル(トラック)ランダムをするには、「**T.RDM**」キーに触れます。

■メイン画面に戻るには…

「**OFF**」キーに触れてください。

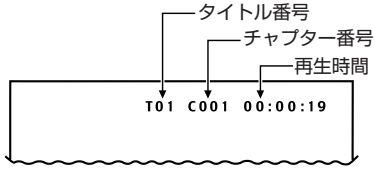
再生状態を表示する

■DVDビデオ/ビデオCDの場合

1 再生中に、ディスプレイボタン(DISP)を押す

→押すたびに再生状態の表示(ON)と表示消し(OFF)が切り換わります。

●DVDビデオの場合



- DVDビデオ以外のディスクのときは、トラック番号と再生時間を表示します。

2 キーパッドボタン(KEY PAD)を3回押して、サブキーパッドを表示する

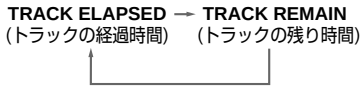
- 「キーパッドを表示する」の操作手順については、59ページをご覧ください。

3 「**P.TIME**」キーに触れ続ける(約1秒間)

→「**P.TIME**」キーに触れるたびに、演奏時間表示を切り換えます。

●DVDビデオの場合

●ビデオCDの場合



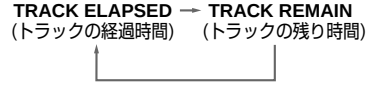
- ディスクの種類によっては、一部の場面で再生状態表示がされない場合があります。また再生状態操作ができない場合もあり表示ます。そのようなときは次のように表示し、無効になります。

■音楽CD/MP-3の場合

1 キーパッドボタン(KEY PAD)を押して、キーパッドを表示する

2 「**P.TIME**」キーに触れ続ける(約1秒間)

→「**P.TIME**」キーに触れるたびに、演奏時間表示を切り換えます。



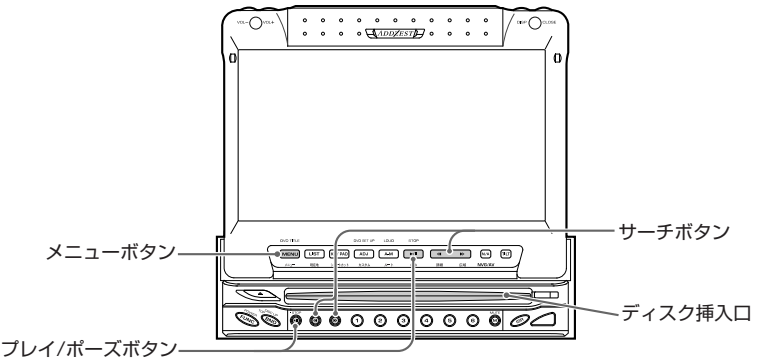
早送り/早戻しする

1 再生中に、サーチボタン(⏮ ⏭または ◀◀ ▶▶)を押し続ける

→ボタンを押し続けると、最初は4倍速、3秒後に16倍速(CD/MP3時は8倍速)になり、ボタンを離すと通常再生になります。

- サーチボタン(⏭)を押し続けると、早送りします。
- サーチボタン(⏮)を押し続けると、早戻しします。
- 早送り/早戻し中は、音声は再生されません。
- DVDビデオにおける早送り/早戻しのスピードは、ディスクにより異なります。
- ボタンを押すとメニュー画面に戻ることがあります。

DVDビデオを見る



DVDビデオを見るには

1 ディスクを挿入すると、自動で再生モードになります

→ DVDビデオメニューを表示します。
- DVDビデオディスクの内容、種類によってはボタン操作を受けつけない場合があります。

■DVDビデオメニューについて…

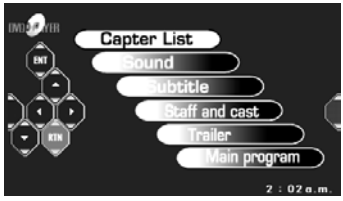
通常のDVDビデオディスクでは、DVDビデオディスクに記録されたメニューを表示します。 表示内容はDVDビデオソフトにより異なります。

DVDビデオディスクでは、ビデオメニューが複数の言語で構成されている場合、本機側の設定言語で表示することができます。詳しくは、「ディスクメニューの言語を設定する」(54ページ)をご覧ください。

DVDビデオメニューを表示する

1 再生中に表示するには、メニューボタン(MENU)を押す

(メニュー画面表示例)



■メニュー表示を消すには…

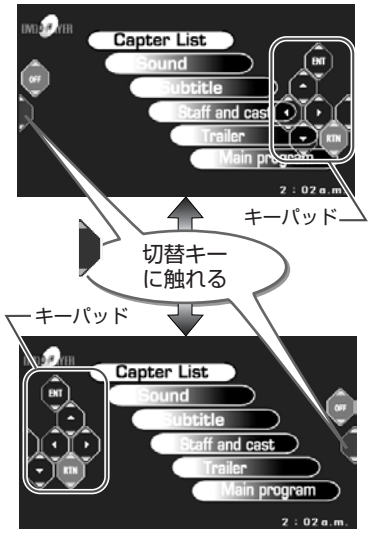
もう一度メニューボタン(MENU)を押す

■ディスクメニューを選択するときは…

キーパッドボタンを押して、メニュー内容に適切なキーパッド(十字キーパッドあるいは10キーパッド)使用してください。

キーパッドの表示位置を変える

キーパッドがメニュー表示と重なり見にくくなったとき、キーパッドの表示位置を画面の反対側に移動することができます。



再生を停止する

1 プレイ/ ポーズボタン(⏯ または ▶/II)を押し続ける(約1秒間)

→再生が停止します。

■停止状態を解除するには…

プレイ/ポーズボタン(⏯ または ▶/II)を押してください。

→再生を停止した場面からスタートします。

スロー再生する

1 プレイ/ ポーズボタン(⏯ または ▶/II)を押した後、サーチボタンの右側(⏩)を押し続ける

→ボタンを押している間、1/2倍速でスロー再生します。

- 戻す方向では、スロー再生できません。また、スロー再生中は、音声を再生できません。

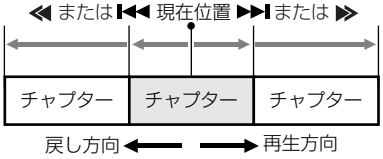
チャプターのスキップ(頭出し)

■チャプターについて…

ディスクのデータ領域を分けるための小さな区切り(チャプター)です。

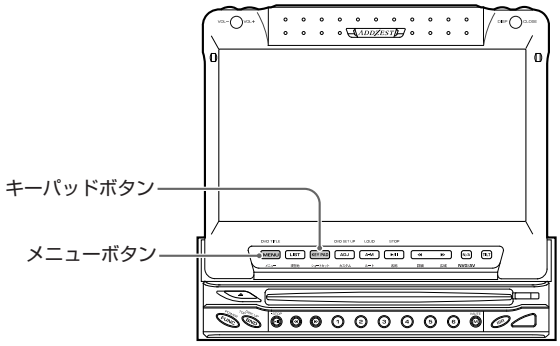
1 再生中に、サーチボタン(⏪ ⏩ または ⏮ ⏭)を押す

→押した回数だけチャプターがスキップして、再生が始まります。



- サーチボタン(⏩)を押すと、1つ先のチャプターの頭から再生します。
- サーチボタン(⏪)を押すと、現在のチャプターの頭から再生します。約2秒以内にもう1度このボタンを押すと、1つ前のチャプターの頭から再生します。
- サーチボタン(⏪,⏩)を押すとメニュー画面に戻ることがあります。

DVDプレーヤの操作 (DVDビデオを見る)



チャプター/タイトル番号で頭出しする

DVDビデオディスクに記録されているチャプター番号またはタイトル番号から頭出しします。

1 キーパッドボタン(KEY PAD)を3回押して、サブキーパッドを表示する

- 「キーパッドを表示する」の操作手順については、59ページをご覧ください。

2 サブキーパッドの「SRCH」キーに触れて、10キーパッドを表示する

3 「SHIFT」キーに触れて、タイトル番号入力とチャプター番号入力を切り換える

→触れるたびにタイトル番号入力「T＊＊」とチャプター番号入力「C＊＊」が切り換わります。

- タイトル
  ディスクのデータ領域を分けるための大きな区切り(タイトル)です。
- チャプター
  ディスクのデータ領域を分けるための小さな区切り(チャプター)です。

4 再生させたいタイトルまたはチャプター番号を、「0」～「9」キーに触れて入力する

- タイトル番号「12」を入力するには、「1」キーに触れ、次に「2」キーに触れます。
- 存在しないタイトル番号を入力したり、タイトル番号での頭出しが禁止されている場合は、次のように表示され、無効になります。

INVALID

5 「ENT」キーに触れて確定する

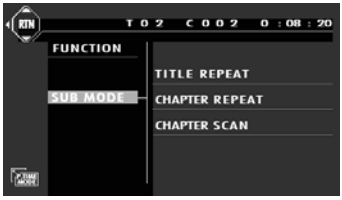
→入力されたタイトル番号またはチャプター番号の場面から再生します。

見たいシーンを探す(スキャン再生)

DVDビデオに記録された全てのチャプターを、最初の10秒間づつスキャン再生します。

1 画面に触れて、メニュー画面を表示する

2 メニュー画面の「**SUB MODE**」キーに触れてサブメニューを表示する



3 サブメニューの「**CHAPTER SCAN**」キーに触れる

→ディスク内の全てのチャプターのスキャン再生を行ない、再び同じディスクのスキャン再生を続けます。
ディスクによっては、全てのチャプターのスキャン再生を行なった後、メニュー画面表示をするものもあります。また、チャプターの設定によっては、スキャン再生が解除される場合があります。

■スキャン再生を解除するには…
もう一度「**CHAPTER SCAN**」キーに触れてください。

■メイン画面に戻るには…
「**RTN**」キーに触れてください。

繰り返して再生する(リピート再生)

DVDビデオに記録されたタイトルまたはチャプターを繰り返して再生します。

1 画面に触れて、メニュー画面を表示する

2 メニュー画面の「**SUB MODE**」キーに触れてサブメニューを表示する

3 サブメニューの「**TITLE REPEAT**」キーまたは「**CHAPTER REPEAT**」キーに触れる

- タイトルリピート(**TITLE REPEAT**)
  タイトル(タイトルの中の全てのチャプター)をくり返し再生します。
- チャプターリピート(**CHAPTER REPEAT**)
  1つのチャプターをくり返し再生します

■リピート再生をやめるには…
もう一度リピートキー(「**TITLE REPEAT**」または「**CHAPTER REPEAT**」)に触れてください。

■メイン画面に戻るには…
「**RTN**」キーに触れてください。

タイトルメニューを使う

複数のタイトルが入っているDVDディスクの場合は、タイトルメニューから選択して再生できます。

1 再生中に、メニューボタン(MENU)を押し続ける(約1秒間)

→タイトルメニュー画面が表示されます。
- メニューボタンを押すと、メニューボタンを押す前の場面に戻って再生します。
- ディスクにより、メニューボタンでタイトルメニューを表示できないことがあります。

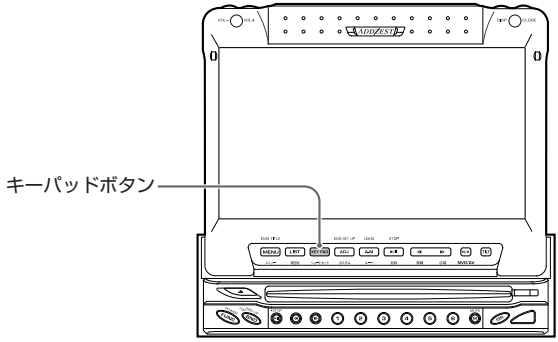
2 キーパッドボタン(KEY PAD)を押してキーパッドを表示する

→キーパッドパターンは、キーパッドボタンを押すたびに変わります。メニュー内容に適切なキーパッドを選択してください。

3 キーパッドパターンの選択キーに触れてメニュー項目を選ぶ

- ディスクによっては10キーで、項目を選択できない場合があります。

DVDプレーヤの操作 (DVDビデオを見る)



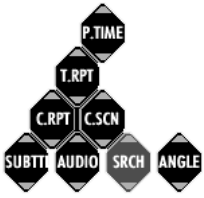
音声言語を切り換える

複数の音声や音声言語が記録されているディスクでは、再生中に音声の言語を切り換えることができます。

※初期設定は、「**ENGLISH**」です。言語設定を変更するときは、「**音声言語を設定する**」(54ページ)をご覧ください。

1 キーパッドボタン(KEY PAD)を3回押して、サブキーパッドを表示する

- 「**キーパッドを表示する**」の操作手順については、59ページをご覧ください。



2 再生中に、「AUDIO」キーに触れる

→触れるたびに音声言語が切り換わります。

- ディスクによっては、最大8種類の音声が収録されています。詳しくはディスクのマーク((8)) : 音声が8種類の場合)をご覧ください。
- 電源を入れたときやディスクを入れ換えたときは、本機の工場出荷時に設定された言語になります。またその言語が記録されていない場合には、ディスク側で決められた言語になります。
- ディスクによっては全く切り換えられない場合や、切り換えできない場面があります。
- 音声の切り換えに多少時間がかかることがあります。

字幕言語を切り換える

複数の字幕言語が記録されているDVDディスクでは、再生中に字幕の言語を切り換えることができます。

※初期設定は、「**JAPANESE**」です。言語設定を変更するときは、「**字幕言語を設定する**」(54ページ)をご覧ください。

1 キーパッドボタン(KEY PAD)を3回押して、サブキーパッドを表示する

- 「**キーパッドを表示する**」の操作手順については、59ページをご覧ください。

2 再生中に、「**SUB TTL**」キーに触れる

→触れるたびに字幕が切り換わります。

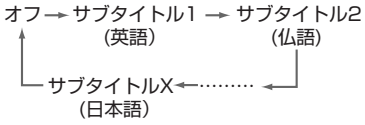
- ディスクによっては、最大32種類の字幕が収録されています。詳しくはディスクのマーク(8 :字幕が8種類の場合)をご覧ください。
- ディスクによっては全く切り換えられない場合や、切り換えできない場面があります。
- 字幕の切り換えに多少時間がかかることがあります。

■字幕を消すには…

キーパッドを表示した後、「**SUB TTL**」キーに触れてください。

→触れるたびに字幕が次のように切り換わります

<サブタイトル(字幕)表示切換例>



- ディスクによっては字幕表示をオフにしても字幕が消えない場合があります。

アングルを切り換える

複数のアングル(角度)で映像が記録されているDVDディスクでは、再生中にアングルを切り換えることができます。

1 キーパッドボタン(KEY PAD)を3回押して、サブキーパッドを表示する

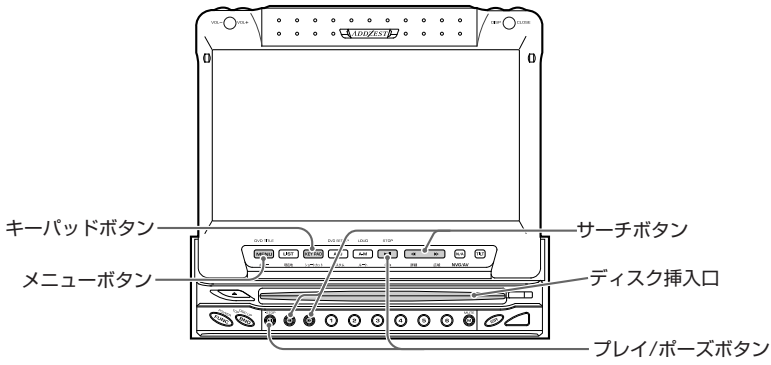
- 「**キーパッドを表示する**」の操作手順については、59ページをご覧ください。

2 再生中に、「**ANGLE**」キーに触れる

→ 触れるたびにアングルが切り換わります。

- ディスクによっては、最大9アングルが収録されています。詳しくはディスクのマーク(9 :マルチアングルの場合)をご覧ください。
- ディスクにより、つなぎめなくスムーズに切り換わるものと、切り換えたときに一瞬静止画になるものがあります。
- ディスクによっては全く切り換えられない場合や、切り換えできない場面があります。
- アングルが切り換わるまで、多少時間がかかることがあります。
- ディスクにより、複数のアングルで記録された場面を再生することもあります。

ビデオCDを見る



ディスクを再生する

1 ディスクを挿入すると、自動で再生モードになります

→ディスクの内容、種類によってはボタン操作を受けつけない場合があります。

■メニュー画面が表示されたら…

PBC(Play Back Control)機能のあるビデオCDでは、メニュー画面が表示されたら、次項の操作で項目を選択して再生します。

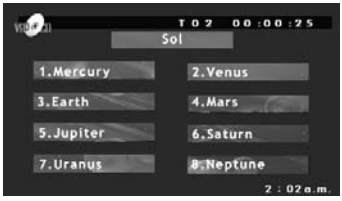
ビデオCDメニューを選ぶ(PBC機能のあるビデオCD)

1 再生中にメニューボタン(MENU)を押す

→ビデオCDのメニュー画面が表示されます。

- 表示される内容はビデオCDのディスクによって異なります。
- ディスクによってはこの操作ができない場合もあります。

<ビデオCDメニュー表示例>



2 キーパッドボタン(KEY PAD)を押して、キーパッドを表示する

→キーパッドボタンを押すたびに、十字キーパッドと10キーパッド等を切り換えます。表示されたメニューに合わせて設定してください。キーパッドについては、「**キーパッドを表示する**」(59ページ)をご覧ください。

3 10キーパッドまたは十字キーパッドの選択キーに触れて、ディスクメニューを選ぶ

再生を停止する

1 再生中に、プレイ/ポーズボタン(⏯または►/II)ボタンを押し続ける(約1秒間)

→再生が停止します

■再生を再開させるには…

プレイ/ポーズボタンを押してください。

→PBC機能がオンのときには、ディスクの頭から再生が始まります。

PBC機能がオフのときには、止めた位置から再生が始まります。

スロー再生する

1 プレイ/ポーズボタン(⏯ または ►/II)を押した後、サーチボタンの右側(⏩)を押し続ける

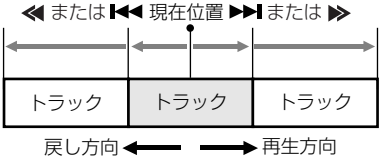
→ボタンを押している間、1/2倍速でスロー再生します。

- 戻す方向では、スロー再生できません。また、スロー再生中は音声を再生できません。

トラックの頭出しをする

1 再生中に、サーチボタン(⏪ ⏩ または ◄◄ ►►)を押す

→押した回数だけトラックがスキップして、再生が始まります。



- サーチボタン「⏩」を押すと、1つ先のトラックの頭から再生します。
- サーチボタン「⏪」を押すと、現在のトラックの頭から再生します。約2秒以内にもう1度このボタンを押すと、1つ前のトラックの頭から再生します。
- サーチボタンを押すとメニュー画面に戻ることがあります
- PBC機能のあるディスクでも、これらの操作ができない場合があります。

トラック番号で頭出しする

ビデオCDディスクに記録されているトラック番号で頭出しします。

- PBC機能のあるディスクでPBC機能ONの場合、この操作はできません。

1 キーパッドボタン(KEY PAD)を3回押して、サブキーパッドを表示する

- 「キーパッドを表示する」の操作手順については、59ページをご覧ください。

2 「SRCH」キーに触れて、10キーを表示する

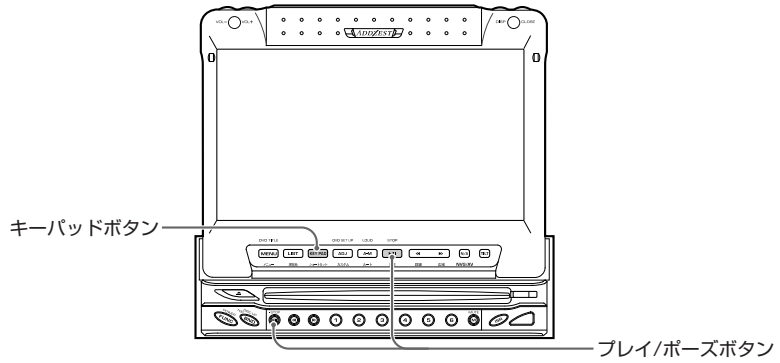
3 「0」～「9」キーに触れて、再生させたいトラック番号を入力する

- トラック番号「12」を入力するには、10キーの「1」に触れ、次に「2」に触れます。
- 存在しないトラック番号を入力したり、トラック番号での頭出しが禁止されている場合は、次のように表示され、無効になります。

4 「ENT」キーに触れて確定する

→入力されたトラック番号またはチャプター番号の場面から再生します。

DVDプレーヤの操作 (ビデオCDを見る)



いろいろな再生 (スキャン/リピート/ランダム再生)

※PBC機能がONのときは操作できません。

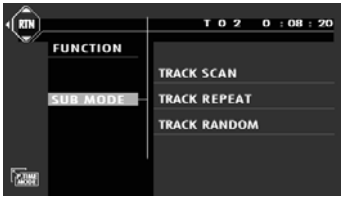
スキャン再生について…
ビデオCDに記録された全てのトラックを、最初の10秒間づつスキャン再生します。

リピート再生について…
ビデオCDに記録された1つのトラックを繰り返し再生します。

ランダム再生について…
ビデオCDに収録されているトラックを順不同に再生します。

1 画面に触れて、メニュー画面を表示する

2 メニュー画面の「**SUB MODE**」キーに触れてサブメニューを表示する



3 サブメニューの再生キーに触れる

- スキャン再生：
  「**TRACK SCAN**」キーに触れる。
- リピート再生：
  「**TRACK REPEAT**」キーに触れる。
- ランダム再生：
  「**TRACK RAMDOM**」キーに触れる。

■通常の再生に戻すには…
もう一度同じ再生キーに触れてください。

■メイン画面に戻るには…
「**RTN**」キーに触れてください。

音声出力を切り換える

音声の出力方式を切り換えることができます。

1 キーパッドボタン(KEY PAD)を3回押して、サブキーパッドを表示する

- 「キーパッドを表示する」の操作手順については、59ページをご覧ください。

2 再生中に、「**AUDIO**」キーに触れる

→「**AUDIO**」キーに触れるたびに、音声の出力方式が次のように切り換わります。

LR（ステレオ音声）
↓
LL（左側音声）
↓
RR（右側音声）

PBC機能をON/OFFする

ビデオCDが PBC機能 (プレイバックコントロール) を備えているときに、ON/OFFすることができます。
初期値は、「**ON**」です。

1 キーパッドボタン(KEY PAD)を3回押して、サブキーパッドを表示する

- 「キーパッドを表示する」の操作手順については、59ページをご覧ください。

2 「PBC」キーに触れる

→「**PBC**」キーに触れるたびに、ON/OFFが切り換わります。

- PBC機能の設定(ON/OFF)を切り換えたときは、ディスクの最初から再生します。

■プレイバックコントロール(PBC：再生制御)について

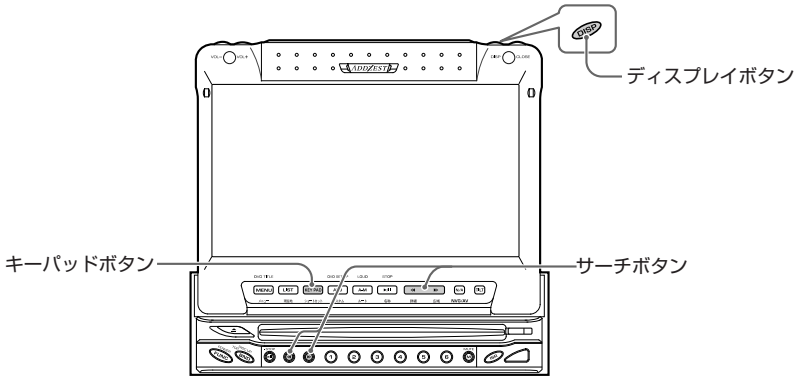
この制御信号はバージョン2.0のためにビデオCD に録画され、そして再生をコントロールするために使われます。PBC機能付のビデオCDではあらかじめ記録されたメニュースクリーンを使って、探索機能で単純化されたダイアログ機能あるいはソフトウェアでビデオ再生を楽しむことができます。高解像度あるいは標準的な解像度静止画を楽しむことができます。

■PBC機能がONのときのディスク再生

次の操作をしたときには、ディスク再生は最初から始まります。

- ファンクションボタンを押して他のモードに切り換え、 DVDビデオモードに戻すため再びファンクションボタンを押したとき。
- プレイ/ポーズボタン(▶/II)を押し続けて演奏を停止した後に再びプレイ/ポーズボタンを押したとき
- 自動車のACCスイッチがOFFされ再びONされたとき。

音楽CDを聴く



本機はCDテキストのディスクタイトル、トラックタイトル及びアーティスト名表示に対応しています。
ディスクを挿入すると、自動で演奏モードになります。

トラックの頭出しをする

1 再生中に、サーチボタン(⏮ ⏭または ◀◀ ▶▶)を押す

→押した回数だけトラックがスキップして、再生が始まります。

- 「⏭」ボタンを押すと、1つ先のトラックの頭から再生します。
- 「⏮」ボタンを押すと、現在のトラックの頭から再生します。約2秒以内にもう1度このボタンを押すと、1つ前のトラックの頭から再生します。

トラック番号で頭出しする

CDに記録されているトラック番号で頭出しします。

1 キーパッドボタン(KEY PAD)を押して、キーパッドを表示する

2 「SRCH」キーに触れて、10キーを表示する

3 「0」～「9」キーに触れて、再生させたいトラック番号を入力する

- 存在しないトラック番号を入力したり、トラック番号での頭出しが禁止されている場合は、無効になります。

4 「ENT」キーに触れて確定する

→入力されたトラック番号から再生します。

いろいろな演奏（スキャン/リピート/ランダム演奏）

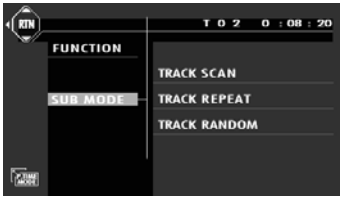
スキャン演奏について…
CDに記録された全てのトラックを、最初の10秒間づつスキャン演奏します。

リピート演奏について…
CDに記録された1つのトラックを繰り返し演奏します。

ランダム演奏について…
ディスクに収録されている曲を順不同に演奏します。

1 画面に触れて、メニュー画面を表示する

2 メニュー画面の「**SUB MODE**」キーに触れてサブメニューを表示する



3 サブメニューの演奏キーに触れる

- スキャン演奏：
  「**TRACK SCAN**」キーに触れる。
- リピート演奏：
  「**TRACK REPEAT**」キーに触れる。
- ランダム演奏：
  「**TRACK RAMDOM**」キーに触れる。

■通常の再生に戻すには…
もう一度同じ演奏キーに触れてください。

■メイン画面に戻るには…
「**RTN**」キーに触れてください。

CDテキストのタイトルを表示する

本機は音楽CDに入力されたCDテキストのテキストデータを液晶ディスプレイに表示することができます。

1 ディスプレイボタン（DISP）を押す

→ディスクタイトル、トラックタイトル及びアーティスト名を表示します。

■タイトル表示を消すには…
もう一度ディスプレイボタン（DISP）を押してください。

本機はID3TAG ver1.0とVer1.1のタイトル、アーティスト、アルバムの表示に対応しています。

MP3について

■MP3とは…

MPEG規格のオーディオ・レイヤー3(MPEG audio layer3)に分類される音声圧縮方式で、パソコンユーザーの間で同方式は標準フォーマットとして浸透しています。

オリジナルの音声データを約1/10のデータ量にまで圧縮でき、更に高音質なのが特長です。1枚のCD-R/RWディスクに、CD約10枚分に相当する音楽を収録することで、ディスク交換不要の長時間再生が可能です。

ご注意

- CD-RまたはCD-RWモードで記録されたディスクの場合には、ご使用になれない場合があります。

■MP3ディスク作成時のご注意

ファイル拡張子

- MP3ファイルには必ず半角文字で拡張子「.MP3」「.mp3」を付けてください。MP3(mp3)以外の拡張子を付けた場合や拡張子を付けなかった場合には、再生できません。また、拡張子に大文字と小文字が混在する場合には正常に再生できません。
- MP3データーでないファイルは再生できません。

論理フォーマット(ファイルシステム)

- MP3ファイルをCD-R/RWに記録する場合、ライティングソフトのフォーマット設定は「**ISO9660レベル1またはレベル2(拡張フォーマット含まず)**」を選択してください。他のフォーマットで記録した場合には正常に再生しない場合があります。
- MP3再生ではフォルダー名、ファイル名をタイトルとして表示することが可能ですが、名称はフォルダー名は半角英数字31文字まで、ファイル名は半角英数字27文字まで(拡張子含まず)となります。それ以外の文字、文字数を入力した名称は、正しく表示しない場合があります。

フォルダー構造

- フォルダーが8階層を超えたディスクに関しては、ISO9660に違反していますので再生できません。

ファイル/フォルダー数

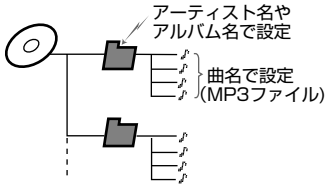
- ファイル数とフォルダー数の合計が255まで認識します。(但し、フォルダー数の上限は、254以内)ファイル数とフォルダー数の合計が256以上の場合には、それ以上の曲は再生できません。
- 曲の演奏はディスクに記録した順番に行われます。(パソコン上で表示される順番通りに演奏されるとは限りません。)
- 記録時のエンコーダーソフトによっては、若干ノイズが発生する場合があります。
- LAME(Lame Aint MP Encoder)を使用して作成されたファイルは、正しく再生されない場合があります。
- VBR(可変的なビット率)で記録されたトラックの場合には、トラックの演奏時間表示が実際の演奏時間と異なる場合があります。また、VBRの推薦された値は64kbpsから320kbpsまでです。
- ファイルの破損状況によっては、そのファイルは再生せず、次ファイルを再生する場合があります。また破損状況が激しい場合、「**ディスクエラー**」表示して再生をストップします。

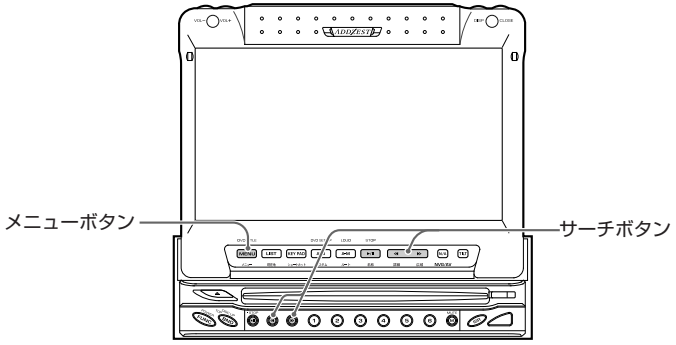
ご注意

ID3-TAGインフォメーションが2バイト文字(日本語)で入力された場合には、入力文字が正しく表示されません。

■MP3のフォルダー作成について

MP3のフォルダーは8階層まで作成できますが、本機では3階層以上で作成されたフォルダーを2階層に変換して表示します。





トラックの頭出しをする

1 再生中に、サーチボタン(⏮ ⏭または ◀◀ ▶▶)を押す

→押した回数だけトラックがスキップして、再生が始まります。

- 「⏭」ボタンを押すと、1つ先のトラックの頭から再生します。
- 「⏮」ボタンを押すと、現在のトラックの頭から再生します。約2秒以内にもう1度このボタンを押すと、1つ前のトラックの頭から再生します。
- この操作はフォルダー内のトラックをスキップします。

画面に表示されたファイルを選択する

1 再生中に、メニューボタン(MENU)を押して、ファイルを表示する

2 「RTN」キーに触れてフォルダーを選択し、フォルダー選択画面を表示する

3 「▲」または「▼」キーに触れてフォルダーを選択する

4 「ENT」キーに触れて確定する

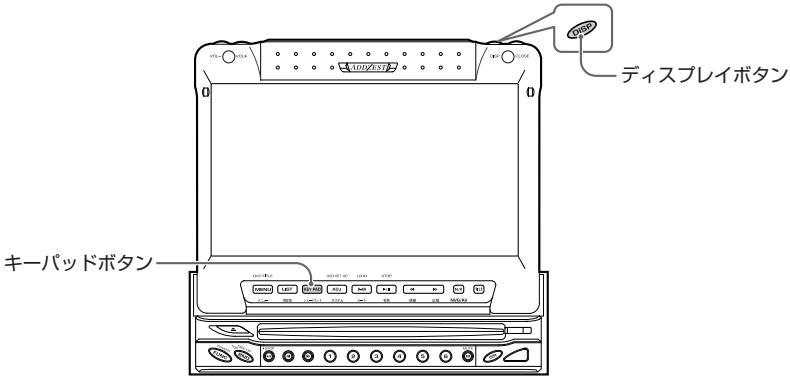
→ファイル選択画面に戻ります。

- 7秒間何も操作しないときは、元のメイン画面に戻ります。

5 「▲」または「▼」キーに触れてファイルを選択する

6 「ENT」キーに触れて確定する

DVDプレーヤの操作 (MP3を聴く)



フォルダーとファイルを選択して演奏する(ダイレクト選曲モード)

MP3ディスクのフォルダー番号あるいはファイル番号を使用して選曲します。

1 キーパッドボタン(KEY PAD)を押して、キーパッドを表示する

2 「**SRCH**」キーに触れて、10キーを表示する

3 「**SHIFT**」キーに触れて、ファイル番号入力(**T000**)とフォルダー番号入力(**F000**)を切り換える

4 選曲したい番号を、「**0**」～「**9**」キーに触れて入力する

5 「**ENT**」キーに触れて確定する

→フォルダーを指定したときは、そのフォルダーのファイルNo.1から演奏します。

ID3-TAGタイトルを表示する

MP3ファイルがID3-TAG情報を含むときにタイトル、アーティストとアルバムタイトルのようなID3情報をディスプレイに表示することができます。

1 ディスプレイボタン(DISP)を押す

→タイトル、アーティストとアルバムタイトルが表示されます。

- ID3-TAGデータが記録されていないMP3ファイルの場合には、「**NO ID3 TAG DATA**」と表示します。

■元の画面表示に戻るには…

もう一度ディスプレイボタン(DISP)を押してください。

いろいろな演奏（スキャン/リピート/ランダム演奏）

ファイルスキャン演奏について…
ディスクに収録されている全てのファイルを約10秒間ずつ演奏します。

フォルダースキャン演奏について…
ディスク内の全てのフォルダーの最初の曲を約10秒間ずつ演奏します。

ファイルリピート演奏について…
演奏中のファイルを繰り返し演奏します。

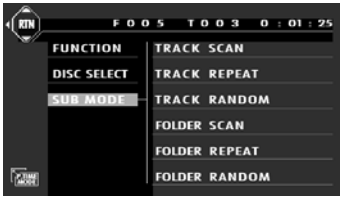
フォルダーリピート演奏について…
演奏中のフォルダー内のファイルを繰り返し演奏します。

ファイルランダム演奏について…
ディスクに収録されているファイルを順不同に演奏します。

フォルダーランダム演奏について…
ディスク内の全てのフォルダーの全てのファイルを順不同に演奏します。

1 画面に触れて、メニュー画面を表示する

2 メニュー画面の「**SUB MODE**」キーに触れてサブメニューを表示する



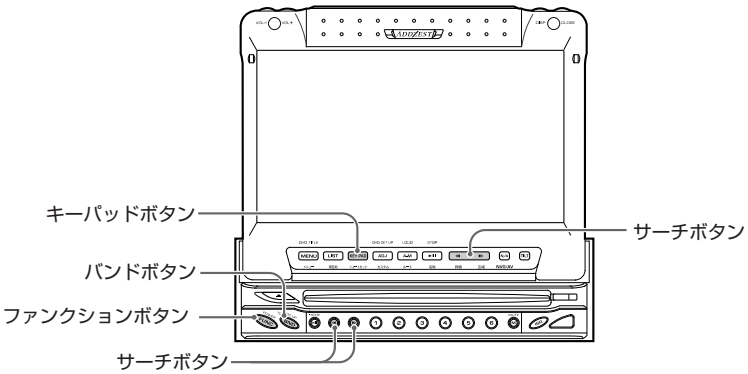
3 サブメニューの演奏キーに触れる

- ファイルスキャン演奏：
  「**TRACK SCAN**」キーに触れる。
- フォルダースキャン演奏：
  「**FOLDER SCAN**」キーに触れる。
- ファイルリピート演奏：
  「**TRACK REPEAT**」キーに触れる。
- フォルダーリピート演奏：
  「**FOLDER REPEAT**」キーに触れる。
- ファイルランダム演奏：
  「**TRACK RAMDOM**」キーに触れる。
- フォルダーランダム演奏：
  「**FOLDER RAMDOM**」キーに触れる。

■通常の再生に戻るには…
もう一度同じ演奏キーに触れてください。

■メイン画面に戻るには…
「**RTN**」キーに触れてください。

TVを見る



走行中のテレビ映像について…

走行中はテレビ映像を消す安全設計となっているため音声のみ聴くことができます。車が停車していて、パーキングブレーキを引いている時のみテレビの映像を見ることができます。

⚠警告

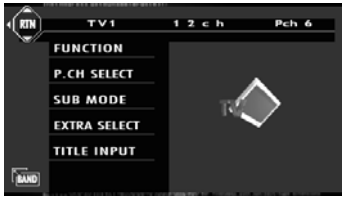
運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず安全な場所に車を停車させてください。

ご注意

パーキングブレーキを解除すると、「**AUDIO ONLY**」画面になります。

メニュー画面を表示する

1 画面に触れてメニュー画面を表示する



■元のメイン画面に戻るには…

画面左上部の「**RTN**」キーに触れてください。

テレビモードを選ぶ

1 ファンクションボタン(FUNC)を押す

- モード切り換えは、画面に触れてメニュー画面を表示→「**FUNCTION**」キーに触れてサブメニューを表示→「**TELEVISION**」キーに触れて選ぶこともできます。

受信バンドを選ぶ

1 バンドボタン(BND)を押す

または、メニュー画面の「**BAND**」キーに触れて、聴きたいバンドを選ぶ

→触れるたびに、バンドが切り換わります。

TV 1 ➡ TV 2

自動選局(シーク)と手動選局(マニュアル)を切り換える

1 バンドボタン(BND)を押し続けて(約1秒間)、選局モードを切り換える

手動選局(**MANU**を表示)
(マニュアル)
↕
自動選局(**MANU**の表示が消える)
(シーク)

自動選局する(シーク選局)

1 バンドボタン(BND)を押し続けて(約1秒間)、自動選局モードにする

→「**MANU**」表示が消えていると、自動選局です。

2 サーチボタン(◀◀ ▶▶ または ◀◀ ▶▶)を押す

→放送を受信できるチャンネルで選局が止まります。

手動選局する(マニュアル選局)

1 バンドボタン(BND)を押し続けて(約1秒間)、手動選局モードにする

→手動/自動選局表示が「**MANU**」表示になると、手動選局です。

2 サーチボタン(◀◀ ▶▶ または ◀◀ ▶▶)を押す

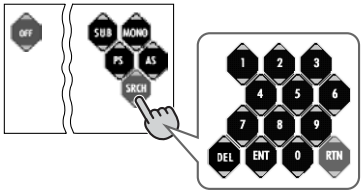
→放送を受信できるチャンネルに合わせてください。

- サーチボタンを押し続けている間、受信チャンネルを連続的にアップ/ダウンします。(クィック選局)
- サーチボタンを押すと、押すたびに受信チャンネルをアップ/ダウンします。(ステップ選局)

キーパッドで選局する

この機能はディスプレイにキーパッド(KEY PAD)を表示して、オートストア(AS)、プリセットスキャン(PS)およびチャンネルを入力して選局ができます。

1 キーパッドボタン(KEY PAD)を押して、キーパッドを表示する



2 各機能を次の方法で操作する

●チャンネル番号を入力して選局するには

2-1 「**SRCH**」キーに触れる

2-2 見たい放送局のチャンネルを「**0**」～「**9**」キーに触れて入力する

- 入力を間違えたときは、「**DEL**」キーに触れてください。

2-3 「**ENT**」キーに触れる

●オートストア(※)させるには

2-1 「**AS**」キーに約2秒間触れ続ける

●プリセットスキャン(※)を探すには

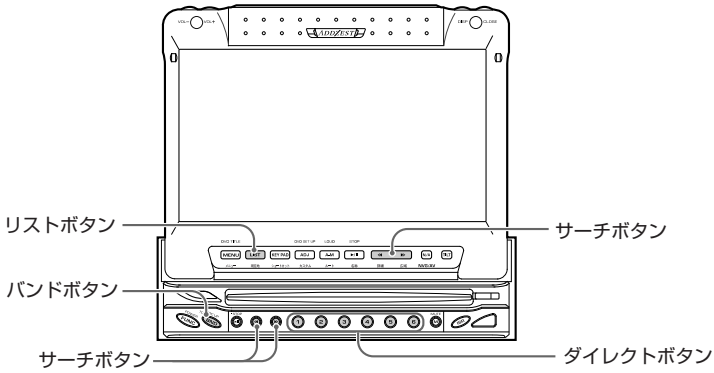
2-1 「**PS**」キーに触れる

※この機能の説明については、「自動メモリーさせる」、「見たい放送局を探す」(81ページ)をご覧ください。

■元の画面に戻るには…

キーパッドボタン(KEY PAD)を押すか、または画面左上部の「**OFF**」キーに触れてください。

TVを見る



プリセット選局する

プリセット選局について…
あらかじめメモリーしておき、ワンタッチで放送局を呼び出す機能です。メモリーのしかたについては、「**プリセットメモリーする**」(次項)をご覧ください。

●ダイレクトボタンで選局するには

1 バンドボタン(BND)を押して受信バンドを切り換える

2 ダイレクトボタン(1 ~ 6)を押す

→ダイレクトボタンにメモリーされている放送局を受信します。

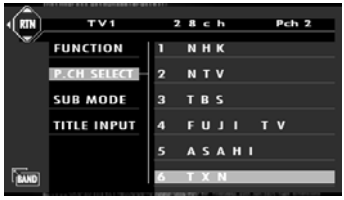
ご注意

ダイレクトボタン(1 ~ 6)を押し続ける(約2秒間)と、いま聴いている放送局がメモリーされます。

●ダイレクトキーで選局するには

1 リストボタン(LIST)を押して、または画面に触れてメニュー画面を表示する

2 「**P.CH SELET**」キーに触れて、チャンネルリストを表示する



3 聴きたいダイレクトキーに触れて選局する

- 受信バンドを変えるときは、画面左下の「**BAND**」キーに触れてください。

プリセットメモリーする

プリセットメモリーについて…
プリセットメモリーできるのは、TV1、TV2、の各6局、計12局です。

1 バンドボタン(BND)を押して受信バンドを切り換える

2 自動選局または、手動選局でメモリーしたい放送に合わせる

◀◀ ▶▶ (または) ◀ ▶

3 ダイレクトボタン(1 ~ 6)を押し続ける(約2秒間)

→ビープ音が「ON」に設定されているときは、ビープ音が鳴ります。

自動メモリーさせる（オートストア機能）

オートストア機能について…
自動受信した放送を、6局まで自動的にプリセットメモリーします。

1 リストボタン（LIST）を押して、または画面に触れて、メニュー画面を表示する

2 メニュー画面の「**SUB MODE**」キーに触れて、サブメニューを表示する

3 サブメニューの「**AUTO STORE**」キーに触れ続ける(約2秒間)

→受信した放送を、プリセットチャンネル(1～6)に登録していきます。

- 自動メモリーすると、これまでのプリセットメモリーは消去されます。
- メモリーできる放送が6局に満たなかった場合、メモリーされなかったプリセットチャンネルには、それまでのメモリーが残ります。

見たい放送局を探す（プリセットスキャン）

プリセットスキャンについて…
プリセットスキャンは、プリセットチャンネルに登録されている放送局を順に受信します。

1 画面に触れて、メニュー画面を表示する

2 メニュー画面の「**SUB MODE**」キーに触れて、サブメニューを表示する

3 サブメニューの「**PRESET SCAN**」キーに触れる

→プリセットメモリーされている放送局を、順に7秒ずつ受信します。

■探している放送を受信したら…
もう一度「**PRESET SCAN**」キーに触れてください。その時に受信中の放送になります。

副音声を楽しむ

1 メニュー画面の「**SUB MODE**」キーに触れてサブメニューを表示する

2 サブメニューの「**SUB ON**」キーに触れる

→キーに触れるたびに、「**SUB ON**」/「**SUB OFF**」が切り換わります。

- **SUB ON** ：副音声を再生します。
- **SUB OFF**：主音声を再生します。

ステレオ放送をモノラルにする

1 メニュー画面の「**SUB MODE**」キーに触れてサブメニューを表示する

2 サブメニューの「**MONO ON**」キーに触れる

→キーに触れるたびに、「**MONO ON**」/「**MONO OFF**」が切り換わります。

- **MONO ON** ：モノラル音声を再生します。
- **MONO OFF**：ステレオ放送時、ステレオ音声を再生します。

VTRを見る

TVチューナーに接続したVTR映像を入力することも可能です。走行中はテレビ映像を消す安全設計となっているため音声のみ聴くことができます。

1 メニュー画面の「**EXTRA SELECT**」キーに触れて、サブメニューを表示する

2 サブメニューの設定キーに触れる

→「**VTR**」キーに触れると、TVチューナーに接続したVTR画面に切り換わります。
「**TELEVISION**」キーに触れると、元の画面に戻ります。

タイトルをつける

タイトルを入力する

タイトル入力について…

ラジオの放送曲やテレビの放送局及びCD(チェンジャー時)にタイトルを付け、受信時やCDチェンジャー演奏時に表示させることができます。(ラジオ、テレビ、CDチェンジャーモード時)

入力できるタイトル数は、次の通りです。

- 放送局名(チューナー) ：30タイトル
- テレビ放送名 ：15タイトル
- 6枚チェンジャーにメモリーできるCDのディスク名 ：60タイトル
- 12枚チェンジャーにメモリーできるCDのディスク名 ：50タイトル
  (DCZ625,CDC655Tzは100タイトル)

1 タイトルをつけたいラジオ局、テレビ局を受信する

またはCDチェンジャー内のディスクを演奏する

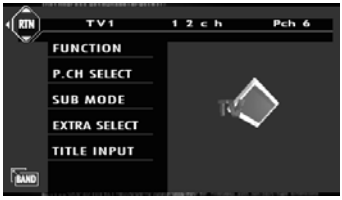
ご注意

ラジオ、テレビでタイトルが入力できるのは、エリアセレクトでユーザータイトルを選択している時だけです。

- チューナーエリアの切り換えかたは、「チューナーエリアを設定する」(43ページ)「テレビエリアを設定する」(47ページ)をご覧ください。

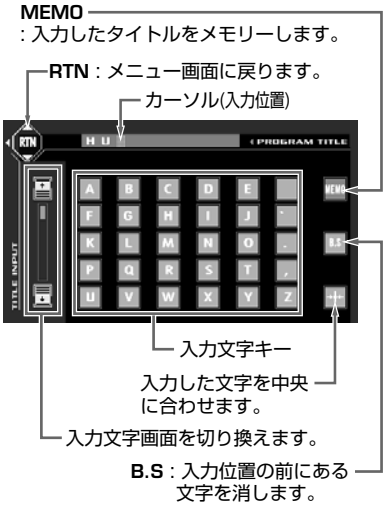
2 画面に触れて、メニュー画面を表示する

(TVモード時の表示例)



3 メニュー画面の「TITLE INPUT」キーに触れる

→タイトル入力画面になります。



4 画面に表示されている入力文字キーに触れて入力する

- 入力できる文字数は、10文字です。

入力文字種類

- アルファベット大文字
  A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
- アルファベット小文字
  a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z
- 数字/記号
  0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 . , ' : ; ! ? α * # $ % & ¥ + − × / =( )〈 〉" → ← ↑ ↓ ↔ ↕ ♂ ♀ ★ ♥ ◆ ♯ ♭ ♪ ♪ ♫ ♬
- カタカナ
  ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ コ サ シ ス セ ソ タ チ ツ テ ト ナ ニ ヌ ネ ノ ハ ヒ フ ヘ ホ マ ミ ム メ モ ヤ ユ ヨ ラ リ ル レ ロ ワ ヲ ン ァ ィ ゥ ェ ォ ッ ャ ュ ョ ・ 。 ー「」

5 タイトルを入力したら「MEMO」キーに触れ続ける(約2秒間)

→タイトルがメモリーされ、元のモード画面に戻ります。

ご注意

ノイズなどの原因によって、本機のマイコンが誤動作したときなどに、リセットボタンを押すと、本機にメモリーされていたタイトルなどのユーザーメモリーはすべて消去されますのでご注意ください。

■タイトルメモリーがいっぱいになると…

- ラジオ局タイトルの場合プリセットチャンネルとISRにメモリーされていないタイトルを自動的に消去して新しいタイトルをメモリーします。
- ディスクタイトルの場合演奏回数の少ないタイトルを自動的に消去して新しいタイトルをメモリーします。

タイトルをイージーインプットする

イージーインプットについて…

本機は、チューナーエリアにメモリーされている周波数とタイトルのうちプリッセットチャンネルにメモリーされている分を「USER TITLE」にコピーすることができます。

1 ラジオモードまたはテレビモードに切り換えて、アジャストボタン(ADJ)を押す

- 受信エリアについては、放送局の「チューナーエリアを設定する」(43ページ)「テレビエリアを設定する」(47ページ)をご覧ください。

2 「**TUNER AREA**」キーまたは「**TV AREA**」キーに触れて、設定するエリアを選ぶ

- 「**RTN**」キーに触れると、アジャスト画面に戻ります。

3 イージーインプットしたいエリア表示キーに触れる

4 「**MEMO**」キーに触れ続ける(約2秒間)

→選択したエリアのタイトルを「**USER TITLE**」に登録します。

5 「**RTN**」キーに2回触れて、元のモードに戻る

- イージーインプットをすると、これまでのユーザータイトルメモリーは消去されます。

タイトルを削除する

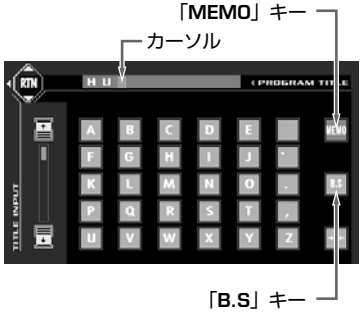
1 削除したいタイトルのラジオ局、テレビ局を受信する

またはCDチェンジャー内のディスクを演奏する

2 画面に触れて、メニュー画面を表示する

3 メニュー画面の「**TITLE INPUT**」キーに触れる

→タイトル入力画面が表示されます。

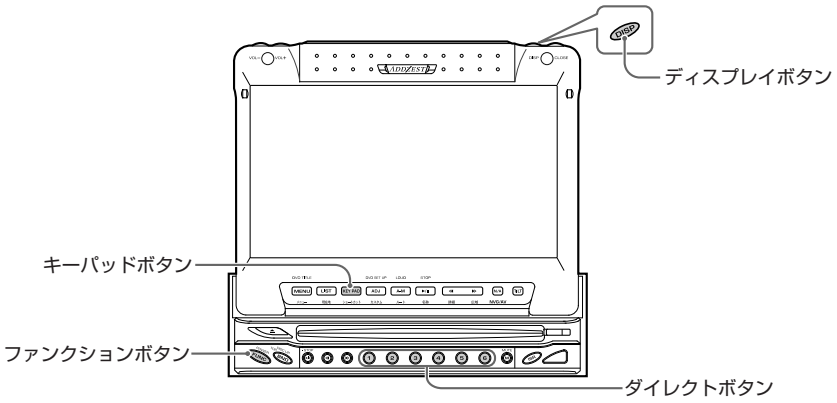


4 タイトル入力画面の「**B.S**」キーに触れて、タイトル文字を1字ずつ消去する

5 消し終えたら、「**MEMO**」キーに触れ続ける(約2秒間)

→メイン画面に戻ります。

CD/MDチェンジャー/MDデッキを操作する



■CD/MDチェンジャーについて…

本機は、別販のCeNET結線対応CDチェンジャーまたはMDチェンジャーを接続してコントロールできます。

- CDチェンジャーにマガジンがはいっていないときは、「**NO MAGAZINE**」、マガジン内にCDが入っていないときは、「**NO DISC**」と表示されます。
- MDチェンジャーにMDがはいっていないときは、「**NO DISC**」と表示されます。

ご注意

CD-ROMディスクは再生できません。

チェンジャーモードを選ぶ

1 ファンクションボタン(FUNC)を押して、CDまたはMDチェンジャーモードを選ぶ

→CD(MD)チェンジャーモードになると、自動的に演奏がはじまります。

- モード切り換えは、画面に触れてメニュー画面を表示→「**FUNCTION**」キーに触れてサブメニューを表示→「**CD A/C**」または「**MD A/C**」キーに触れて選ぶこともできます。

■CDチェンジャー(MDチェンジャー/DVDチェンジャー)を2台接続したときは…

ファンクションボタンを押して演奏するチェンジャーを選択してください。

本機は、CDチェンジャー、MDチェンジャー、DVDチェンジャーを合わせて2台までコントロールすることができます。
設定について詳しくは、チェンジャーの取扱説明書をご覧ください。

演奏するディスクを選ぶ(CD/MDチェンジャー)

1 ダイレクトボタン(1)～(6)を押す

→選択したディスクNo.のディスクをローディングして演奏をはじめます。

- MDが入っていないとき、またはマガジンにCDが入っていないときは、ダイレクトボタンを押しても受け付けません。
- 演奏中のCD(またはMD)をダイレクトボタンで選んだときは、そのCD(またはMD)の1曲目に戻って演奏します。
- 12枚CDチェンジャーの場合は、ダイレクトボタンを押し続けて(約1秒間)、ディスクNo.7から12のディスクを選びます。
- タイトルリストから選ぶ場合には、「**タイトルリストから演奏する**」(37ページ)をご覧ください。

■次のディスクを選ぶには(ディスクアップ機能)…

バンドボタン(BND)を押してください。
バンドボタンを押すたびに、次のディスクに切り換わります。

→ディスクが切り換わると、そのディスクの最初の曲から始まります。

タイトルを表示する（CDチェンジャー）

メイン画面に表示するCDタイトルの内容を切り換えることができます。

CDテキストタイトルについて…

この操作は、本機にCDテキスト対応のCDチェンジャーが接続されているときに操作できます。
CDテキストタイトルに記録されているディスクタイトル、トラックタイトルあるいはアーティストタイトルを選択することができます。

1 ディスプレイボタン（DISP）を押してタイトルを表示する

→ディスプレイにユーザータイトルを表示します。

2 「TEXT」キーに触れる

→ディスクタイトル、トラックタイトルとアーティストタイトルを表示します。

3 メイン画面に常時表示させたいタイトルを、タイトル設定キー（「DISC」、「TRACK」、「ARTIST」）に触れて選ぶ

■ユーザータイトル表示画面に戻るには…

「USER」キーに触れてください。

■元のメイン画面に戻るには…

もう一度ディスプレイボタン（DISP）を押してください。

→メイン画面に戻り、選択したタイトルを表示します。

タイトルを表示する（MDデッキ/MDチェンジャー）

MDタイトルについて…

MDに記録されたディスクタイトルとトラックタイトルを表示できます。

1 ディスプレイボタン（DISP）を押してタイトルを表示する

→ディスプレイにディスクタイトル、トラックタイトルを表示します。

2 「DISC」、「TRACK」キーに触れて、メイン画面に常時表示させたいタイトルを選ぶ

■元のメイン画面に戻るには…

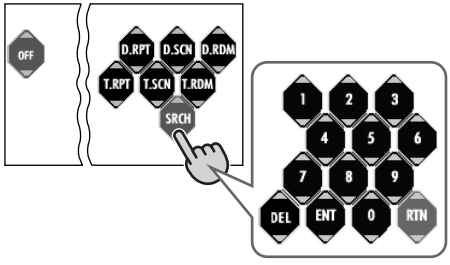
もう一度ディスプレイボタン（DISP）を押してください。

→メイン画面に戻り、選択したタイトルを表示します。

キーパッドで選曲する

この機能は画面にキーパッド（KEY PAD）を表示して、聴きたいトラックをダイレクトに選曲したり、リピート等ができます。

1 キーパッドボタン（KEY PAD）を押して、キーパッドを表示する



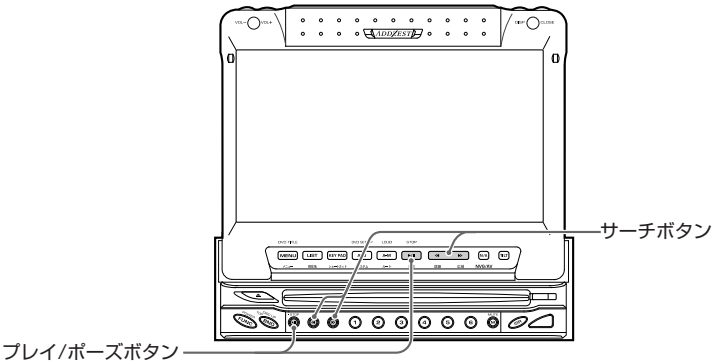
2 各機能を次の方法で操作する

●トラックをダイレクト選曲するには

2-1 「SRCH」キーに触れて10キー表示にする

次ページに続く

CD/MDチェンジャー/MDデッキを操作する



2-2 聴きたいトラック番号を、「**0**」～「**9**」キーに触れて 入力する

- キー入力を修正するときは、「**DEL**」キーに触れてキャンセルします。

2-3 「**ENT**」キーに触れて確定する

→指定したトラックに切り替わり、演奏を開始します。

●トラックリピート演奏するには

「**T.RPT**」キーに触れる

●ディスクリピート演奏するには

「**D.RPT**」キーに触れる

●トラックスキャン演奏するには

「**T.SCN**」キーに触れる

●ディスクスキャン演奏するには

「**D.SCN**」キーに触れる

●トラックランダム演奏するには

「**T.RDM**」キーに触れる

●ディスクランダム演奏するには

「**D.RDM**」キーに触れる

※各演奏機能の説明については「いろいろな演奏」(87ページ)をご覧ください。

■元のメイン画面に戻るには…

「**RTN**」キーに触れてください。

曲を選ぶ

1 再生中に、サーチボタン(⏮ ⏭ または ◀◀ ▶▶)を押す

- サーチボタン(⏭)を押すと、押した回数だけ先の曲を演奏します。
- サーチボタン(⏮)を押すと、演奏中の曲を最初から演奏します。さらに押すと、押した回数だけ前の曲を演奏します。

早送り/早戻しする

1 再生中に、サーチボタン(⏮ ⏭ または ◀◀ ▶▶)を押し続ける

- サーチボタン(⏭)を押し続けると、早送りします。
- サーチボタン(⏮)を押し続けると、早戻しします。

演奏を止める(一時停止)

1 プレイ/ポーズボタン(⏯ または ▶/II)を押す

→「**PAUSE**」を表示して演奏が止まります。

■一時停止を解除するには…

もう一度、プレイ/ポーズボタンを押してください。

いろいろな演奏(スキャン/リピート/ランダム演奏)

曲を探す(スキャン演奏)について…
演奏中のディスクの全曲を約10秒間ずつ演奏します。

ディスクを探す(ディスクスキャン演奏)について…
選択中のCD(MD)チェンジャーに収納されている全ディスクの最初の曲を約10秒間ずつ演奏します。

1曲を繰り返し聴く(リピート演奏)について…
いま演奏している曲を繰り返し演奏します。

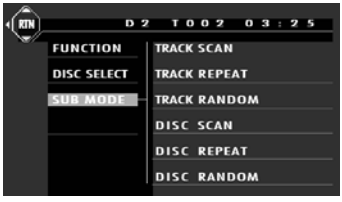
ディスクを繰り返し聴く(ディスクリピート演奏)について…
演奏中のディスクを繰り返し演奏します。

曲を順不同に聴く(ランダム演奏)について…
演奏中のディスクの全曲を順不同に演奏します。

順不同に聴く(ディスクランダム演奏)について…
選択中のCD(MD)チェンジャーに収納されている全ディスクの全曲を順不同に演奏します。

1 画面に触れてメニュー画面を表示する

2 メニュー画面の「**SUB MODE**」キーに触れて、サブメニューを表示する



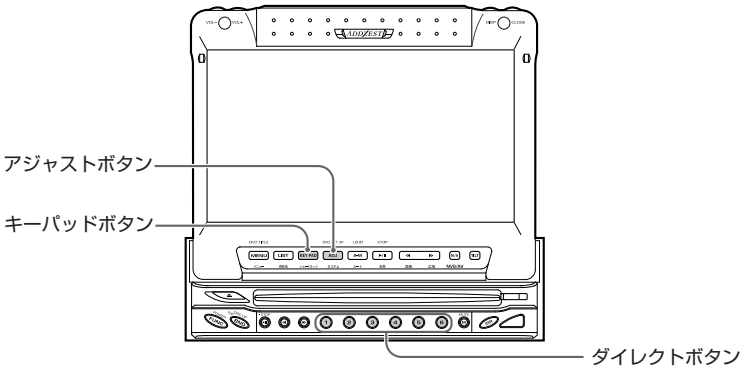
3 サブメニューの演奏キーに触れる

- *スキャン演奏のとき*
  「**TRACK SCAN**」キーに触れてください。
- *ディスクスキャン演奏のとき*
  「**DISC SCAN**」キーに触れてください。
- *リピート演奏のとき*
  「**TRACK REPEAT**」キーに触れてください。
- *ディスクリピート演奏のとき*
  「**DISC REPEAT**」キーに触れてください。
- *ランダム演奏のとき*
  「**TRACK RANDOM**」キーに触れてください。
- *ディスクランダム演奏のとき*
  「**DISC RANDOM**」キーに触れてください。

■元の演奏状態に戻るには…
もう一度同じ演奏キーに触れてください。
→演奏中の曲から通常の演奏になります。

■元のメイン画面に戻るには…
「**RTN**」キーに触れてください。
→元のメイン画面に戻り、選択した演奏モードを継続します。

DVDチェンジャーを操作する



本機は別販のCeNET結線対応DVDチェンジャーを接続してコントロールできます。

以下に説明する操作以外は、「**DVDビデオプレーヤーの操作**」をご覧ください。

また、その他項目の詳細についてはDVDチェンジャーに付属の取扱説明書をご覧ください。

再生するディスクを選ぶ

1 ダイレクトボタン(①～⑥)を押す

→選択した番号のディスクをローディングして再生をはじめます。

- マガジンにディスクが入っていないときは、ダイレクトボタンを押しても受け付けません。
- 演奏中のディスクをダイレクトボタンで選んだときは、そのディスクの最初から再生します。
- タイトルリストから選ぶ場合には、「**タイトルリストから演奏する**」(37ページ)をご覧ください。

■次のディスクを選ぶには(ディスクアップ機能)…

バンドボタン(BND)を押してください。

バンドボタンを押すたびに、次のディスクに切り換わります。

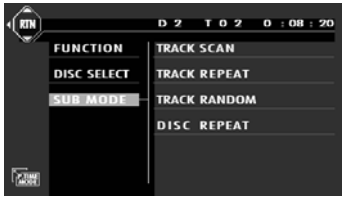
→ディスクが切り換わると、そのディスクの最初から再生をはじめます。

ディスクを繰り返し再生する(ディスクリピート再生)

再生中のディスクを繰り返し再生します。

1 画面に触れてメニュー画面を表示する

2 メニュー画面の「**SUB MODE**」キーに触れて、サブメニューを表示する



3 「**DISC REPEAT**」キーに触れる

■キーパッドで操作するには…

キーパッドボタン(KEY PAD)を押してキーパッドを表示し、「**D. RPT**」キーに触れてください。

■解除するには…

もう一度、「**DISC REPEAT**」キーに触れてください。

■元のメイン画面に戻るには…

「**RTN**」キーに触れてください。

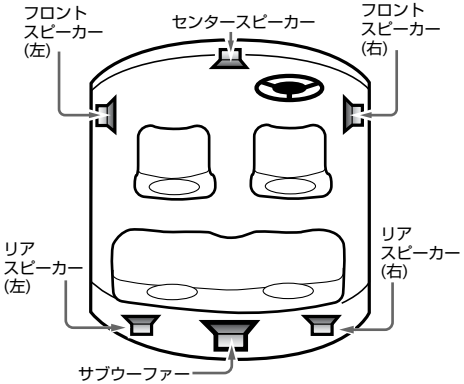
5.1chサラウンドデコーダーを操作する

この機能は５.１ｃｈ サラウンドデコーダー(DVH920)を接続したときに使用できます。
この章は操作説明のみ記載しています。
その他の項目の詳細については5.1ch サラウンドデコーダー(DVH920)に付属の取扱説明書をご覧ください。

スピーカーシステムについて

●本機の音場再生機能を最大限にお楽しみいただくために、5.1chのスピーカーシステムをお勧めします。音響特性を最大限に発揮させるため、使用する前にスピーカーシステムの構成に合わせ、次項の「**デコーダーの設定を変更する**」を参照して各種設定を変更してください。

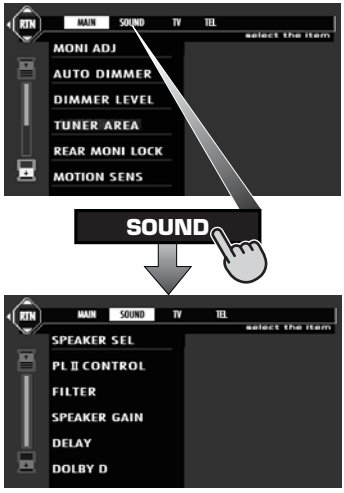
なお、2ch音源(音楽CD等)を5.1ch再生するためにはDSF機能「**ON**」またはドルビープロロジックⅡ機能「**ON**」の設定が必要です。(93～94ページ参照)



デコーダーの設定を変更する

1 アジャストボタン(ADJ)を押してアジャスト画面を表示する。

2 画面上部の「**SOUND**」キーに触れる



3 設定項目キーに触れて各種設定をする

●接続スピーカーの設定（SPEAKER SEL）

センタースピーカー、サラウンドスピーカーとサブウーファーの接続状況を設定します。

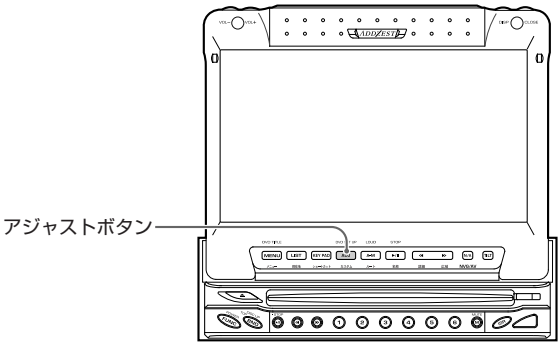
3-1 「**SPEAKER SEL**」キーに触れて、サブメニューを表示する

3-2 [**CENTER SP**], [**SORROUND SP**] または[**SUB WOOFER**] キーに触れる

3-3 スピーカーの接続状況に応じて「**ON**」,「**OFF**」キーに触れて設定する。

※初期設定は＜**ON**＞です。
- サブウーファーは「**ON-**」により位相を反転できます。初期値は"**ON+**"です。

5.1chサラウンドデコーダーを操作する



●ドルビーPLⅡミュージックモードの設定(PLⅡ CONTROL)

この機能はDolby PLⅡのタイプが「**MUSIC MODE**」を選択しているときにのみ使用できます。設定のしかたは、「ドルビープロロジックⅡモードの設定(Dolby Pro Logic Ⅱ)」(94ページ)を参照ください。

3-1 「**PLⅡ CONTROL**」キーに触れて、サブメニューを表示する。

3-2 「**PANORAMA**」,「**DIMENSION**」または「**CENTER WIDTH**」キーに触れて項目を選び設定する。

- **PANORAMA :**
「**ON**」または「**OFF**」キーに触れる。初期設定は<**OFF**>です。
- **DIMENSION :**
「▲」または「▼」キーに触れる。調整範囲は0～6(初期設定：**3**)です。
- **CENTER WIDTH** :
「▲」または「▼」キーに触れる。調整範囲は0～7(初期設定：**3**)です。

●スピーカーフィルターの設定(FILTER)

使用するスピーカーに合ったフィルター周波数を選択します。

※この機能は「**接続スピーカーを設定する**」で「**OFF**」に設定されているスピーカーは設定できません。

3-1 「**FILTER**」キーに触れて、サブメニューを表示する。

3-2 [**FRONT HPF**], [**CENTER HPF**], [**SURROUND HPF**]または[**SUB WOOFER LPF**]キーに触れて項目を選ぶ。

3-3 [▲]または[▼] キーに触れて設定する

- **FRONT HPF :**
設定項目は50Hz/80Hz/120Hz/THROUGHの4種類です。初期設定は<**THROUGH**>です。
- **CENTER HPF:**
設定項目は50Hz/80Hz/120Hzの3種類です。初期設定は"120Hz"です。
- **SURROUND HPF :**
設定項目は50Hz/80Hz/120Hz/THROUGHの4種類です。初期設定は<**THROUGH**>です。
- **SUB WOOFER LPF :**
設定項目は50Hz/80Hz/120Hzの3種類です。初期設定は<**120Hz**>です。

●スピーカーのゲインの調整（SPEAKER GAIN）

スピーカーの出力レベルを設定します。

※この機能は「**接続スピーカーを設定する**」で「**OFF**」に設定されているスピーカーは設定できません。

3-1 「**SPEAKER GAIN**」キーに触れて、サブメニューを表示する。

3-2 [**FRONT L**], [**CENTER**], [**FRONT R**], [**SURROUND R**], [**SURROUND L**]または[**SUB WOOFER**] キーに触れて項目を選ぶ。

3-3 [▲]または[▼]キーに触れて設定する

- −10dB〜+10dBまで1dBステップで調整できます。初期設定は<**0dB**>です。

●スピーカーディレイ時間の調整（DELAY）

フロントスピーカーの出力と同じタイミングで聞こえる様に調整します。

※この機能は「**接続スピーカーを設定する**」で「**OFF**」に設定されているスピーカーは設定できません。

3-1 「**DELAY**」キーに触れて、サブメニューを表示する。

3-2 「**CENTER SP**」または「**SURROUND SP**」キーに触れて項目を選ぶ。

3-3 「▲」または「▼」 キーに触れて調整する

- **CENTER SP :**
  0mS〜5mSの間で調整できます。初期設定は<**0mS**>です。
- **SURROUND SP :**
  0mS〜15mSの間で調整できます。
  ※初期設定は<**0mS**>です。

●ダイナミックレンジコンプレッションの設定（DOLBY D）

ダイナミックレンジコンプレッションの切り換えを行います。

※この機能は「**接続スピーカーを設定する**」で「**OFF**」に設定されているスピーカーは設定できません。

3-1 [**DOLBY D**] キーに触れて、サブメニューを表示する。

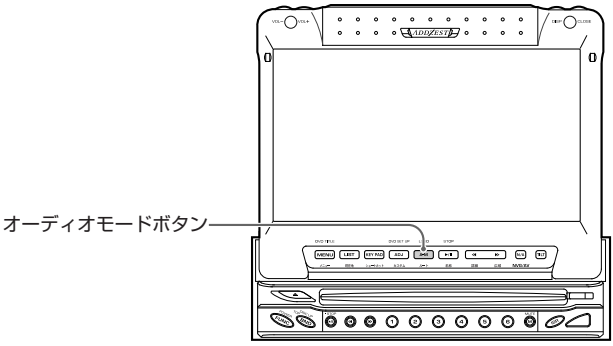
3-2 [**MAX**], [**STD**]または [**MIN**] キーに触れて項目を選ぶ。

※初期値は<**MAX**>です。

4 各種設定を終えたら、アジャストボタン(ADJ)を押す

または、「**RTN**」キーに触れて元のメイン画面に戻る

5.1chサラウンドデコーダーを操作する



デコーダーの操作をする

各モード共通の操作

サラウンドシステムを構成するサブウーファーあるいはセンタースピーカの音量調整と各スピーカ間のバランス/フェダーを調整します。

1 オーディオモードボタン(A-M)を押して、オーディオモード画面を表示する

2 画面上部の「**DETAIL**」キーに触れる

3 各種調整を行う

●サブウーファー音量の調整

3-1 「**SUBWOOFER VOL**」キーに触れて調整画面にする

3-2 「▲」または「▼」キーに触れて調整する

- 調整範囲は、−6〜+3(初期設定：**0**)です。

●センタースピーカー音量の調整

3-1 「**CENTER VOL**」キーに触れて調整画面にする

3-2 「▲」または「▼」キーに触れて調整する

- 調整範囲は、−6〜0(初期設定：**0**)です。

●バランス/フェダーの調整

3-1 「**BAL/FAD**」キーに触れて調整画面にする

3-2 「▲」または「▼」キーに触れてフェダーを調整する

▲：フロントスピーカーの音が強調されます。

▼：リアスピーカーの音が強調されます。

3-3 「◀」または「▶」キーに触れてバランスを調整する

◀：左側スピーカーの音が強調されます。
▶：右側スピーカーの音が強調されます。

■メイン画面に戻るには…

「**RTN**」キーに触れるか、オーディオモードボタン(A-M)を押してください。

DSFモードの設定

1 オーディオモードボタン(A-M)を押す

2 DSFを設定する

●DSF効果をON/OFFするには

※初期設定は<**OFF**>です。

2-1 「**STATUS**」キーに触れて、画面を切り換える

2-2 「**DSF**」キーに触れる

2-3 設定キー(「**ON**」または「**OFF**」)に触れる

●DSFを設定するには

2-1 「**DSF**」キーに触れる

2-2 お好みのDSF設定キーに触れる

• DSF効果が「**OFF**」に設定されていると、選択したDSFタイプは反映されません。

■メイン画面に戻るには…

「**RTN**」キーに触れるか、オーディオモードボタン(A-M)を押してください。

P.EQモードの設定

1 オーディオモードボタン(A-M)を押す

2 P.EQを設定する

●P.EQ効果をON/OFFするには

※初期設定は<**OFF**>です。

2-1 「**STATUS**」キーに触れて、画面を切り換える

2-2 「**P.EQ**」キーに触れる

2-3 設定キー(「**ON**」または「**OFF**」)に触れる

●P.EQを設定する

2-1 「**P.EQ**」キーに触れる

2-2 編集したい以下の項目キーに触れて画面を切り換えて設定する

• P.EQ効果が「**OFF**」に設定されていると、選択したDSFタイプは反映されません。

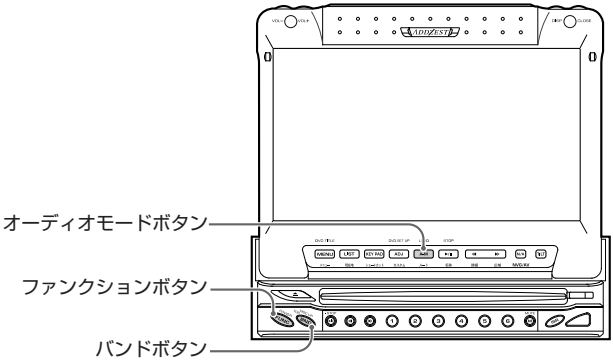
●「**SIGNAL**」(調整信号)
「**P.NOISE**」または「**MUSIC**」キーに触れる。
※初期設定は<**P.NOISE**>です。

●「**SPEAKER SELECT**」
(スピーカーの選択)
「**FRONT**」、「**CENTER**」または「**SURROUND**」キーに触れる。
※初期設定は<**FRONT**>です。

●「**BAND**」(バンド)
「**BAND1**」、「**BAND2**」または「**BAND3**」キーに触れる。
※初期設定は<**BAND1**>です。

次ページに続く

5.1chサラウンドデコーダーを操作する



●「**FREQUENCY**」(周波数)
20Hz～20kHzの間で設定します。
※初期設定は<**1 KHZ**>です。

●「**Q**」(Qカーブ)
1/3/5/7/20より選択します。
※初期設定は<**1**>です。

●「**AGIN**」(ゲイン)
－12dB～＋12dBの間で設定します。
※初期設定は<**0**>です。

■メイン画面に戻るには…

「**RTN**」キーに触れるか、オーディオモードボタン(A-M)を押してください。

ドルビープロロジックⅡモードの設定

※初期設定は<**OFF**>です。

1 オーディオモードボタン(A-M)を押して、オーディオモード画面を表示する

2 「**DOLBY PLⅡ**」キーに触れる

3 お好みのタイプの設定キーに触れて選ぶ

■メイン画面に戻るには…

「**RTN**」キーに触れるか、オーディオモードボタン(A-M)を押してください。

その他の外部機器を操作する

DVDビデオを見る

DVDビデオについて…

アゼストDVDビデオ対応ハイブリッドナビゲーションを接続した場合には、ナビゲーション側のリモコン操作によりDVDビデオを見ることができます。

※アゼストDVDビデオ対応ハイブリッドナビゲーションを接続した場合のビデオ入力は、本機のチューナーアンプユニットのVISUAL1映像入力端子に接続します。ただし、DVDチェンジャーを接続している場合は、VISUAL2端子に接続してください。

DVDビデオモードを選ぶ

1 ナビゲーション本体にDVDビデオディスクを挿入する

または、DVDビデオディスクが挿入されているときは、ナビゲーション側リモコンのプレイ/ポーズボタンを押す

→DVDビデオ映像が表示されます。

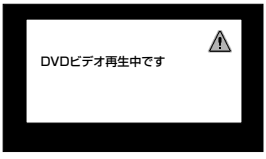
- 操作方法の詳細については、アゼストDVDビデオ対応ハイブリッドナビゲーションに付属の取扱説明書をご覧ください。

■元のモードに戻すには…

ファンクションボタン(FUNC)を押してください。

ご注意

- DVDビデオモード時、DVDビデオディスクからナビゲーションディスクに交換したときは、ナビゲーション/オーディオ・ビジュアルボタンを押してナビゲーションモードにしてください。
- ナビゲーション画面のときにナビゲーションディスクからDVDビデオディスクに交換すると、以下の画面を表示します。



この画面になったときは、ナビゲーション/オーディオ・ビジュアルボタンを押してDVDビデオ映像画面に切り換えてください。

外部機器の映像を見る (ビジュアルモード)

ビデオを見る

この機能は、VTR等がビジュアルインプット端子(VISUAL1 IN)あるいはビジュアル2端子(VISUAL2 IN)に接続されているときに操作できます。

●モードを切り換える

1 ファンクションボタン(FUNC)を押す

または、画面に触れてメニュー画面を表示し、「**FUNCTION**」キーに触れてモードを選ぶ

●バンドを切り換える

1 バンドボタン(BND)を押す

または、画面に触れてメニュー画面を表示し、「**BAND**」キーに触れてVISUAL1/2を切り換える

その他の外部機器を操作する

モニターロック(2-ZONE/3-ZONE)の設定

本機はフロントモニターロック、リアモニターロックを行うことにより2-ZONEおよび3-ZONEを楽しむことが可能です。

•2-ZONE：

フロントモニターロック(またはリアモニターロック)を使用して、本機の画面映像(または別販リアモニター映像)を固定し、スピーカーからの音声を映像と異なるモードの音声に切り替えられる機能です。

•3-ZONE：

別販リアモニターを接続した場合に、フロントモニターロック・リアモニターロックを使用して、本機の画面映像とリアモニターの画面映像をそれぞれ固定し、スピーカーからの音声を映像と異なるモードの音声に切り替えられる機能です。

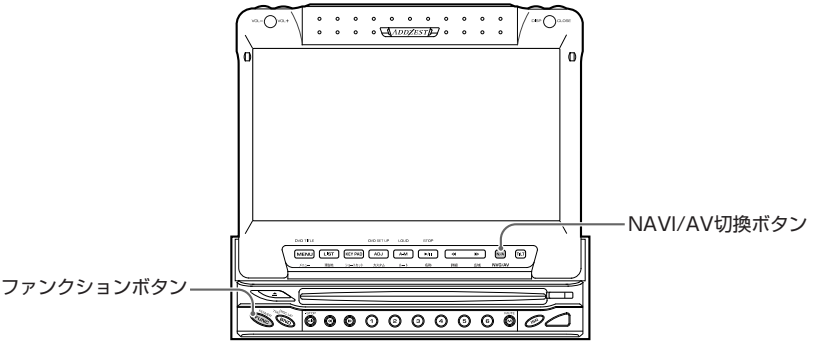
ご注意

- フロントモニターロックを行う映像は、VISUAL2端子に接続した外部機器(VTR,TVゲーム器等)の映像またはCeNETナビゲーションの映像となります。
- リアモニターロックを行う映像は、VISUAL1端子に接続した外部機器(VTR,TVゲーム器等)の映像となります。
- 2-ZONEおよび3-ZONEを行う場合、外部機器(VTR,TVゲーム器等)の音声は外部機器に接続したヘッドフォンを使用することとなります。
- リアモニターは別販です。
- CeNETナビゲーション接続時、「外部接続機器を設定する(CONNECT)」の設定はできません。

• ロック方式とモニター映像/音声について

	2-ZONE				3-ZONE	
	フロントモニターロック			リアモニターロック	CeNETナビゲーション接続時	CeNETナビゲーション未接続時
	CeNETナビゲーション接続時	CeNETナビゲーション未接続時				
		VISUAL2接続「その他接続」(※1)	ナビゲーション接続「RGB接続」、「コンポジット接続」(※1)			
フロント映像(本機画面)	CeNETナビゲーションの映像を表示	VISUAL2端子に接続した映像を表示(※3)	RGB端子またはVISUAL2端子に接続した映像を表示	ファンクションボタンを押して選択したモードの映像を表示	CeNETナビゲーションの映像を表示	VISUAL2端子に接続した映像を表示(※3)またはRGB端子に接続した映像を表示
リアモニター映像(別販)	ファンクションボタンを押して選択したモードの映像を表示(※2)	VISUAL2端子に接続した映像を表示	ファンクションボタンを押して選択したモードの映像を表示(※2)	VISUAL1端子に接続した映像を表示(※4)		
車側スピーカー音声	ファンクションボタンを押して選択したモードの音声を再生					

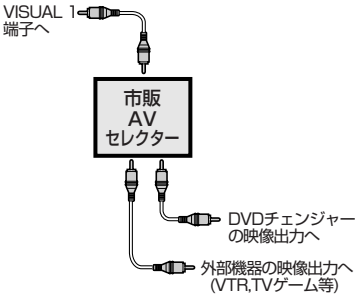
※1. VISUAL2端子またはRGB端子に接続した機器を示します。「外部接続機器を設定する(CONNECT)」(45ページ)をご覧のうえ、接続機器に対応する設定に切り換えてください。「未接続」に設定されているとフロントモニターロック機能は使用できません。



※2. ラジオ、CD等の映像のないモードのときは、リアモニターの画面には何も表示されません。

※3. このときの映像は、走行中は安全のため表示されません。車を停車させパーキングブレーキを引いた状態でお楽しみください。

※4. VISUAL 1にDVDチェンジャー(**VCZ625**)を接続している場合は、市販のAVセレクターをご使用になり、外部接続機器に切り換えてください。



● *2-ZONE フロントモニターロック*

1 NAVI/AV切換ボタン(N/A)を押す

2 ファンクションボタン(FUNC)を押して、お好みのモードを選ぶ

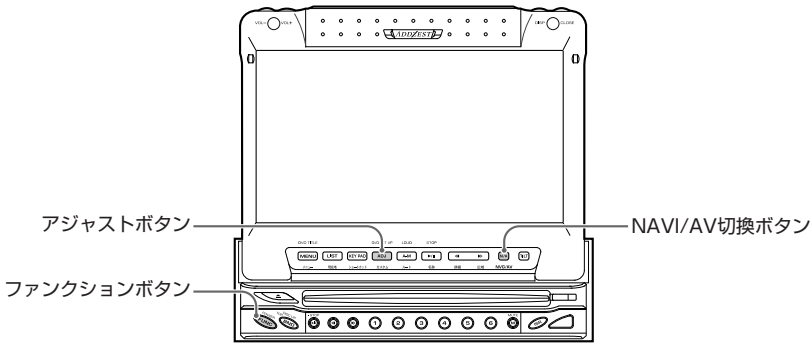
- フロントモニターロック中はメニューボタン、リストボタン、キーパッドボタン アジャストボタン、オーディオモードボタンは操作できません。
  操作する場合はモニターロックを解除してください。

■*フロントモニターロックを解除するには…*

NAVI/AV切換ボタン(N/A)を押してください。

→画面映像が選択中のモード画面になります。

その他の外部機器を操作する



● *2-ZONE リアモニターロック*

1 アジャストボタン(ADJ)を押して、アジャスト画面を表示する

2 「**REAR MONI LOCK**」キーに触れ、「**ON**」キー に触れる

3 「**RTN**」 キーに触れるか、またはアジャストボタン(ADJ)を押す

4 ファンクションボタン(FUNC)を押す

■*モニターロックを解除するには…*

1 アジャストボタン(ADJ)を押し、「**REAR MONI LOCK**」キーに触れ、「**OFF**」 キー に触れる

2 「**RTN**」キーに触れるか、または アジャストボタン(ADJ)を押す

→モニターロック機能が解除されます。

● *フロントモニターとリアモニターをロックする(3-ZONE)*

1 「2-ZONEリアモニターロック」の手順1から3で、リアモニターをロックする

2 NAVI/AV切換ボタン(N/A)を押して、フロントモニターをロックする。

3 ファンクションボタン(FUNC)を押す。

→選択モードの映像は約5秒間表示された後、フロントモニターロック映像に切り替わります。

■*フロントモニターロックを解除するには…*

NAVI/AV切換ボタン(N/A)を押してください。

■*リアモニターロックを解除するには…*

アジャストボタン(ADJ)を押し、「**REAR MONI LOCK**」キーに触れ、「**OFF**」キーに触れてください。

後方確認カメラの映像を見る

本機は後方確認カメラを接続できます。この場合、別販のパワーボックス(CAA-194)が必要です。

※後方確認カメラは本機のチューナーアンプユニットのCCDカメラ映像入力端子に接続してください。

携帯用オーディオを聴く

アクセサリーモードについて…

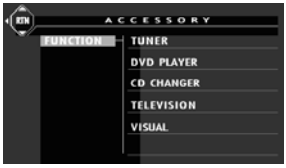
別販のCeNET結線対応AUX入力ユニット(EA-1155A)を接続して、市販のヘッドホンステレオなどの音楽ソースを聴くことができます。

アクセサリーモードを選ぶ

1 AUX入力ユニットのリードスイッチを押す(右図参照)

■元のモードに戻すには…

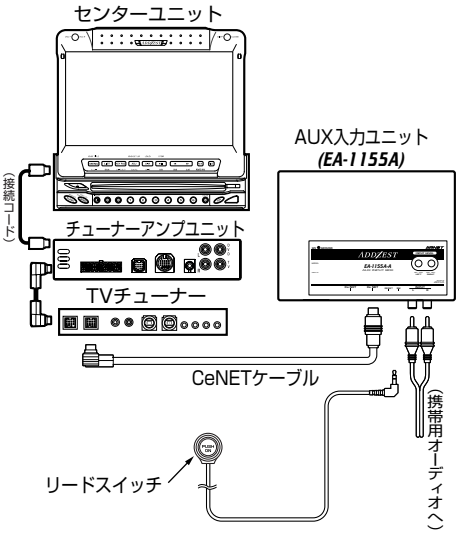
本機のファンクションボタン(FUNC)を押すか、またはメニュー画面の「**FUNCTION**」キーに触れて、サブメニューを表示させてモードキーに触れてください。



■ アゼストDVDハイブリッドナビゲーションにおける音楽CDの演奏について…

- アゼストDVDハイブリッドナビゲーションに音楽CDを挿入すると、演奏モードがACCESSORY(アクセサリー)モードになり、演奏がはじまります。
- NAVI/AV切換ボタン(N/A)を押してナビゲーション画面に切り換えると、ナビゲーション側のCD演奏表示画面になります。詳しくは、ナビゲーションに付属の取扱説明書をご覧ください。

AUX入力ユニット接続のしかた



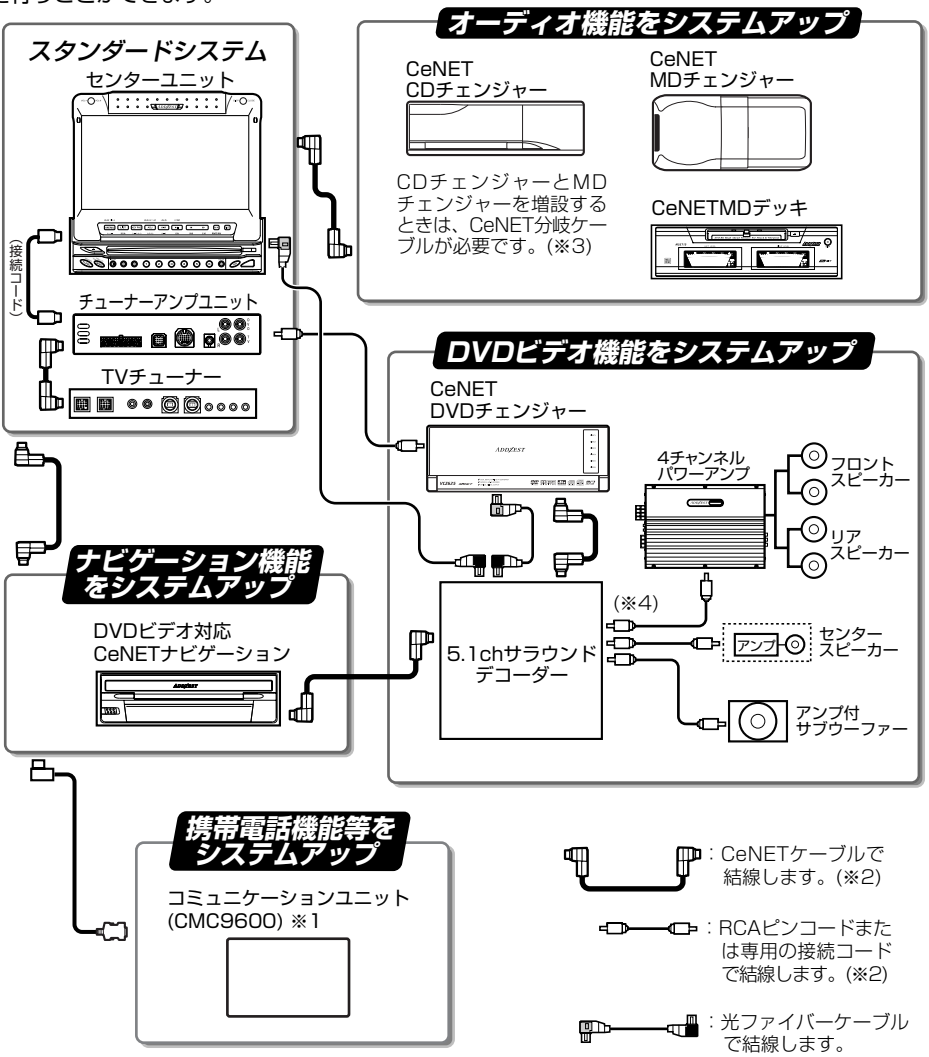
MDデッキを操作する

別販のMDデッキを接続すると、本機の操作でMDを演奏することができます。

- MDデッキの操作については、「CD/MDチェンジャー/MDデッキを操作する」(84～87ページ)をご覧のうえ、操作してください。

システムアップについて

本機は CeNET マークのついている外部機器を接続することにより、様々なシステム拡張を行うことができます。



※1.コミュニケーションユニットに接続可能なデジタル携帯電話機については、お買い求めの販売店にお問い合わせいただくか、カタログをご覧ください。または、弊社お客様相談室にお問い合わせください。

※2.システムアップおよびそれに必要なCeNETケーブル等については販売店または弊社お客様相談室にお問い合わせください。また、接続についての詳細は、ご購入商品に付属の取付説明書をご覧ください。

※3.チェンジャーの接続は最大2台までとなります。

※4.5.1chサラウンドデコーダーを接続した場合、外部アンプを使用しないで、チューナーアンプユニットの内部アンプを使用してフロントスピーカ、リアスピーカーを駆動することができます。詳しくは取付説明書をご覧ください。

CeNET ケーブルについて

CeNET 接続ケーブルの最大配線長は、20m 以下（CeNET 分岐ケーブル CCA-519 含む）です。接続の際は、下表をご参照のうえ、配線長が 20m を越えないように、注意してください。

■ CeNET 接続ケーブル長一覧表

CeNET ケーブル同梱機種	ケーブル長
CeNET CD チェンジャー	5m ＜オス⇔オス＞
CeNET MD チェンジャー	5m ＜オス⇔オス＞
5.1ch サラウンドデコーダー	5m ＜オス⇔オス＞
CeNET DVD チェンジャー	5m ＜オス⇔オス＞

＜＞内は、コネクターの形状を表しています。

別販CeNETケーブル	ケーブル長
CCA-519-500(CeNET分岐ケーブル)	1.0m<オス×2⇔メス>
CCA-520-500(CeNET延長ケーブル)	2.5m<オス⇔メス>
CCA-521-500(CeNET延長ケーブル)	0.6m<オス⇔メス>

■アンテナ延長コード

CCA-331-500…ミニジャック(3.5 φ)、ケーブル長（1 m)

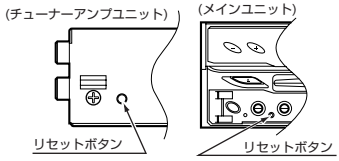
CeNET 接続ナビゲーションシステムの適合について

CeNET 接続したナビゲーションの種類によって以下の制約事項がありますのでご注意ください。

機種	ROMバージョン	接続可否
NAX940ZF		×（接続できません）
NAX950DV	Ver 1.0	×（接続できません）
	Ver 1.1	×（接続できません）
NAX960DV/ NAX960DVD	Ver 2.0	×（接続できません）
	Ver 2.1以降	○（接続できます）
NAX010VD	Ver 3.0以降	○（接続できます）
NAX020VD	Ver 4.0以降	○（接続できます）
NAX030VD	Ver 5.0以降	○（接続できます）

故障かな？と思われたら

次のような症状は、故障ではないことがあります。修理を依頼される前に、もう１度次のことをお調べください。

	症　状	原　因	処　置
共通	電源が入らない/音が出ない	ヒューズが切れている	入っていたヒューズと同じ容量のヒューズと交換してください。再度切れる場合は、お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
		配線が不完全	お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
		アンテナ電源コード、またはリモートオンコードが、金属部に接触してショートしている	本機の電源を切り、アンテナ電源コードおよびリモートオンコードのショートしている箇所を絶縁テープなどで、ショートしないように保護してください。
		パワーアンプなど、接続時のリモートオンコードの電流容量不足	接続するパワーアンプなどについて、お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
	ボタンを押しても動作しない、ディスプレイが正確に表示しない	ノイズなどが原因で、マイコンが誤動作している	電源をOFFにし、リリースレバーを押してDCPを取り外すした後、リセットボタンを細い棒などで押してください。  リセットボタンを押すとメモリーしたタイトル等がすべて消去されます。 本機に接続している機器のリセットボタンも合わせて押してください。
ラジオ	雑音が多い	放送局の周波数に合っていない	正しい周波数に合わせてください。
	自動選局で選局できない	強い電波の放送局がない	手動選局で選局してください。
DVDプレーヤー	ディスクを挿入できない	他のディスクがすでに入っている	すでに入っているディスクを取りだして、新しいディスクを入れてください。
	音や映像がとぎれる	ディスクが汚れている	柔らかい布で表面をよく拭いてください。
		ディスクに傷がついている	傷のないディスクをご使用ください。

	症　状	原　因	処　置
TV	映像が出ない	パーキングブレーキがかかっていない	パーキングブレーキが完全にかかっていることを確認してください。
		走行中である	走行中、映像は映りません。パーキングブレーキを引いて駐車してからお楽しみください。
		ファンクションがTVモードになっていない	テレビを見るときには、ファンクションボタンで、TV画面になっているか確認してください。
		モニターOFFになっている	ディスプレイボタンを押すか、画面に触れてください。
	映像が不鮮明	受信状態が悪い	山間や建物の陰などで、電波が十分きていないことが考えられます。電波の状態が良いところで、もう1度確認してください。
	画面が暗い	明るさ調整が不十分	明るさ調整が正しく調整されているか確認してください。
		使用状況が悪い	車内温度が0℃以下、または60℃以上になっている場合が考えられます。車内温度を適温（25℃前後）にして確認してください。
		自動車のライトが点灯している	夜間は、画面を暗くして、眩しさを防いでいます。（昼間でも、自動車のライトを点灯すると、画面は暗くなります）
	色が薄い 色あいが悪い	色の調整が不十分	色あい、色の濃さが正しく調整されているか確認してください。
	映像が2重、3重になる	受信状態が悪い	山やビルからの反射電波の影響が考えられます。場所や方向を変えて確認してください。
	映像にはん点やしま模様が出る	妨害電波がある	自動車や電車、高圧線、ネオンなどからの影響（妨害電波）が考えられます。場所を変えて確認してください。
その他	ディスプレイに「エラー表示」が出る	自己診断機能がはたらき、障害が発生したことを知らせている	次ページの「エラー表示」を参照して、内容を確認してください。

エラー表示について

本機は、システム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。
障害が発生したときは、各種のエラーが表示されますので、対処方法にしたがって障害を取り除いてください。障害を取り除けば、通常の動作に戻ります。

	エラー表示	原　因	対処方法
DVDプレーヤー	ERROR2	DVDプレーヤーのメカが故障しているとき、または誤動作しているときの表示	イジェクトボタンを押してください。復帰しない場合は、販売店にご相談ください。
	ERROR3	DVDプレーヤー内のCDに傷などがあり、演奏できないときの表示	傷やソリのないディスクと交換してください。
	ERROR6	ディスクを裏返しに入れ、演奏できないときの表示	正しく入れ直してください。
CDチェンジャー	ERROR2	CDチェンジャー内のCDがローディングできないときの表示	CDチェンジャーのメカニズムの故障と思われますので、販売店にご相談ください。
	ERROR3	CDチェンジャー内のCDに傷などがあり、演奏できないときの表示	傷やソリのないCDと交換してください。
	ERROR6	CDチェンジャー内のCDを裏返しに入れ、演奏できないときの表示	正しく入れ直してください。
		CDチェンジャー内のCDに傷などがあり、演奏できないときの表示	傷やソリのないCDと交換してください。
MDチェンジャー	ERROR2	MDチェンジャーのメカが故障しているときの表示	販売店にご相談ください。
	ERROR3	MDに傷などがあり、演奏できないときの表示	傷のないMDと交換してください。
	ERROR6	ブランクディスク(無録音)を入れたときの表示	録音されたMDと交換してください。
	ERROR H	MDチェンジャーの温度が上がりすぎたため、自動的に動作を停止させたときの表示	MDチェンジャーの温度が下がるように、まわりの温度を下げてしばらくお待ちください。

※ DVD チェンジャーのエラー表示については、DVDチェンジャーに付属の取扱説明書をご覧ください。

上記以外のエラーが表示されたときは、前ページを参照してリセットボタンを押してください。リセットすると、メモリーされたTV/ ラジオ局の周波数等が消去されます。

それでも復帰しない場合は、本体のアクセサリ(ACC)電源を切り、お買い求めの販売店にご相談ください。

仕　様

■LCD モニター部

画面寸法　：7 型(152mm × 85mm)
表示方式　：透過型 TN 液晶パネル
駆動方式　：TFT(薄膜トランジスタ)アクティブマトリックス駆動方式
画素数　　：336,960 画素(1440 × 234)

■DVD プレーヤー部

使用可能ディスク　：DVD ビデオディスク、CD、ビデオ CD
周波数特性　：20Hz ～ 22 kHz (48kHz、± 1dB)
20Hz ～ 20 kHz (CD、± 1dB)
SN 比　　：100dB（1kHz）IHF-A
ダイナミックレンジ：100dB（1kHz）
高調波ひずみ率　　：0.01%

■FM チューナー部

受信周波数　　：76.0MHz ～ 90 .0MHz
実用感度　　：11dBf（新 IHF）
50dB クワイティング感度
：17dBf（新 IHF）
SN 比　　：70dB（IHF・A、LPF）
周波数特性　　：30Hz ～ 15kHz ± 3dB
分離度　　：35dB（1kHz）
高調波ひずみ率：0.4%（1kHz）

■AM チューナー部

受信周波数　　：522kHz ～ 1,629kHz
実用感度　　：25dB μ

■オーディオアンプ部

定格出力　　：18W × 4
（20Hz ～ 20kHz、1%、4 Ω）
最大出力　　：53W × 4（JEITA）
適合インピーダンス：4 Ω（4 Ω～ 8 Ω）

■入力

オーディオ入力：130 ± 60mVrms(入力インピーダンス 10k Ω以上)
ビデオ入力　　：1.0 ± 0.2Vp-p(入力インピーダンス 75 Ω)

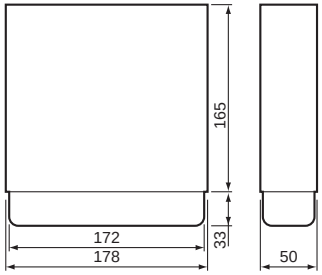
■ビデオ出力

ビデオ出力　　：1.0 ± 0.2Vp-p(出力インピーダンス 75 Ω)

■共通部

電源電圧　　：DC14.4V
接地方式　　：マイナス接地
消費電流　　：4.0A（1W 時）
ヒューズ定格　：15A
外形寸法(本体)
メインユニット：
178(W)× 50(H)× 198(D)mm
[取付寸法 165(D)mm]
チューナーアンプユニット：
178(W)× 37.5(H)× 209.5(D)mm
リモートコントロールユニット：
54(W)× 28.8(H)× 155(D) mm
質量　メインユニット　　：2.3kg
チューナーアンプユニット　：1.1kg
リモートコントロールユニット：70 g

(メインユニット)



＊TV チューナーの詳細については、TV チューナーに付属の「**取扱説明書**」をご覧ください。

＊上記の仕様および外観は、予告なく変更する場合があります。またこの説明書の中のイラストと実物が一部異なる場合があります。

アフターサービスについて

■ 保証書

この商品には、保証書が添付されています。お買い求めの際、販売店で所定事項を記入いたしますので、記入および記載事項をご確認のうえ、大切に保管してください。なお、保証書は再発行いたしませんので、ご注意ください。

■ 保証期間

お買い求めの日より1年間です。

■ 万一故障が発生した場合

保証期間中に、正常な使用状態で故障が発生した場合には、保証の記載内容に基づいて、無料で修理いたします。
お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。

■ 保証期間経過後の修理について

修理することにより性能が維持できる場合には、お客様のご要望により、有料で修理いたします。

クラリオン株式会社

本　　社　〒112-0001 東京都文京区白山5-35-2
お客様相談室　フリーダイヤル　0120-112-140(土･日･祝祭日を除く、
9:00 ～12:00、13:00 ～ 17:30)

ご購入年月	年　　月　　日
ご購入店名	TEL
製造番号	

お客様へ……ご購入年月日、ご購入店名などを記入されると，あとでお問い合わせされるときに便利です。

Printed in Japan　2003/4(CL.K)　QC-6810A　280-7965-00